

茅ヶ崎市
子ども・子育て支援に関する
アンケート調査
結果報告書

平成31年3月

茅ヶ崎市

はじめに

国において、平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立し、この法律に基づき、「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月より始動しました。

本市では、すべての子どもの次世代の成長を喜びあえるまちをめざして、「子ども・子育て支援新制度」のもと、「茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、さまざまな子ども・子育て支援に関する取り組みを進めています。

今回の調査は、子ども・子育てに関するニーズや課題等を把握し、本市が推進している「茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理と、平成31年度に策定する「(仮称)第2期子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料とするために実施しました。本調査の結果を活用して、子ども・子育て支援の充実を図り、今後5年間の計画を策定してまいります。

最後になりましたが、本調査を実施するに当たり、御協力いただきました保護者や児童の皆様、調査票案の作成等について御審議いただきました、茅ヶ崎市子ども・子育て会議の委員の皆様及び関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成31年3月

茅ヶ崎市長 佐藤 光

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象者	1
3	標本数	1
4	抽出方法	1
5	調査方法	1
6	調査票発送日	1
7	調査票上提出締切日	1
8	回収結果	2
9	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	就学前児童（保護者）	3
	（1）お住まいの地域について	3
	（2）封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	4
	（3）宛名のお子さんの保護者の就労状況について	9
	（4）宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	19
	（5）宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	42
	（6）宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	50
	（7）宛名のお子さんの病気の際の対応について	55
	（8）宛名のお子さんの一時預かりや宿泊を伴う一時預かり等の利用について	64
	（9）宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	71
	（10）すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	85
	（11）子どもの育ちをめぐる環境について	100
2	小学生（保護者）	117
	（1）お住まいの地域について	117
	（2）封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	119
	（3）宛名のお子さんの保護者の就労状況について	123
	（4）お子さんの放課後の過ごし方について	132
	（5）宛名のお子さんの病気の際の対応について	153
	（6）宛名のお子さんの不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かり等の利用について	162
	（7）子どもの育ちをめぐる環境について	169
3	小学生（本人）	180
	（1）あなたのふだんの家庭や学校での生活について	180
	（2）あなたの考えについて	185

I 調査の概要

1 調査の目的

「茅ヶ崎市こども・子育て支援事業計画」の進捗管理と、平成32年度を始期とする5年間の「第2期茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」を策定する基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象者

平成30年4月1日現在、茅ヶ崎市在住の0～11歳までの子どもの保護者及び9～11歳の子ども本人

3 標本数

- | | |
|--------------------|--------|
| ① 就学前児童（0～5歳）の保護者 | 5,000人 |
| ② 小学生（6～11歳）の保護者 | 2,500人 |
| ③ 小学生（9～11歳）の子ども本人 | 1,266人 |

4 抽出方法

住民基本台帳から無作為に抽出

5 調査方法

0～5歳の就学前児童5,000人、6～11歳の小学生2,500人を対象として、対象ごとに異なる調査票を用いて、保護者が回答する調査票を郵送により送付。9～11歳の小学生には、子ども本人が回答する調査票を同封。郵送回収にて調査を実施。

6 調査票発送日

平成30年11月29日（木）

7 調査票上提出締切日

平成30年12月25日（火）

※礼状兼督促を送付。1月中に単純集計結果を出すことを目標にした場合の最終締め切りとして、1月18日までに回収した調査票を集計結果に反映させた。

8 回収結果

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
就学前児童（保護者）	5,000 通	2,845 通	56.9%
小学生（保護者）	2,500 通	1,343 通	53.7%
小学生（子ども本人）	1,266 通	611 通	48.3%

9 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

天皇の退位等に関する皇室典範特例法（平成29年法律第63号）が、平成31年4月30日に施行され、天皇陛下が御退位されます。御退位による皇位の継承が行われ、元号が改められますが、現段階においては、元号法（昭和54年法律第43号）の規定による政令の改正が行われていないため、本計画における元号の表記は「平成」を用いることとし、改元後は新元号に読み替えるものとします。

Ⅱ 調査結果

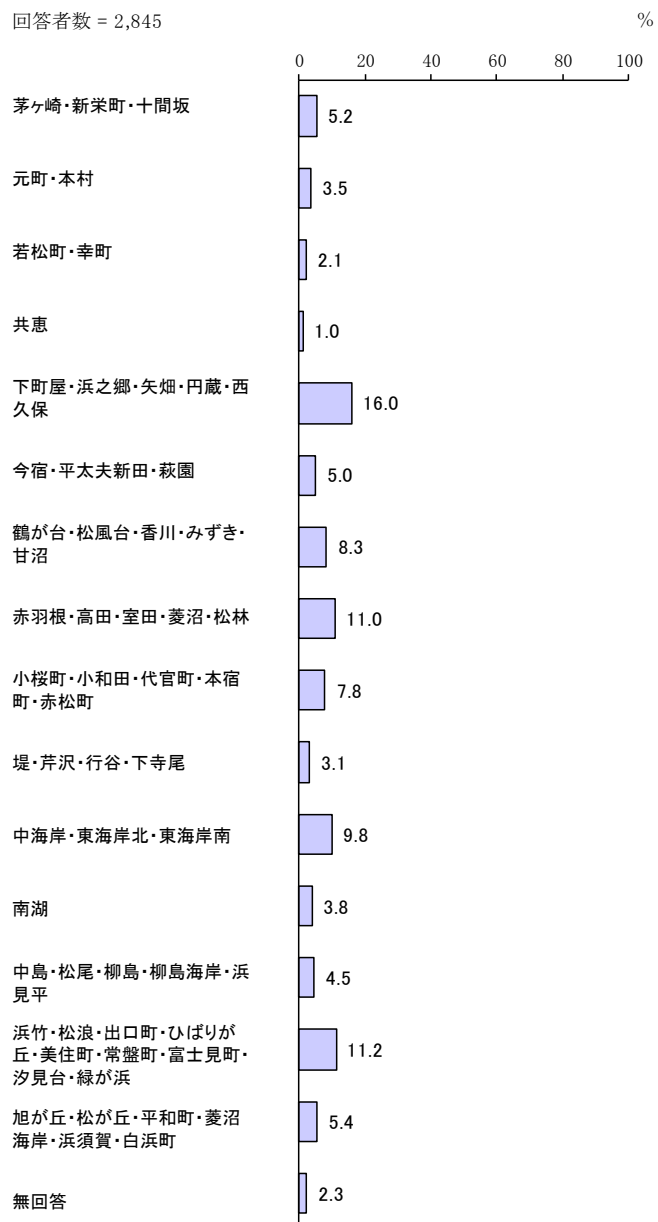
1 就学前児童（保護者）

（1）お住まいの地域について

問1 あなたがお住まいの地区をお答えください。（1つだけに○）

「下町屋・浜之郷・矢畑・円蔵・西久保」の割合が16.0%と最も高く、次いで「浜竹・松浪・出口町・ひばりが丘・美住町・常盤町・富士見町・汐見台・緑が浜」の割合が11.2%、「赤羽根・高田・室田・菱沼・松林」の割合が11.0%となっています。

回答者数 = 2,845

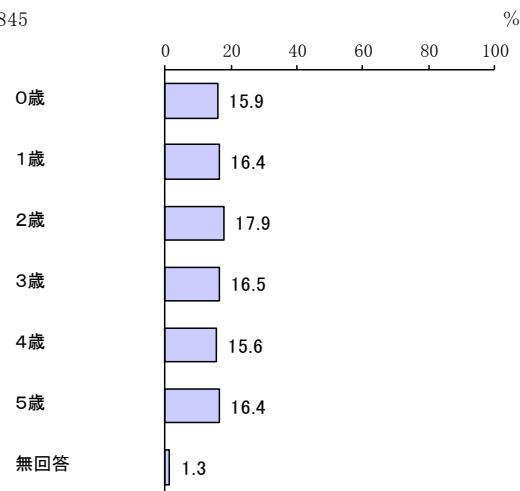


（２）封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問２ 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（ ）内に数字を記入）

「２歳」の割合が 17.9%と最も高く、次いで「３歳」の割合が 16.5%、「１歳」「５歳」の割合が 16.4%となっています。

回答者数 = 2,845

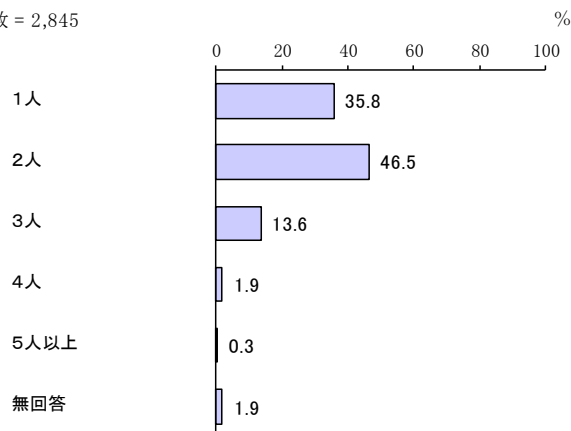


問３ 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

ア きょうだい数

「２人」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「１人」の割合が 35.8%、「３人」の割合が 13.6%となっています。

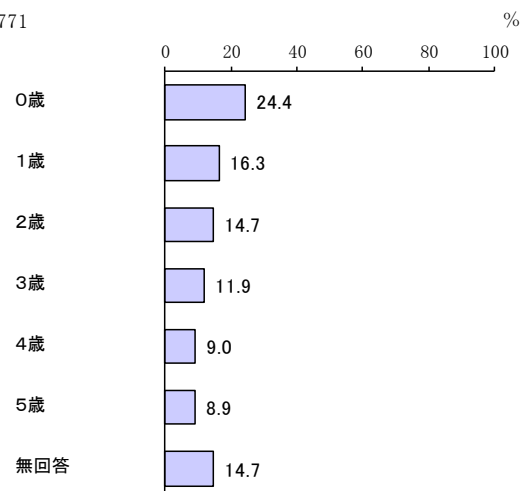
回答者数 = 2,845



イ 末子の年齢

「０歳」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「１歳」の割合が 16.3%、「２歳」の割合が 14.7%となっています。

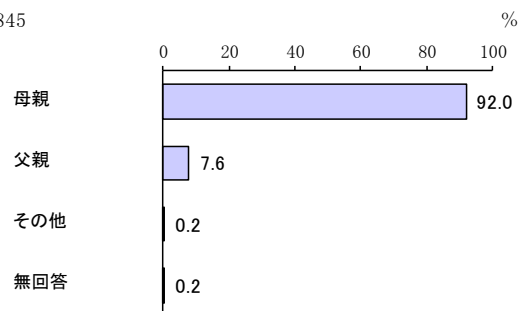
回答者数 = 1,771



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（1つだけに○）

「母親」の割合が92.0%、「父親」の割合が7.6%となっています。

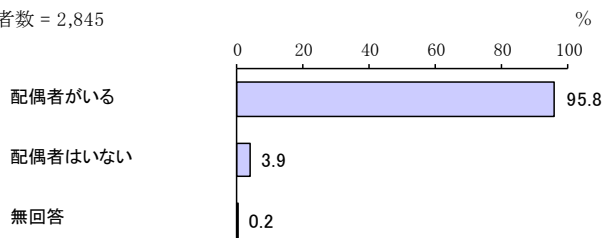
回答者数 = 2,845



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つだけに○）

「配偶者がいる」の割合が95.8%、「配偶者がいない」の割合が3.9%となっています。

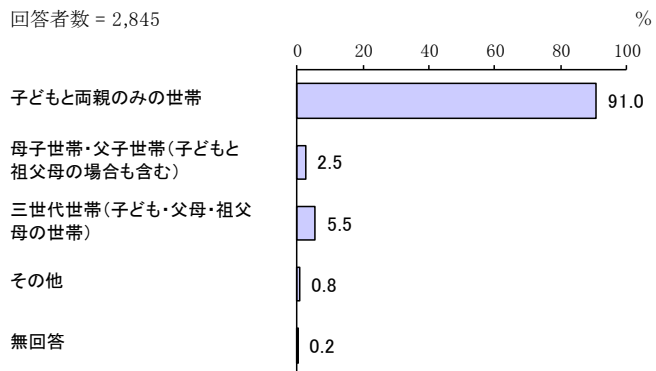
回答者数 = 2,845



問6 宛名のお子さんと生計を同一にしている家族構成は次のうち、どれにあたりますか。（1つだけに○）

「子どもと両親のみの世帯」の割合が91.0%と最も高くなっています。

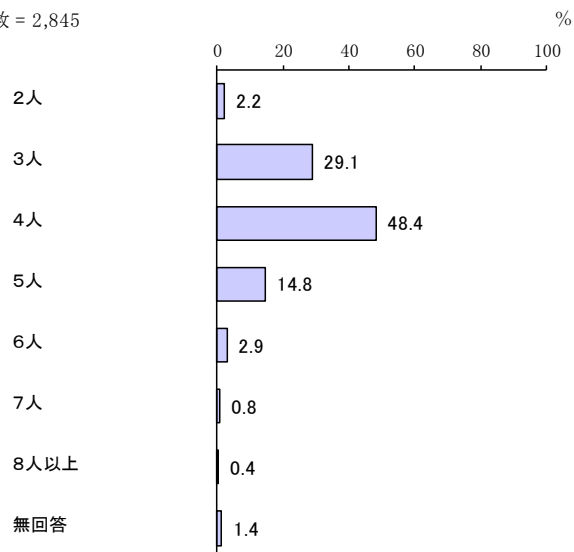
回答者数 = 2,845



問7 宛名のお子さんと生計を同一にしているご家族の人数を教えてください。（あなたと宛名のお子さんも含む。単身赴任をしている家族も含む。）
（（ ）内に数字を記入）

「4人」の割合が48.4%と最も高く、次いで「3人」の割合が29.1%、「5人」の割合が14.8%となっています。

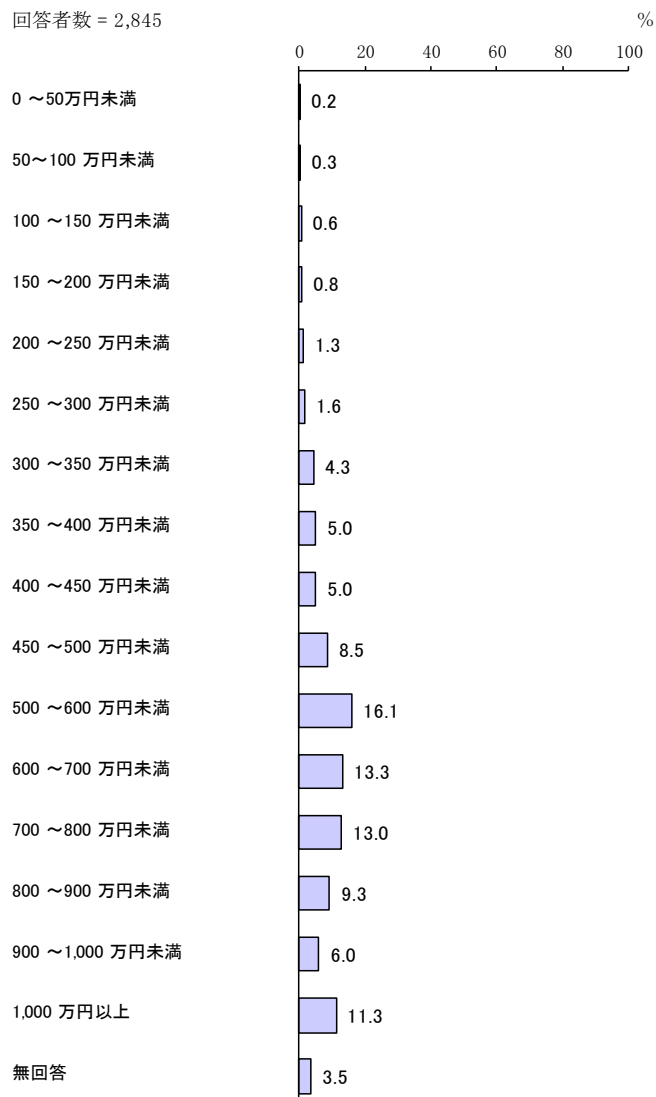
回答者数 = 2,845



問8 世帯の年収は、次のうち、どれにあたりますか。（1つだけに○）世帯とは、生計を同一にしている家族のことを指します。

「500 ～600 万円未満」の割合が16.1%と最も高く、次いで「600 ～700 万円未満」の割合が13.3%、「700 ～800 万円未満」の割合が13.0%となっています。

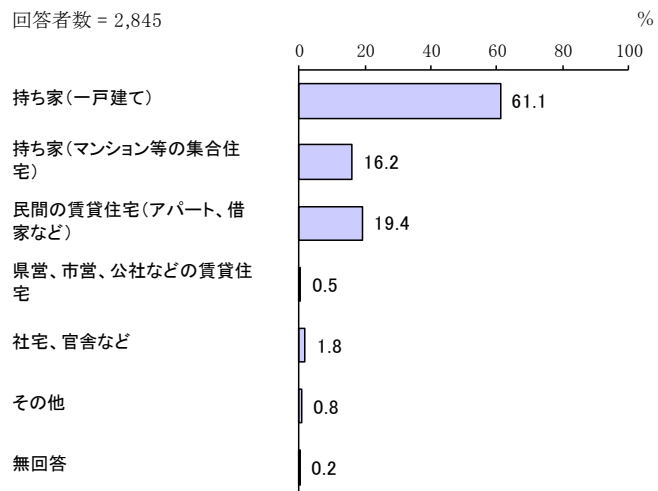
回答者数 = 2,845



問 9 お住まいの住居の状況は、次のうち、どれに当たりますか。（1つだけに○）

「持ち家（一戸建て）」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅（アパート、借家など）」の割合が 19.4%、「持ち家（マンション等の集合住宅）」の割合が 16.2%となっています。

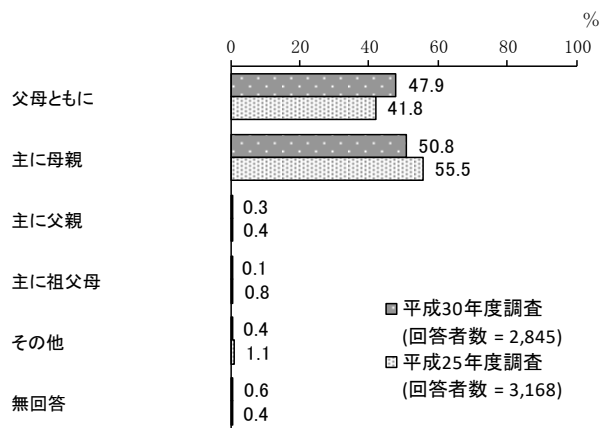
回答者数 = 2,845



問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つだけに○）

「主に母親」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が 47.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で「父母ともに」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがないで「主に母親」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	682	61.0	37.1	0.3	0.4	0.6	0.6
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	234	57.7	41.5	—	—	—	0.9
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	590	46.4	52.0	—	—	0.7	0.8
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	44	50.0	50.0	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	1200	39.9	59.6	—	—	0.1	0.4
これまで就労したことがない	69	36.2	63.8	—	—	—	—

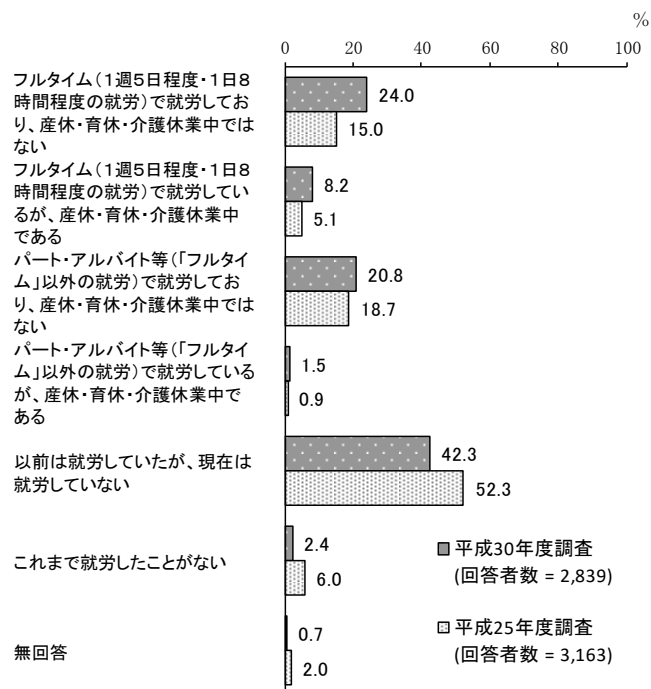
(3) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が42.3%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が24.0%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が20.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が高くなっています。

単位：％

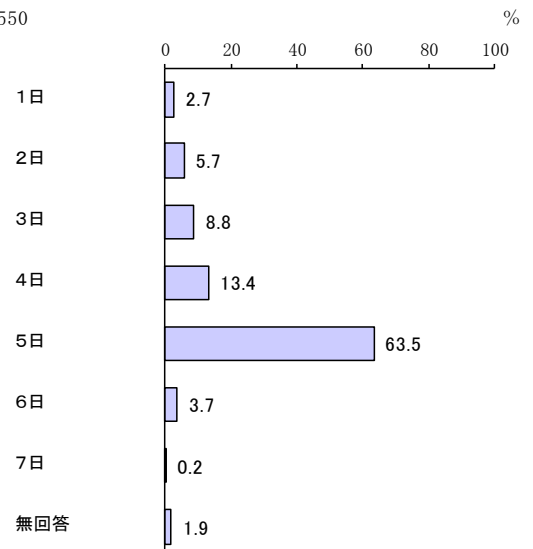
区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
0歳	453	12.8	32.7	5.1	4.4	42.8	2.0	0.2
1歳	467	28.3	5.4	15.6	0.6	47.8	1.9	0.4
2歳	507	25.6	4.3	19.7	1.8	45.2	2.6	0.8
3歳	468	29.1	4.9	23.5	1.1	37.6	3.0	0.9
4歳	442	25.1	2.5	27.8	0.7	40.7	2.3	0.9
5歳	466	23.4	0.9	32.6	0.6	38.6	3.0	0.9

（１）－１ （１）で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
 １週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」
 をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお
 答えください。（（ ）内に数字を記入）

ア １週当たり就労日数

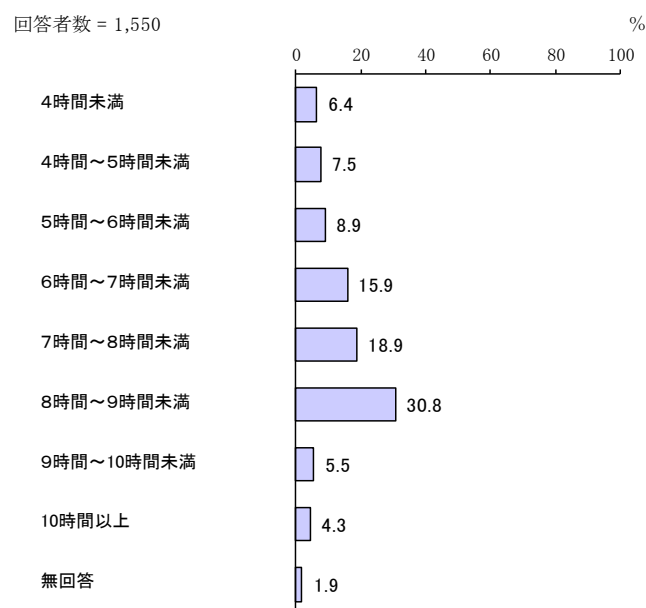
「５日」の割合が 63.5％と最も高く、次いで
 「４日」の割合が 13.4％となっています。

回答者数 = 1,550



イ 1日当たり就労時間

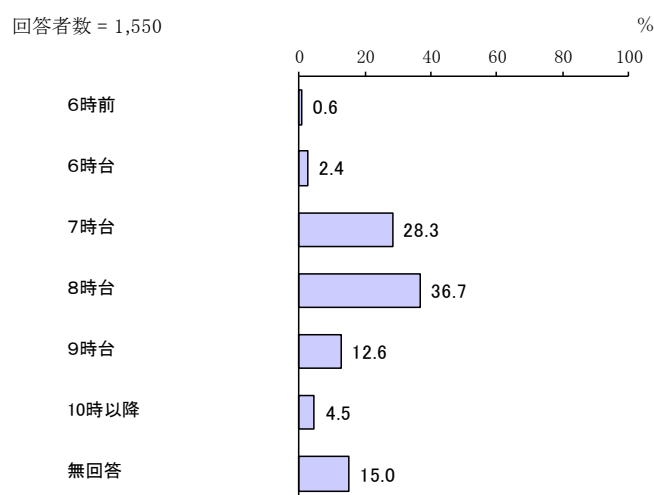
「8時間～9時間未満」の割合が30.8%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が18.9%、「6時間～7時間未満」の割合が15.9%となっています。



(1) - 2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

ア 家を出る時刻

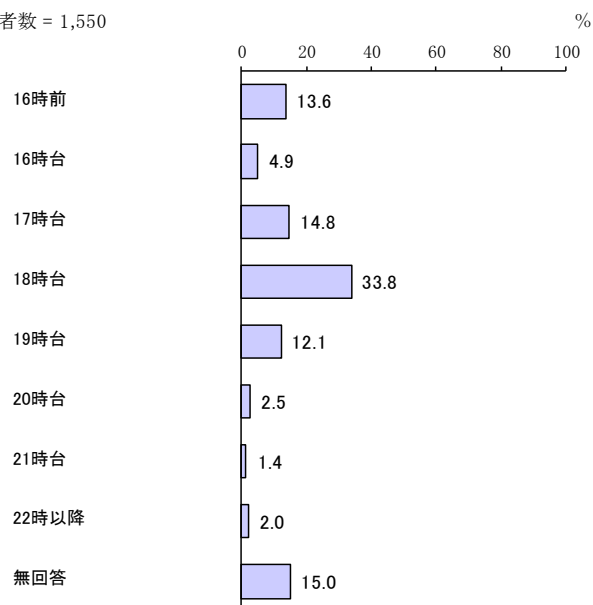
「8時台」の割合が36.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が28.3%、「9時台」の割合が12.6%となっています。



イ 帰宅時刻

「18 時台」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 14.8%、「16 時前」の割合が 13.6%となっています。

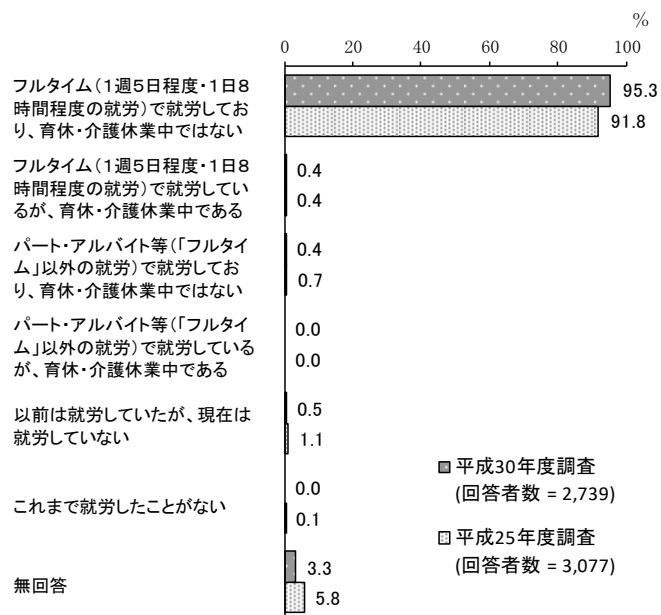
回答者数 = 1,550



(2) 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 95.3%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

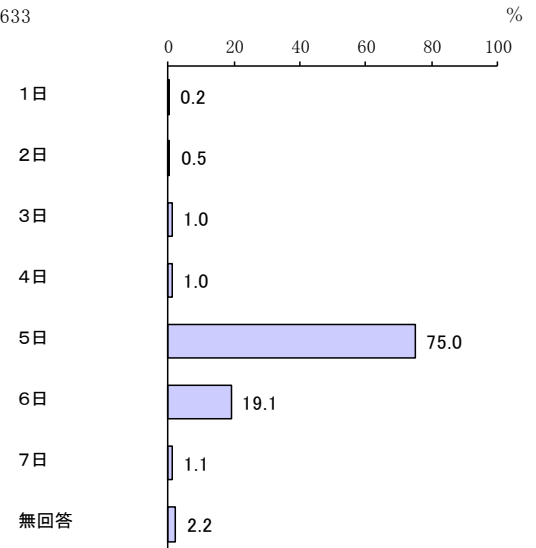


(2) - 1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」
をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも
多いパターンを、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答え
ください。(() 内に数字を記入)

ア 1週当たり労働日数

「5日」の割合が75.0%と最も高く、次いで
「6日」の割合が19.1%となっています。

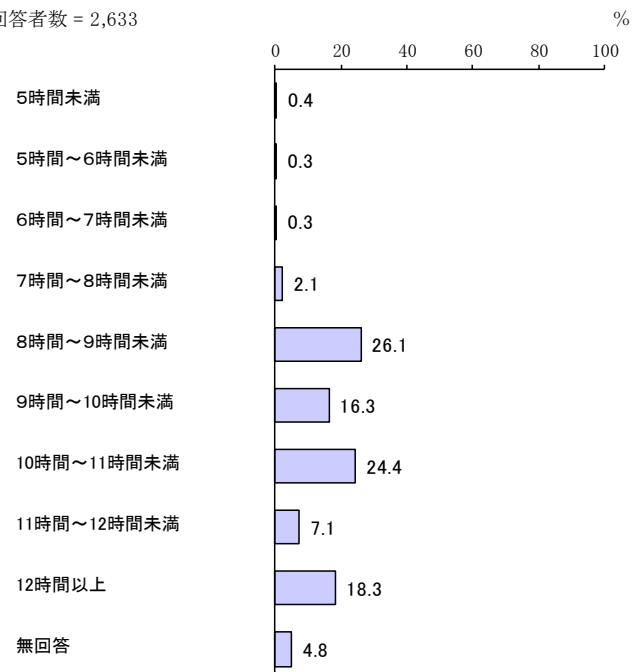
回答者数 = 2,633



イ 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が26.1%と最も
高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が
24.4%、「12時間以上」の割合が18.3%となっ
ています。

回答者数 = 2,633

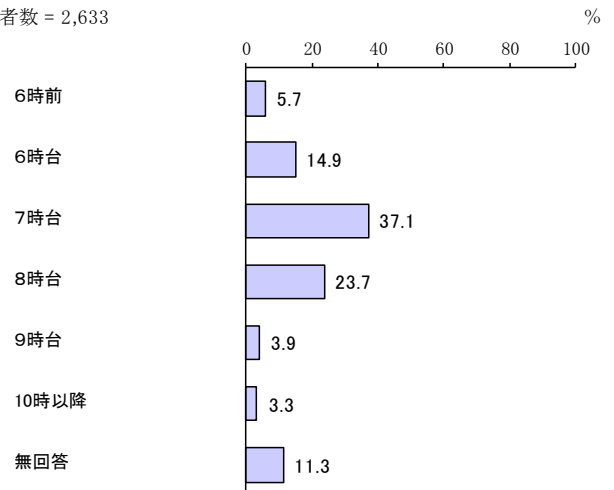


(2) - 2 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

ア 家を出る時刻

「7時台」の割合が37.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が23.7%、「6時台」の割合が14.9%となっています。

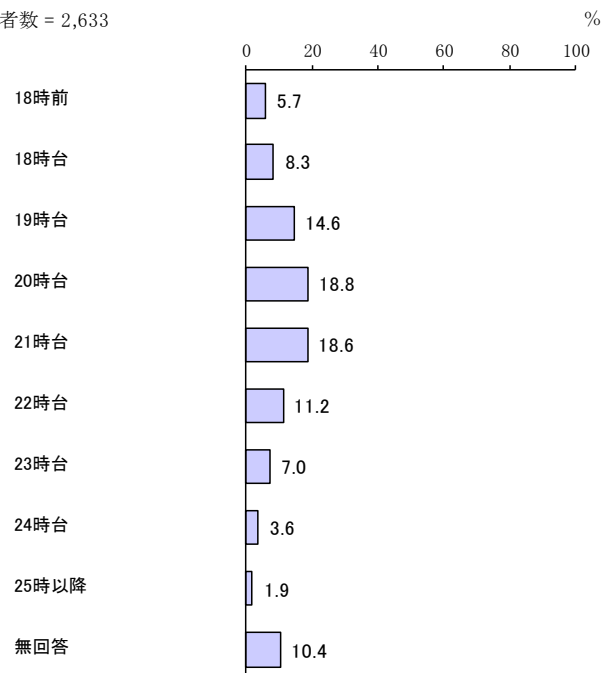
回答者数 = 2,633



イ 帰宅時刻

「20時台」の割合が18.8%と最も高く、次いで「21時台」の割合が18.6%、「19時台」の割合が14.6%となっています。

回答者数 = 2,633

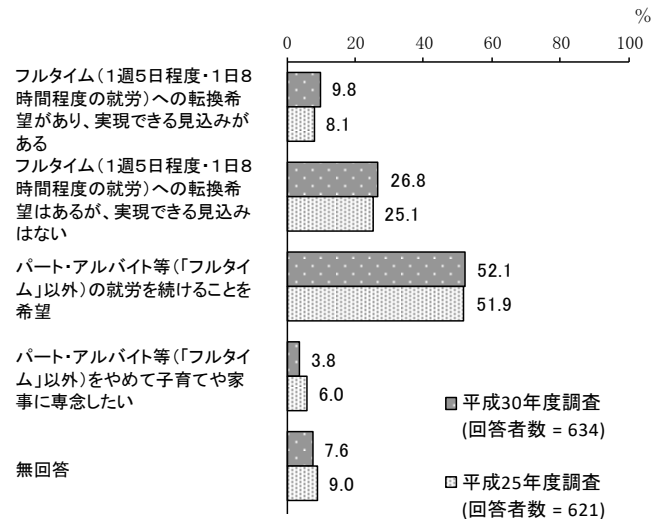


問12 問11の(1)または(2)で「3.」、「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(1つだけに○)

(1) 母親

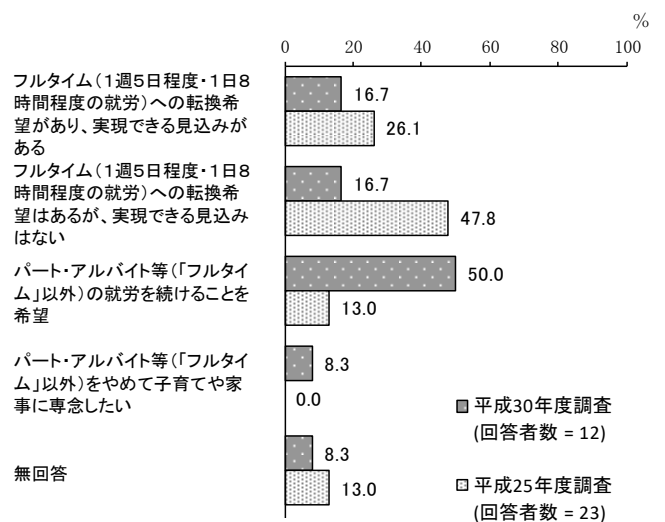
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が52.1%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が26.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が50.0%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が16.7%となっています。

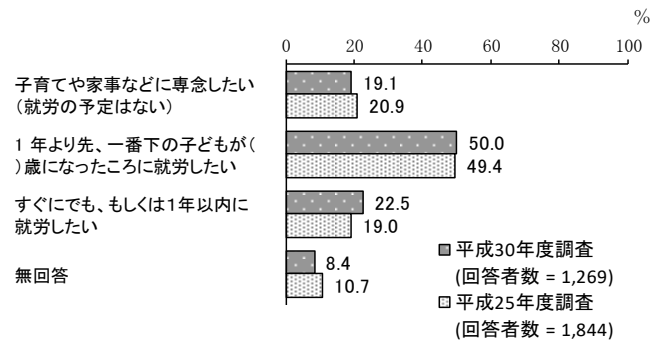


問 13 問 11 の（１）または（２）で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

（１）母親

「１年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が 22.5%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 19.1%となっています。

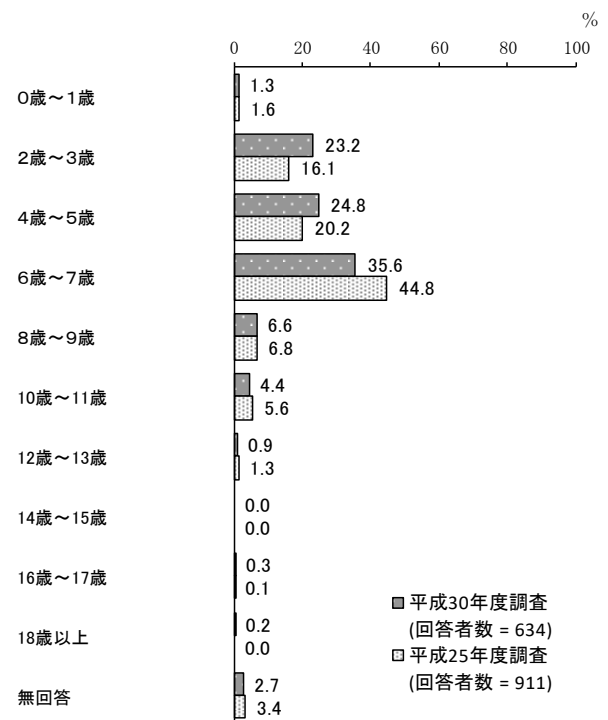
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア 就職をするときの末子の年齢

「６歳～７歳」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「４歳～５歳」の割合が 24.8%、「２歳～３歳」の割合が 23.2%となっています。

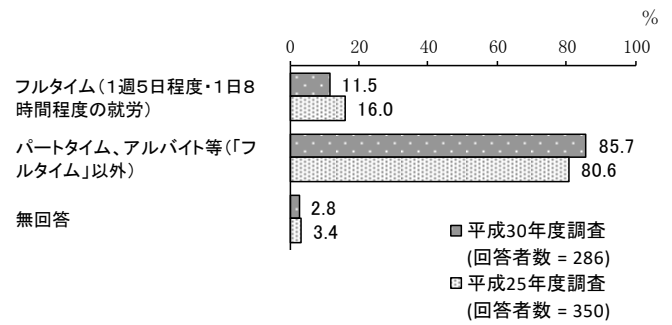
平成 25 年度調査と比較すると、「２歳～３歳」の割合が増加しています。一方、「６歳～７歳」の割合が減少しています。



イ 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が11.5%、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が85.7%となっています。

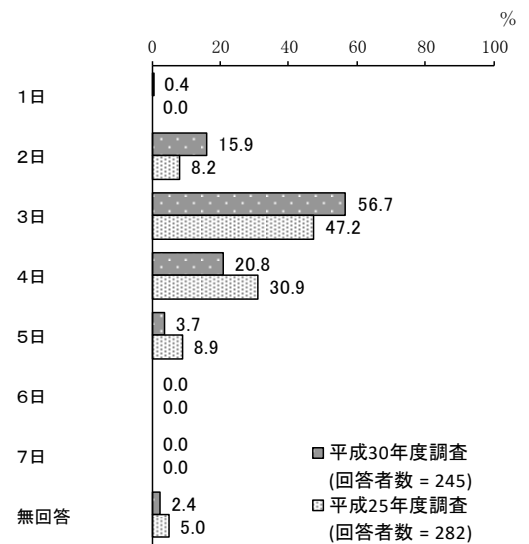
平成25年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が増加しています。



① 1年以内に就労したい人の1週当たり就労日数

「3日」の割合が56.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.8%、「2日」の割合が15.9%となっています。

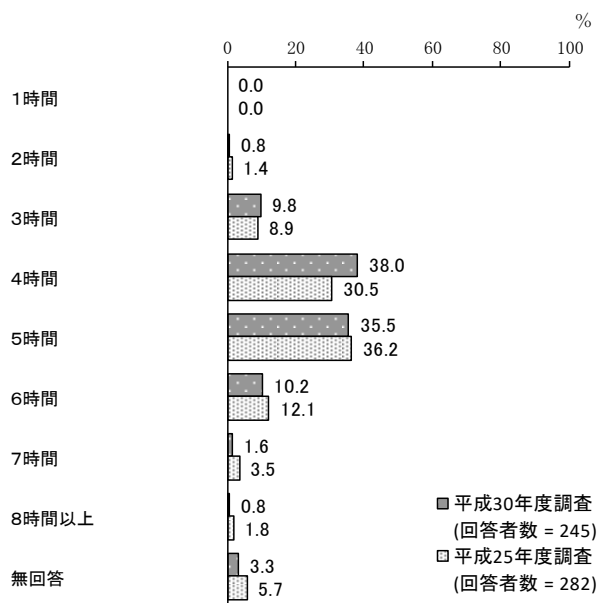
平成25年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」「5日」の割合が減少しています。



② 1年以内に就労したい人の1日当たり就労時間

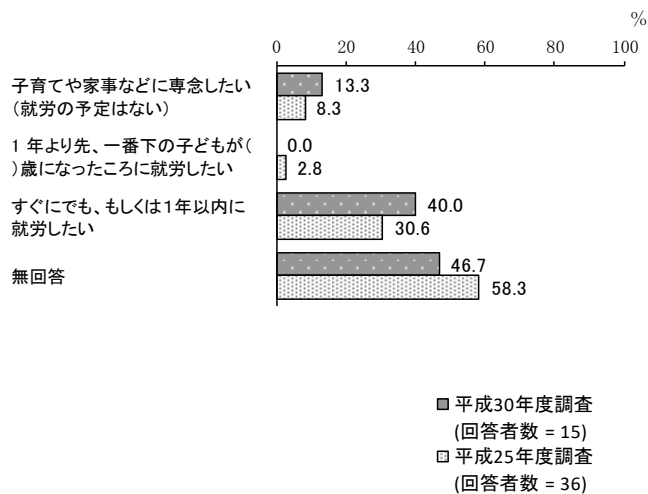
「4時間」の割合が38.0%と最も高く、次いで「5時間」の割合が35.5%、「6時間」の割合が10.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4時間」の割合が増加しています。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が40.0%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が13.3%となっています。



ア 就職をするときの末子の年齢

有効回答がありませんでした。

イ 希望する就労形態

「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が６件となっています。

① １年以内に就労したい人の１週当たり就労日数

有効回答がありませんでした。

② １年以内に就労したい人の１日当たり就労時間

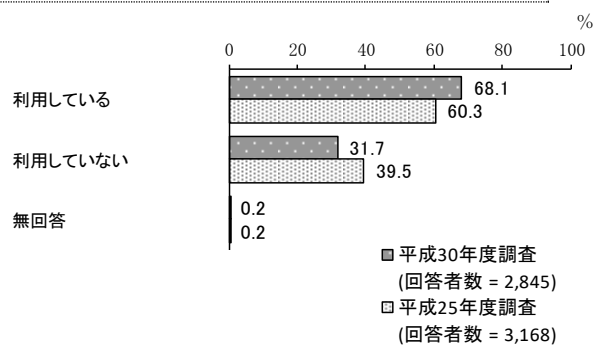
有効回答がありませんでした。

（４）宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（１つだけに○）

「利用している」の割合が 68.1%、「利用していない」の割合が 31.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問 14－1 問 14－1～問 14－5 は、問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

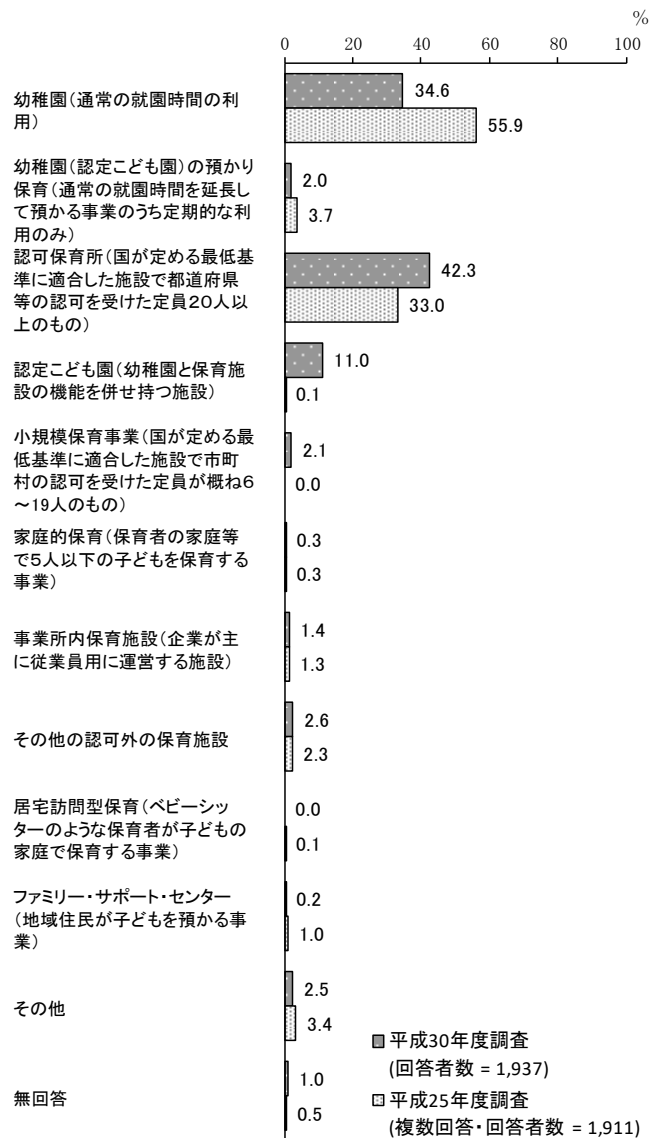
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

(1 つだけに○)

「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)」の割合が42.3%と最も高く、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」の割合が34.6%、「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」の割合が11.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)」「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」の割合が増加しています。一方、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳から2歳で「認可保育所」の割合が、3歳から5歳で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園(認定こども園)の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	78	2.6	—	65.4	9.0	6.4	—	3.8	9.0	—	2.6	1.3	—
1歳	203	1.0	—	69.5	3.0	8.9	1.5	6.4	5.9	—	—	3.0	1.0
2歳	280	8.6	1.1	60.4	8.9	5.0	0.7	3.9	4.6	—	0.4	6.1	0.4
3歳	445	41.3	1.6	38.9	14.6	—	—	—	0.9	—	0.2	1.8	0.7
4歳	440	47.7	3.4	30.9	11.6	—	—	—	2.5	—	—	2.7	1.1
5歳	461	50.8	2.6	30.8	11.7	0.4	—	0.2	0.7	—	—	0.9	2.0

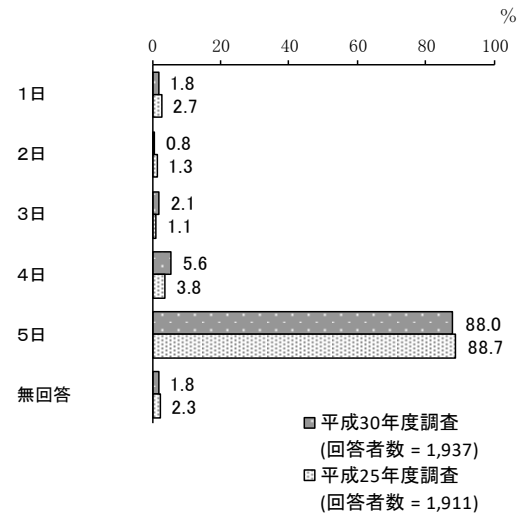
問 14－2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在

ア 1週当たり利用日数

「5日」の割合が88.0%と最も高くなっています。

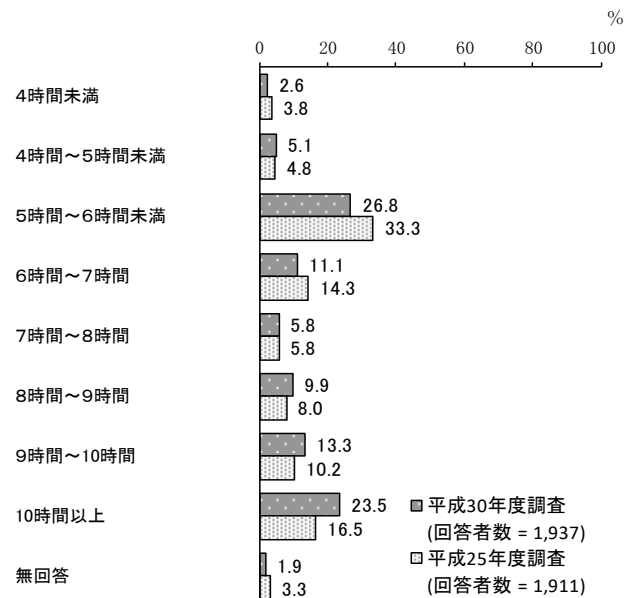
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 1日当たり利用時間

「5時間～6時間未満」の割合が26.8%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が23.5%、「9時間～10時間」の割合が13.3%となっています。

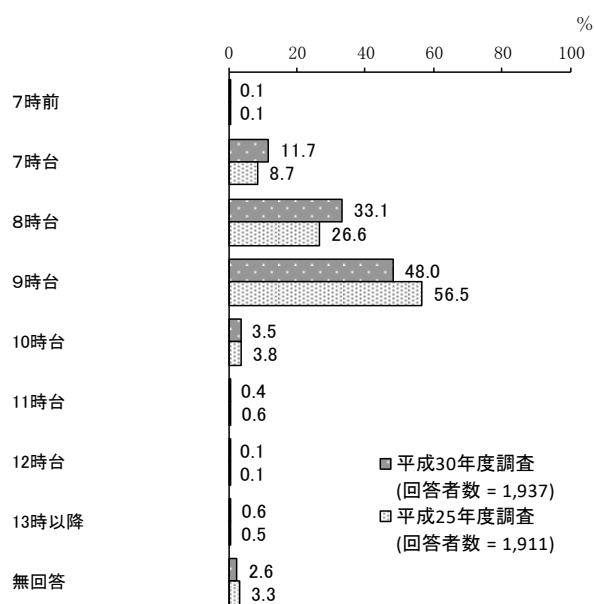
平成25年度調査と比較すると、「10時間以上」の割合が増加しています。一方、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。



ウ 開始時刻

「9 時台」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 33.1%、「7 時台」の割合が 11.7%となっています。

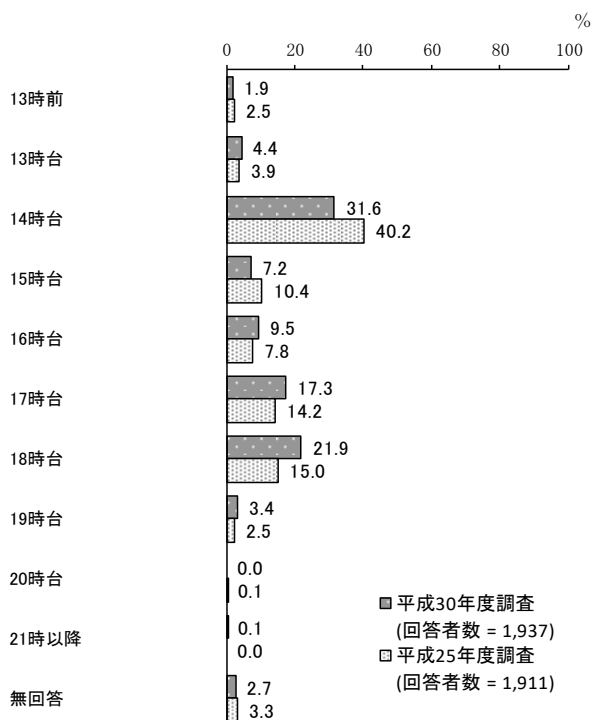
平成 25 年度調査と比較すると、「8 時台」の割合が増加しています。一方、「9 時台」の割合が減少しています。



エ 終了時刻

「14 時台」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 21.9%、「17 時台」の割合が 17.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「14 時台」の割合が減少しています。

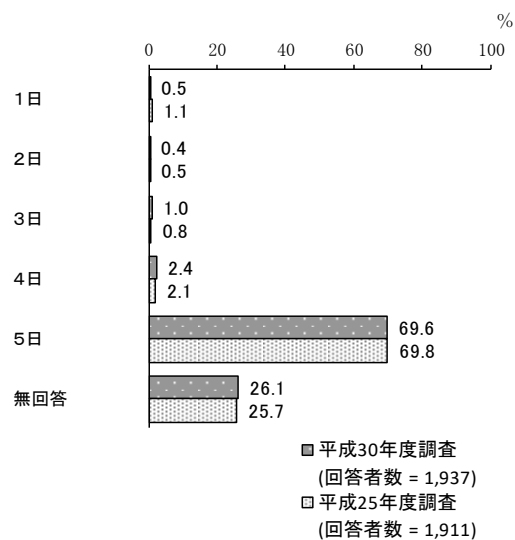


(2) 希望

ア 1週当たり利用日数

「5日」の割合が69.6%と最も高くなっています。

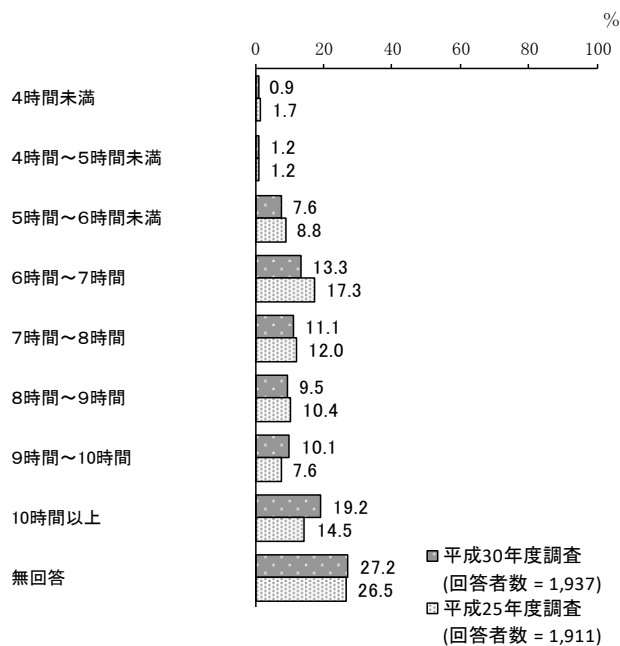
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 1日当たり利用時間

「10時間以上」の割合が19.2%と最も高く、次いで「6時間～7時間」の割合が13.3%、「7時間～8時間」の割合が11.1%となっています。

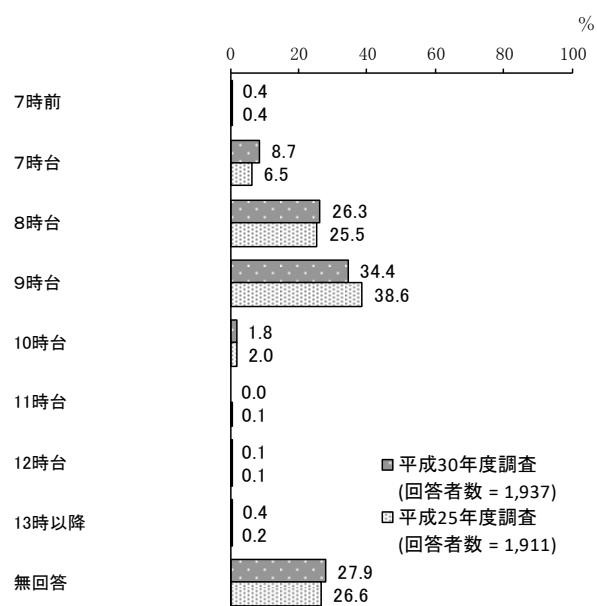
平成25年度調査と比較すると、「9時間～10時間」「10時間以上」の割合がやや増加しています。一方、「6時間～7時間」の割合がやや減少しています。



ウ 開始時刻

「9 時台」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 26.3%となっています。

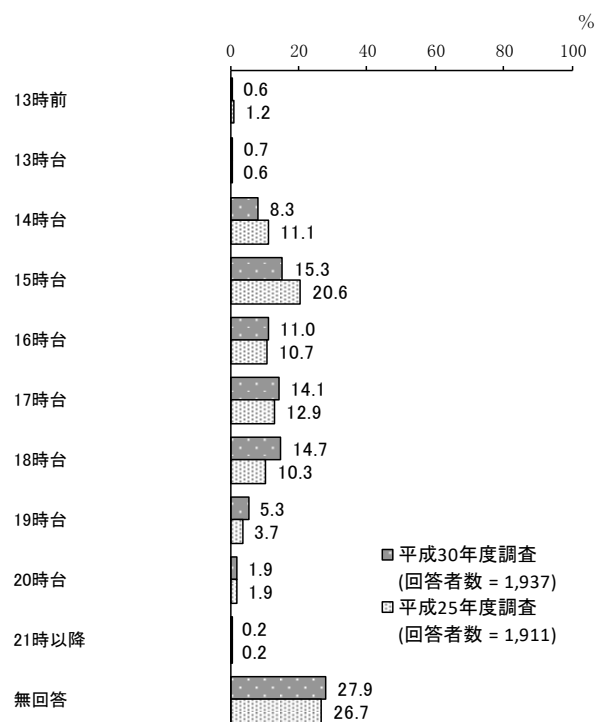
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



エ 終了時刻

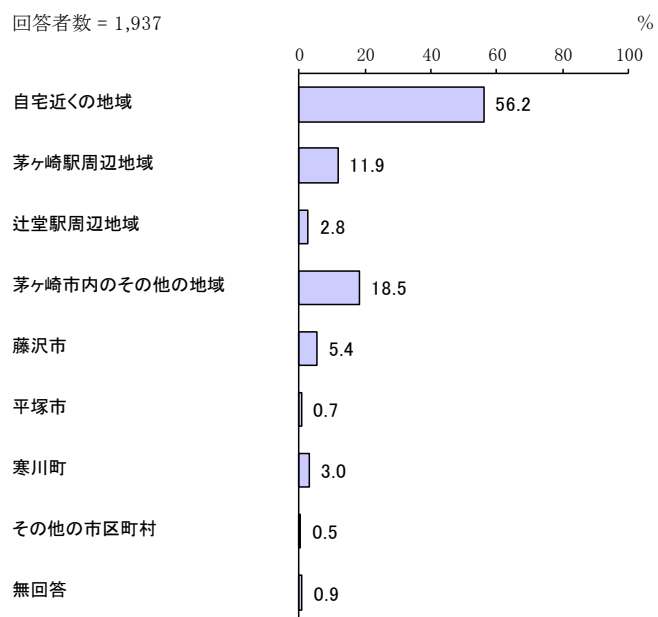
「15 時台」の割合が 15.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 14.7%、「17 時台」の割合が 14.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「15 時台」の割合が減少しています。



問 14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所をお答えください。
(1つだけに○)

「自宅近くの地域」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「茅ヶ崎市内のその他の地域」の割合が 18.5%、「茅ヶ崎駅周辺地域」の割合が 11.9%となっています。



【利用している教育・保育事業別】

利用している教育・保育事業別でみると、他に比べ、認可保育所、認定こども園で「自宅近くの地域」の割合が、幼稚園（認定こども園）の預かり保育、認定こども園、その他の認可外の保育施設で「茅ヶ崎市内のその他の地域」の割合が、事業所内保育施設、その他の認可外の保育施設で「藤沢市」の割合が高くなっています。

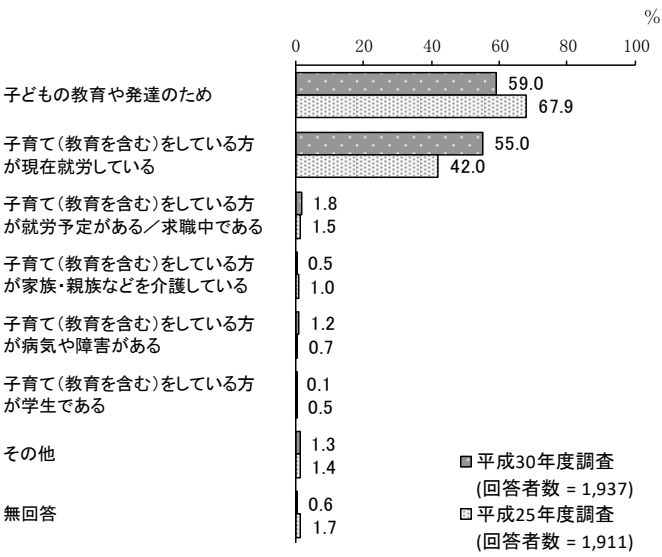
単位：%

区分	回答者数 (件)	自宅 近くの 地域	茅ヶ 崎駅 周辺 地域	辻堂 駅周 辺地 域	茅ヶ 崎市 内の その 他の 地域	藤沢 市	平塚 市	寒川 町	その 他の 市区 町村	無回 答
幼稚園	670	48.5	9.9	3.1	20.4	10.9	0.7	5.4	0.3	0.7
幼稚園(認定こども園)の預かり保育	39	43.6	7.7	—	25.6	7.7	2.6	7.7	—	5.1
認可保育所	819	67.0	15.5	1.5	13.4	0.9	0.5	0.5	0.2	0.5
認定こども園	214	60.3	0.5	0.5	29.9	—	—	6.5	1.4	0.9
小規模保育事業	40	55.0	27.5	7.5	7.5	2.5	—	—	—	—
家庭的保育	5	80.0	—	—	20.0	—	—	—	—	—
事業所内保育施設	28	25.0	25.0	3.6	14.3	17.9	7.1	—	7.1	—
その他の認可外の保育施設	50	12.0	16.0	20.0	26.0	20.0	4.0	—	2.0	—
居宅訪問型保育	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ファミリー・サポート・センター	4	75.0	—	—	—	—	—	—	—	25.0
その他	48	39.6	12.5	10.4	29.2	6.3	—	2.1	—	—

問 14－4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

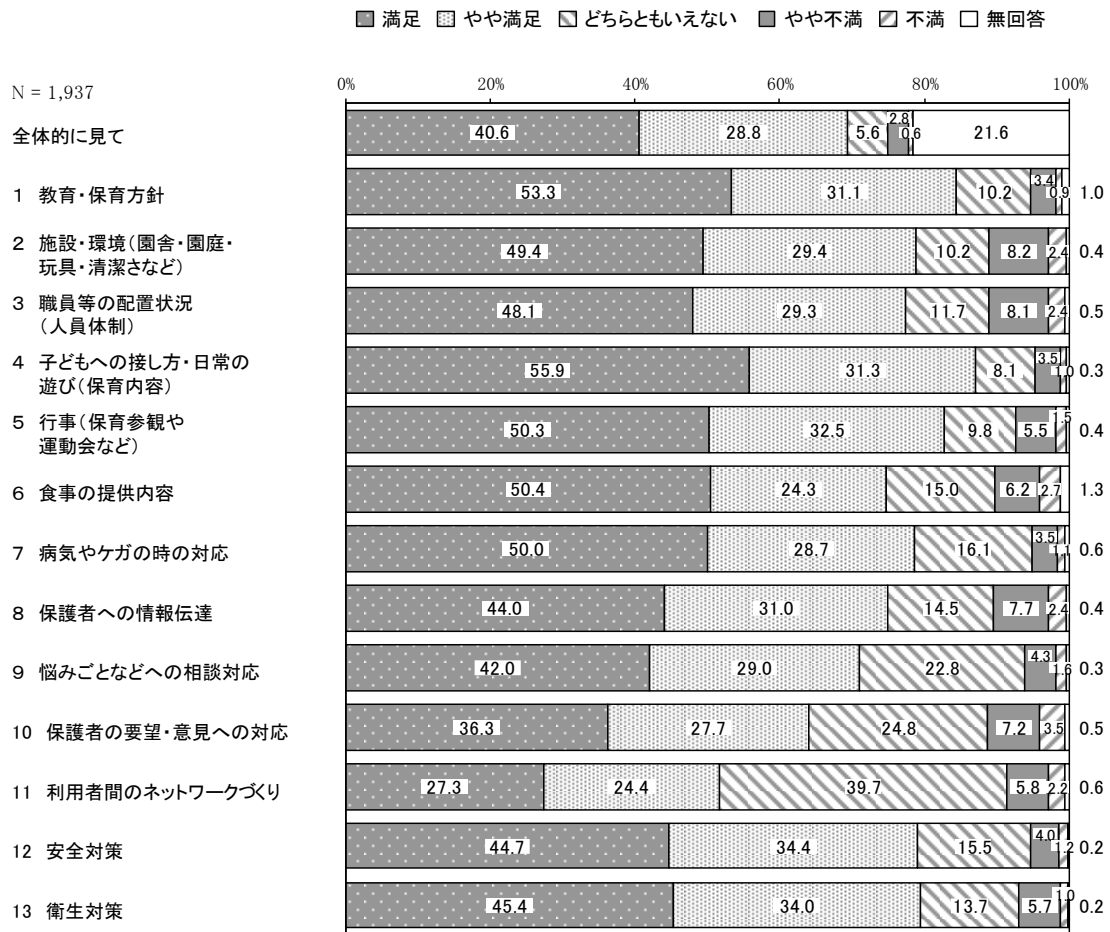
「子どもの教育や発達のため」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が 55.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が増加しています。一方、「子どもの教育や発達のため」の割合が減少しています。



問 14－5 お子さんの平日の教育・保育事業の①～⑬のそれぞれの項目について、どの程度満足しているかお答えください。（それぞれ１つずつに○）

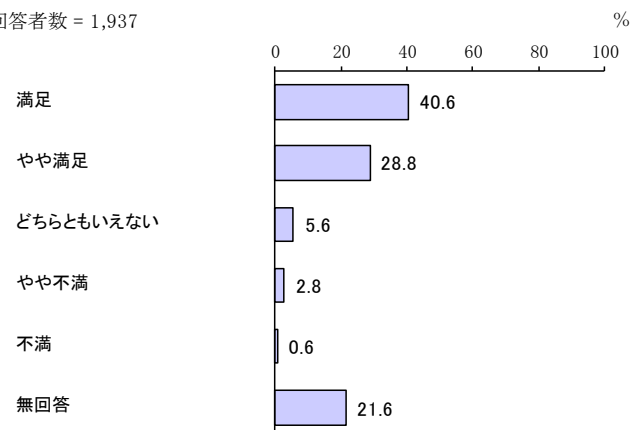
平日の教育・保育事業の満足度については、1 教育・保育方針、4 子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容）、5 行事（保育参観や運動会など）で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、8割を超えています。一方、2 施設・環境（園舎・園庭・玩具・清潔さなど）、3 職員等の配置状況（人員体制）、8 保護者への情報伝達、10 保護者の要望・意見への対応で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高くなっています。



全体的に見て

「満足」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 28.8%となっています。

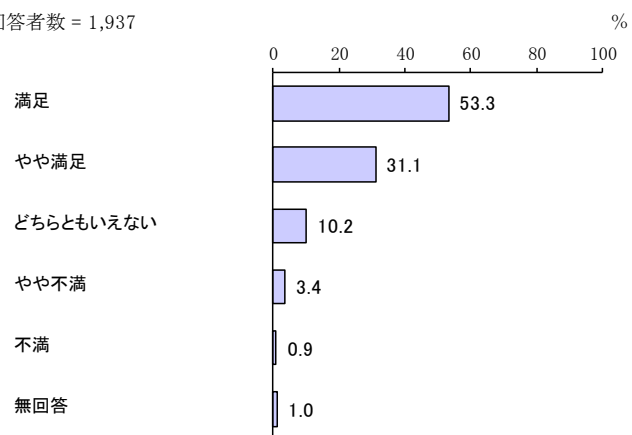
回答者数 = 1,937



① 教育・保育方針

「満足」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 31.1%、「どちらともいえない」の割合が 10.2%となっています。

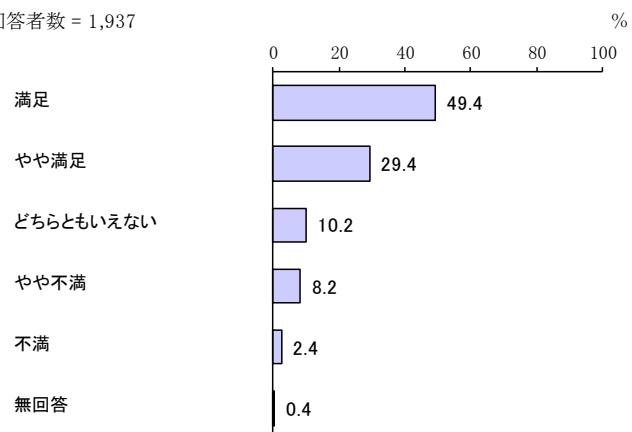
回答者数 = 1,937



② 施設・環境（園舎・園庭・玩具・清潔さなど）

「満足」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 29.4%、「どちらともいえない」の割合が 10.2%となっています。

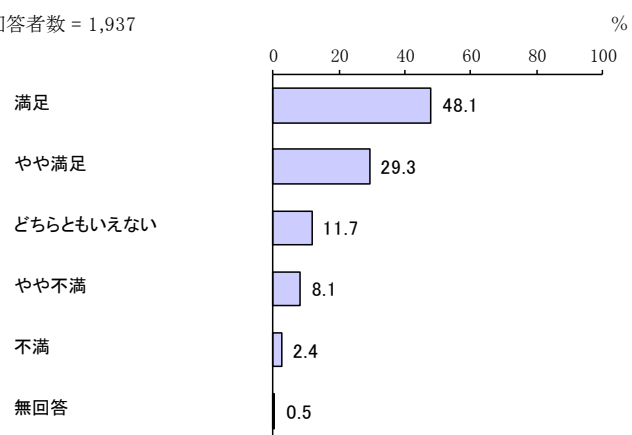
回答者数 = 1,937



③ 職員等の配置状況（人員体制）

「満足」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 29.3%、「どちらともいえない」の割合が 11.7%となっています。

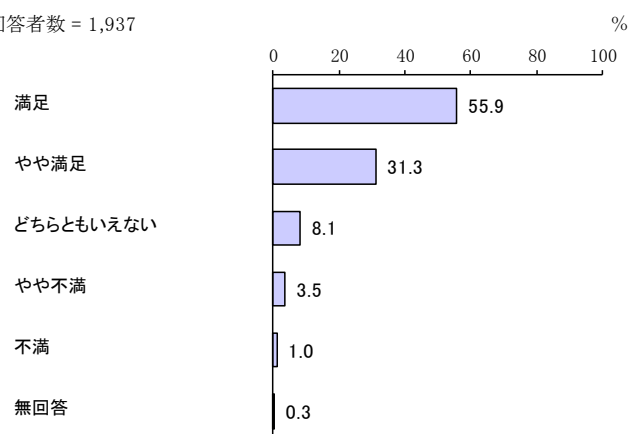
回答者数 = 1,937



④ 子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容）

「満足」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 31.3%となっています。

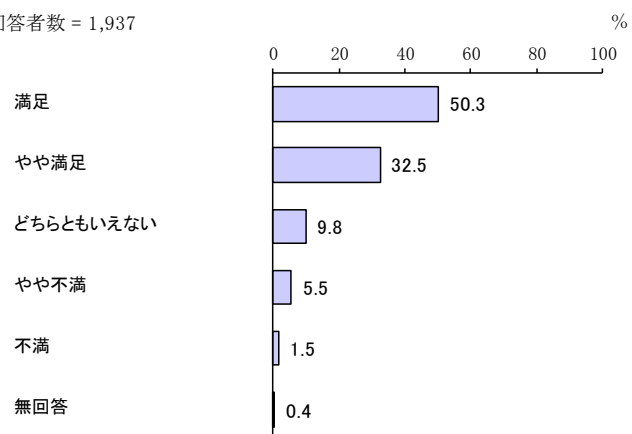
回答者数 = 1,937



⑤ 行事（保育参観や運動会など）

「満足」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 32.5%となっています。

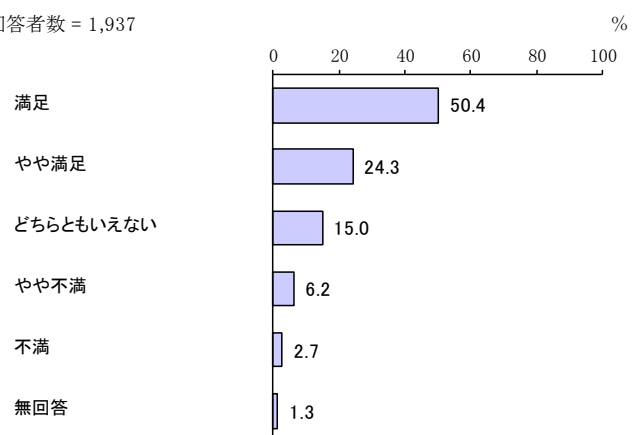
回答者数 = 1,937



⑥ 食事の提供内容

「満足」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 24.3%、「どちらともいえない」の割合が 15.0%となっています。

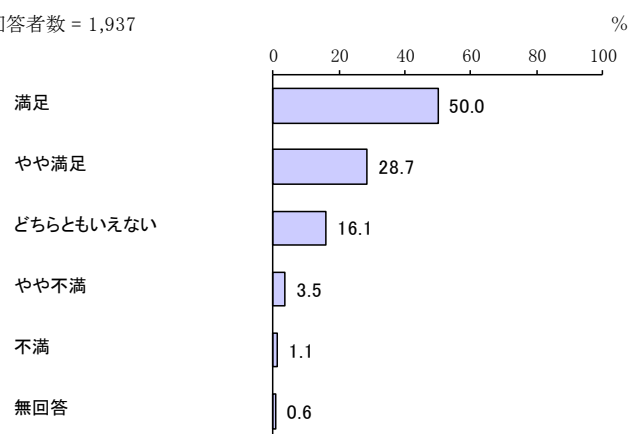
回答者数 = 1,937



⑦ 病気やケガの時の対応

「満足」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 28.7%、「どちらともいえない」の割合が 16.1%となっています。

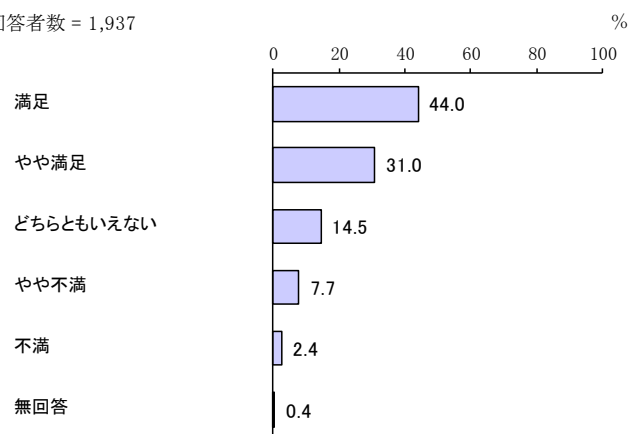
回答者数 = 1,937



⑧ 保護者への情報伝達

「満足」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 31.0%、「どちらともいえない」の割合が 14.5%となっています。

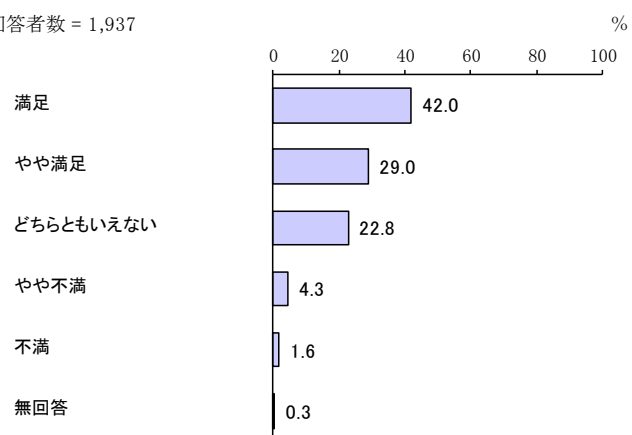
回答者数 = 1,937



⑨ 悩みごとなどへの相談対応

「満足」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 29.0%、「どちらともいえない」の割合が 22.8%となっています。

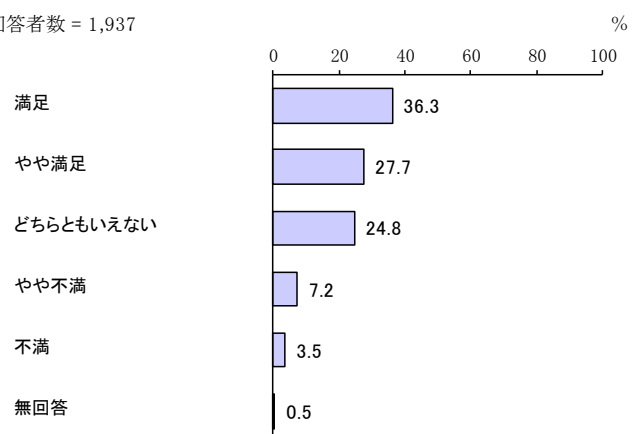
回答者数 = 1,937



⑩ 保護者の要望・意見への対応

「満足」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 27.7%、「どちらともいえない」の割合が 24.8%となっています。

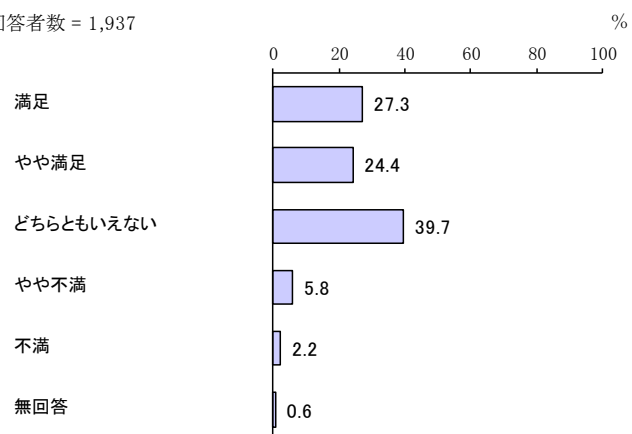
回答者数 = 1,937



⑪ 利用者間のネットワークづくり

「どちらともいえない」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「満足」の割合が 27.3%、「やや満足」の割合が 24.4%となっています。

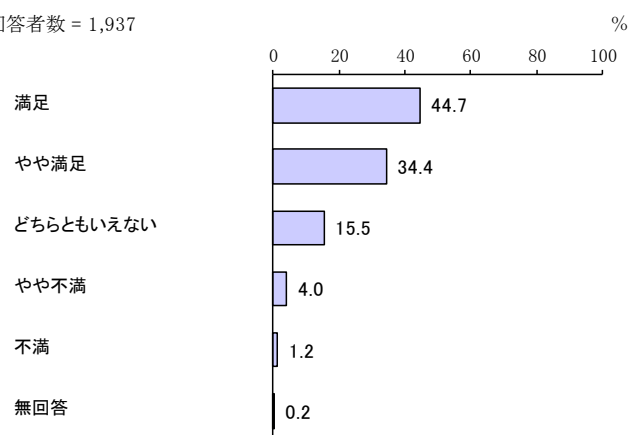
回答者数 = 1,937



⑫ 安全対策

「満足」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 34.4%、「どちらともいえない」の割合が 15.5%となっています。

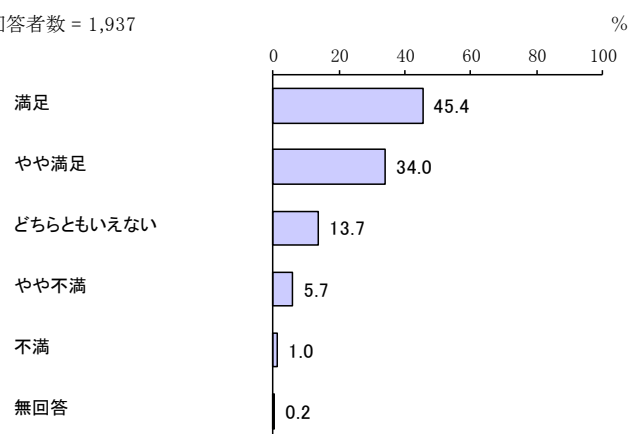
回答者数 = 1,937



⑬ 衛生対策

「満足」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 34.0%、「どちらともいえない」の割合が 13.7%となっています。

回答者数 = 1,937



問 14－6 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。（特にあてはまるものすべてに○）

「子どもがまだ小さいため（（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親もしくは父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が 42.4%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 14.7%となっています。

回答者数 = 903

(子どもの教育や発達のため、子どもの母親もしくは父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない

子どもの祖父母や親戚の人がみている

近所の人や父母の友人・知人がみている

利用したいが、保育・教育の事業に空きがない

利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

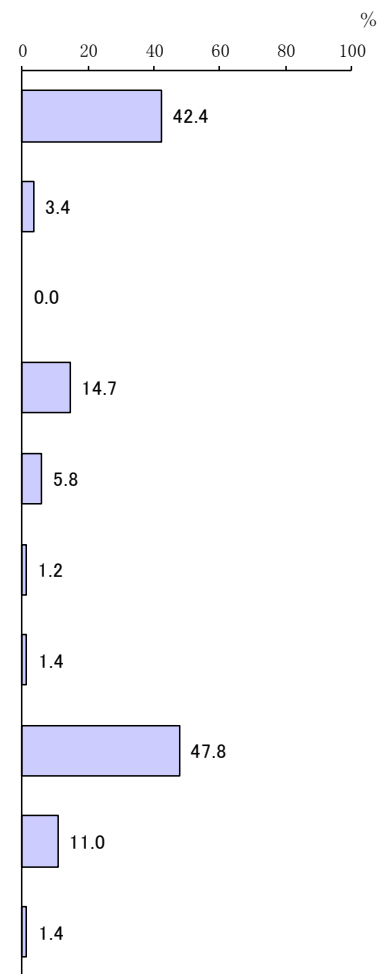
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

子どもがまだ小さいため（（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている）

その他

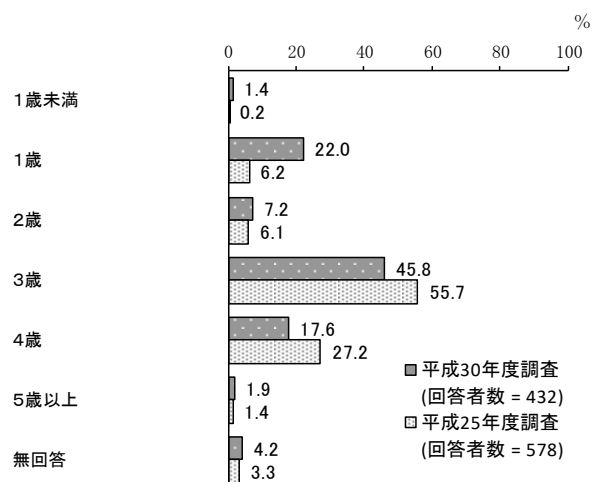
無回答



教育・保育事業を利用したい子どもの年齢

「3歳」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 22.0%、「4歳」の割合が 17.6%となっています。

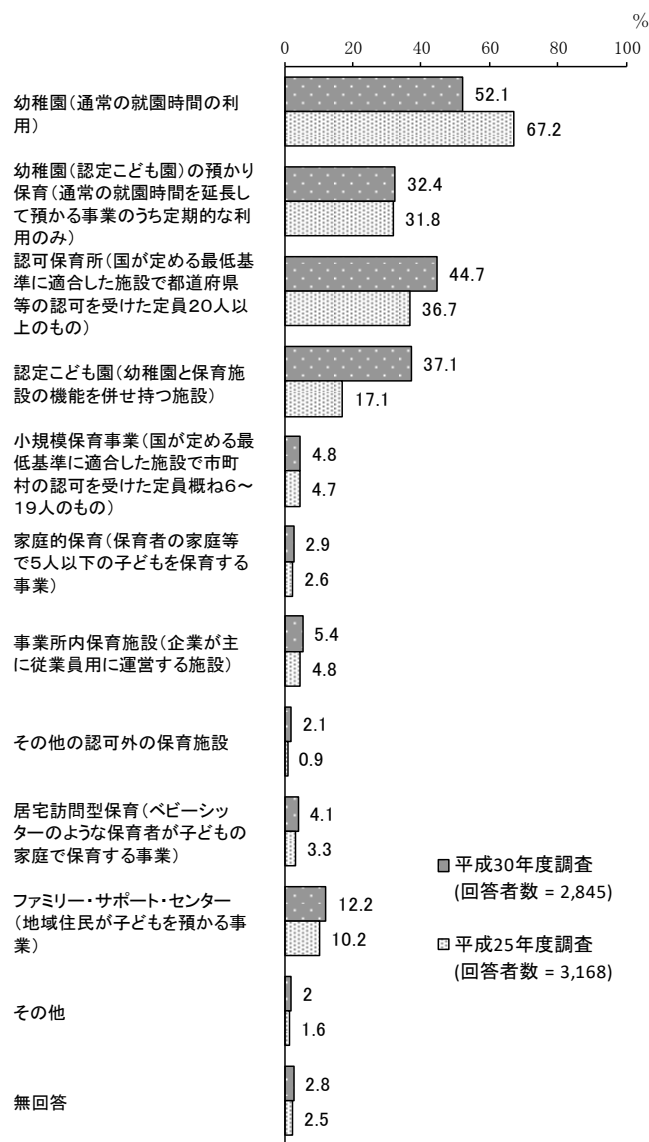
平成 25 年度調査と比較すると、「1歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」「4歳」の割合が減少しています。



問 15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が52.1%と最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」の割合が44.7%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が37.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が増加しています。一方、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳で「認可保育所」の割合が、5歳で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園 (認定こども園) の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模 保育事業	家庭的 保育	事業所内 保育施設	その他の認可 外の保育施設	居宅訪問型 保育	ファミリー・サ ポート・センタ ー	その他	無回答
0歳	453	46.8	29.8	61.6	41.9	10.8	4.0	8.4	4.0	5.3	13.9	1.5	2.6
1歳	467	51.8	33.0	49.7	40.0	6.0	4.1	4.7	1.9	5.6	11.3	2.1	2.8
2歳	509	51.3	30.3	45.0	37.5	4.3	2.6	6.1	2.4	3.7	10.6	2.4	3.7
3歳	469	52.0	33.0	41.2	36.7	3.4	2.6	5.1	1.1	3.6	12.6	1.5	1.9
4歳	445	53.0	34.8	38.0	35.3	2.5	2.7	4.7	2.0	3.6	13.5	2.2	2.2
5歳	466	58.2	33.9	34.3	30.7	2.1	1.7	3.9	1.3	3.0	11.6	2.1	2.8

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「認可保育所」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

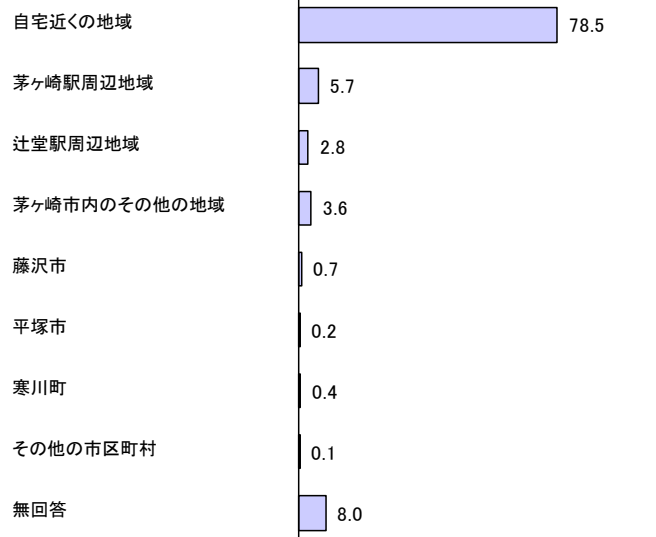
単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園	幼稚園（認定こども園）の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	682	18.3	23.8	76.8	36.4	4.1	2.3	5.6	2.5	5.7	14.5	1.8	3.7
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	234	20.9	23.1	87.6	43.6	9.4	3.4	8.1	5.1	5.1	16.7	1.7	2.6
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	590	49.0	36.9	45.9	36.1	4.4	3.6	5.9	1.5	3.4	12.2	1.5	2.5
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	44	36.4	27.3	72.7	36.4	6.8	—	6.8	—	6.8	15.9	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	1,200	78.5	37.5	17.8	37.3	4.7	3.1	4.8	1.8	3.4	10.2	2.7	2.5
これまで就労したことがない	69	75.4	30.4	18.8	33.3	1.4	—	2.9	—	—	2.9	1.4	2.9

問 15－1 教育・保育事業を利用したい場所をお答えください。（1つだけに○）

「自宅近くの地域」の割合が78.5%と最も高くなっています。

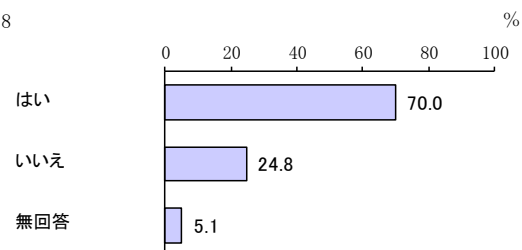
回答者数 = 2,845



問 15－2 問 15 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園（認定こども園）の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つだけに○）

「はい」の割合が70.0%、「いいえ」の割合が24.8%となっています。

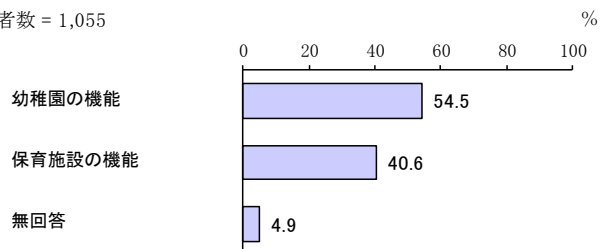
回答者数 = 978



問 15－3 問 15 で「4. 認定こども園」に○をつけた方にうかがいます。幼稚園の機能と保育施設の機能のどちらの利用を希望しますか。（1つだけに○）

「幼稚園の機能」の割合が54.5%、「保育施設の機能」の割合が40.6%となっています。

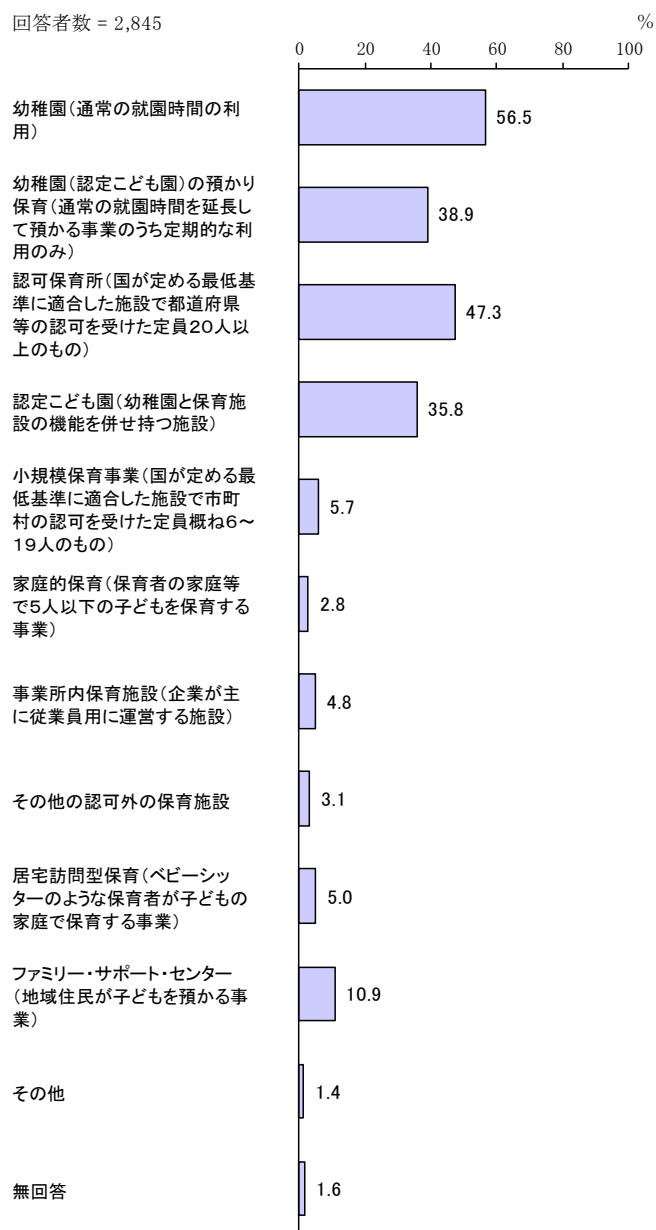
回答者数 = 1,055



問 16 幼児教育・保育無償化が実施された場合、「定期的に」利用したいと考える教育・保育事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が56.5%と最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」の割合が47.3%、「幼稚園（認定こども園）の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」の割合が38.9%となっています。

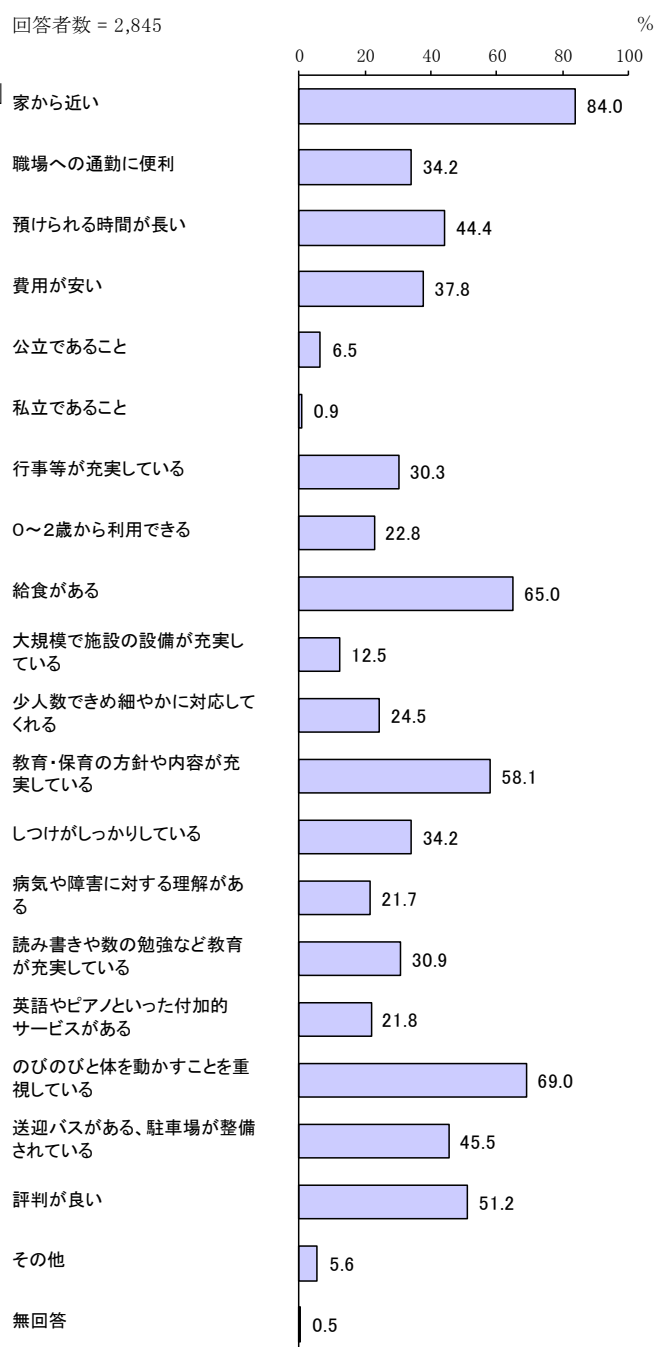
回答者数 = 2,845



問 17 お子さんの利用する教育・保育事業を選ぶときにどのようなことを重視しますか。（あてはまるものすべてに○）

「家から近い」の割合が84.0%と最も高く、次いで「のびのびと体を動かすことを重視している」の割合が69.0%、「給食がある」の割合が65.0%となっています。

回答者数 = 2,845



【利用したい教育・保育事業別】

利用したい教育・保育事業別でみると、他に比べ、小規模保育事業、事業所内保育施設で「家から近い」の割合が高く、その他の認可外の保育施設、居宅訪問型保育で「預けられる時間が長い」の割合が高くなっています。また、認可保育所で「0～2歳から利用できる」の割合が、認可保育所、認定こども園で「給食がある」の割合が、家庭的保育で「少人数できめ細やかに対応してくれる」の割合が、居宅訪問型保育で「評判が良い」の割合が高くなっています。

單位：%

区分	回答者数 (件)	家から近い	職場への通勤に便	預けられる時間が長い	費用が安い	公立であること	私立であること	行事等が充実している	0～2歳から利用できる	給食がある	大規模で施設の設備が充実している
幼稚園	1483	83.5	20.6	35.7	37.6	5.3	0.9	31.4	11.1	54.1	10.9
幼稚園(認定こども園)の預かり保育	921	84.8	32.7	52.6	41.8	5.9	0.8	31.5	20.8	68.7	13.8
認可保育所	1272	89.8	56.5	58.0	40.5	8.7	0.9	29.3	41.9	77.8	15.7
認定こども園	1055	85.8	39.4	51.1	40.5	6.1	1.4	32.3	27.9	74.2	15.2
小規模保育事業	137	91.2	54.0	56.9	52.6	5.1	0.7	28.5	46.0	68.6	16.1
家庭的保育	82	84.1	41.5	48.8	54.9	6.1	1.2	24.4	34.1	58.5	13.4
事業所内保育施設	155	90.3	58.1	59.4	57.4	6.5	1.3	31.6	34.8	66.5	16.8
その他の認可外の保育施設	59	76.3	44.1	67.8	45.8	3.4	—	33.9	39.0	66.1	16.9
居宅訪問型保育	118	81.4	44.1	66.1	41.5	7.6	1.7	28.8	33.1	77.1	19.5
ファミリー・サポート・センター	348	86.5	43.7	58.9	45.1	5.5	1.4	28.4	34.2	73.3	11.8
その他	58	84.5	22.4	43.1	29.3	5.2	—	29.3	19.0	53.4	5.2

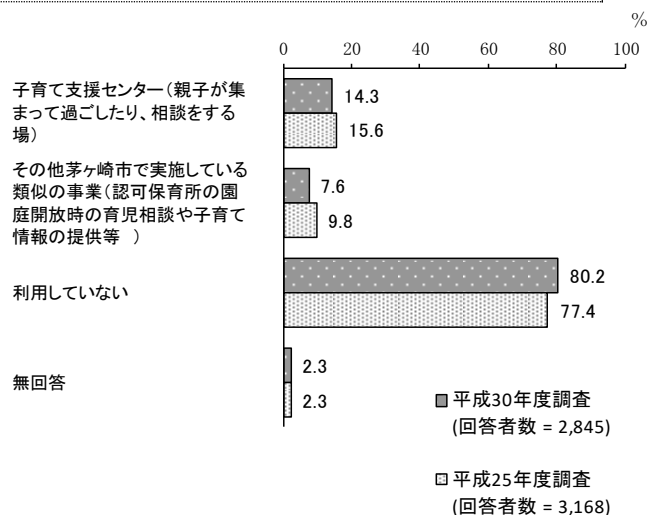
区分	送迎バスがある、駐車場が整備されている	のびのびと体を動かすことを重視している	英語やピアノといった付加的サービ スがある	読み書きや数の勉強など教育が充実している	病気や障害に対する理解がある	しつけがしっかりしている	教育・保育の方針や内容が充実している	少人数できめ細やかに対応してくれ	無回答	その他	評判が良い
幼稚園	52.6	70.7	20.8	30.1	20.3	35.5	60.6	27.1	—	5.6	54.9
幼稚園(認定こども園)の預かり保育	53.7	71.2	26.5	36.5	22.0	37.2	64.2	27.5	—	6.6	55.0
認可保育所	38.2	71.1	23.4	30.2	26.7	33.7	58.7	21.8	0.1	6.0	51.3
認定こども園	49.5	71.3	26.9	39.1	23.5	37.3	62.7	26.7	—	7.5	53.1
小規模保育事業	39.4	67.2	19.0	26.3	27.7	30.7	55.5	46.7	—	7.3	59.9
家庭的保育	41.5	74.4	19.5	30.5	39.0	34.1	56.1	59.8	—	13.4	47.6
事業所内保育施設	52.3	68.4	27.1	33.5	30.3	36.1	58.7	33.5	—	5.8	52.9
その他の認可外の保育施設	40.7	74.6	39.0	42.4	28.8	40.7	67.8	28.8	—	6.8	54.2
居宅訪問型保育	55.1	73.7	36.4	34.7	33.9	41.5	66.1	32.2	—	11.0	63.6
ファミリー・サポート・センター	49.4	73.3	27.9	31.3	28.2	33.9	61.8	28.7	—	5.7	56.3
その他	48.3	65.5	20.7	27.6	25.9	24.1	46.6	39.7	1.7	22.4	50.0

(5) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 18 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 80.2%と最も高く、次いで「子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の割合が 14.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

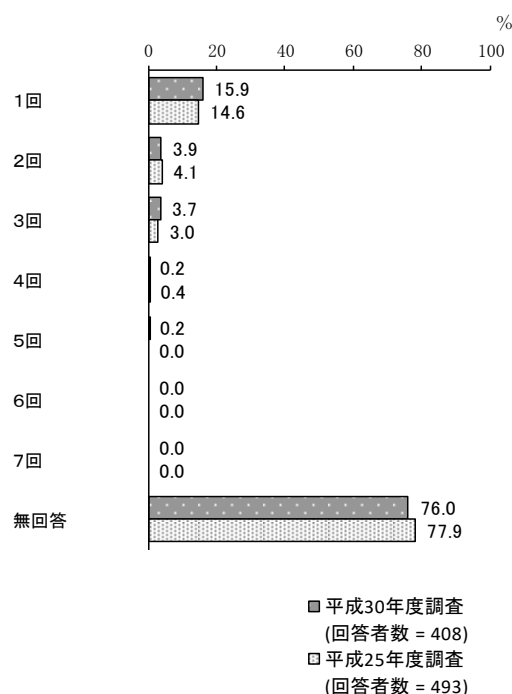


ア 子育て支援センター

(ア) 子育て支援センター 1 週当たり利用回数

「1 回」の割合が 15.9%と最も高くなっています。

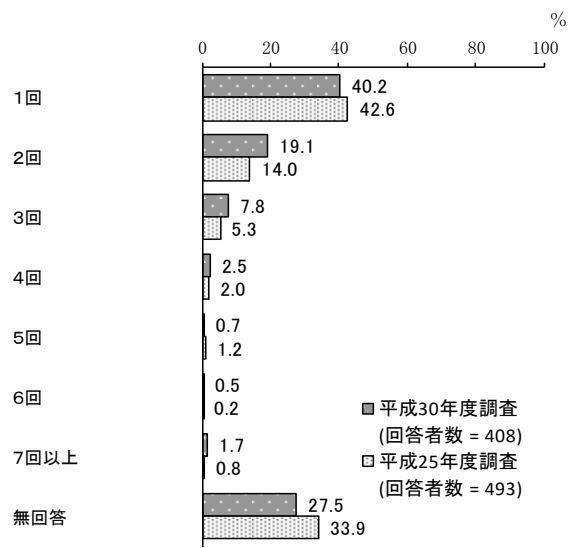
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 子育て支援センター 1か月当たり利用回数

「1回」の割合が40.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「2回」の割合が増加しています。

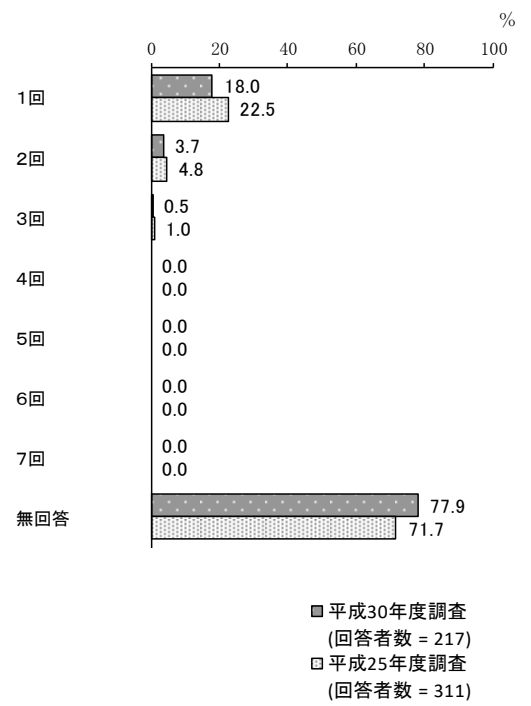


ウ その他茅ヶ崎市で実施している類似の事業

(ア) その他茅ヶ崎市で実施している類似の事業 1週当たり利用回数

「1回」の割合が18.0%と最も高くなっています。

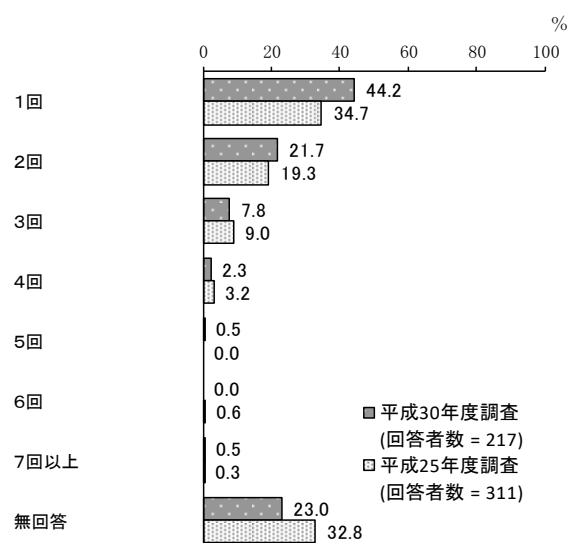
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) その他茅ヶ崎市で実施している類似の事業 1 か月当たり利用回数

「1 回」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「2 回」の割合が 21.7%となっています。

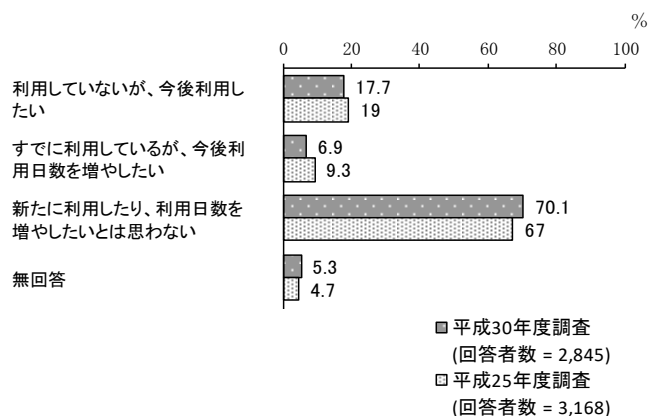
平成 25 年度調査と比較すると、「1 回」の割合が増加しています。



問 19 問 18 のような子育て支援センターなどについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 70.1%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 17.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

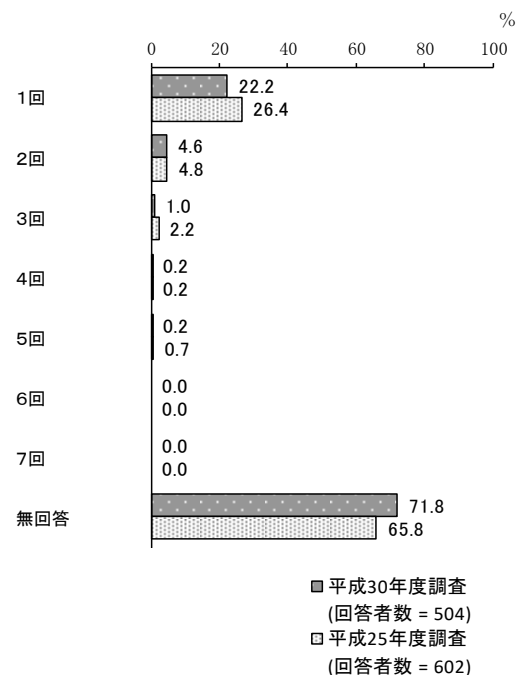


ア 利用していないが、今後利用したい

(ア) 利用していないが、今後利用したい 1週当たり利用希望回数

「1回」の割合が22.2%と最も高くなっています。

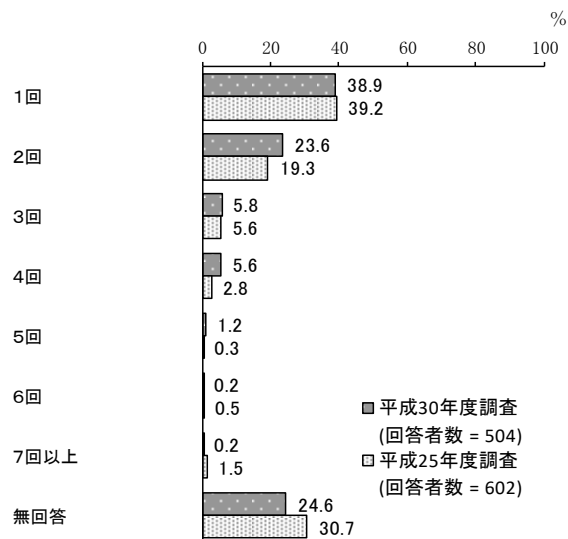
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 利用していないが、今後利用したい 1ヶ月当たり利用希望回数

「1回」の割合が38.9%と最も高く、次いで「2回」の割合が23.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

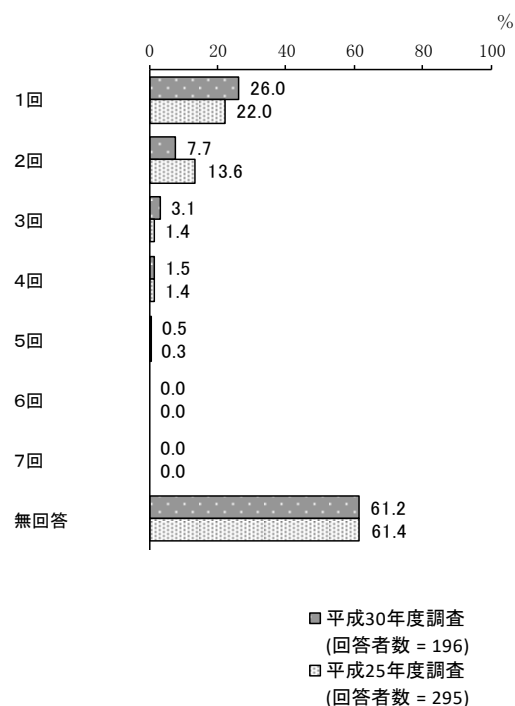


イ 今後利用日数を増やしたい

(ア) 今後利用日数を増やしたい 1週当たりの増やしたい利用回数

「1回」の割合が26.0%と最も高くなっています。

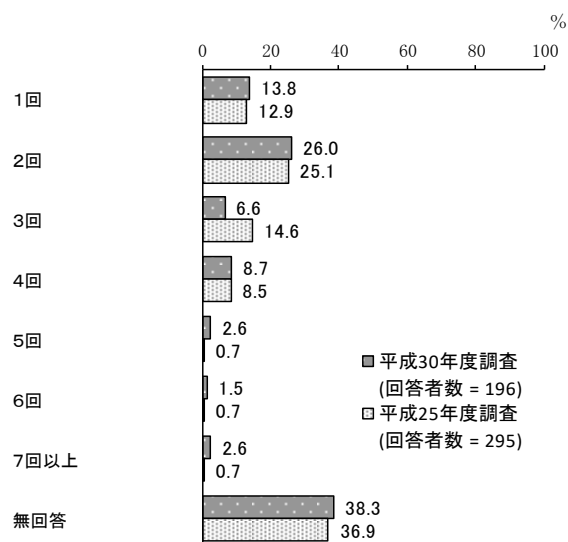
平成25年度調査と比較すると、「2回」の割合が減少しています。



(イ) 今後利用日数を増やしたい 1ヶ月当たりの増やしたい利用回数

「2回」の割合が26.0%と最も高く、次いで「1回」の割合が13.8%となっています。

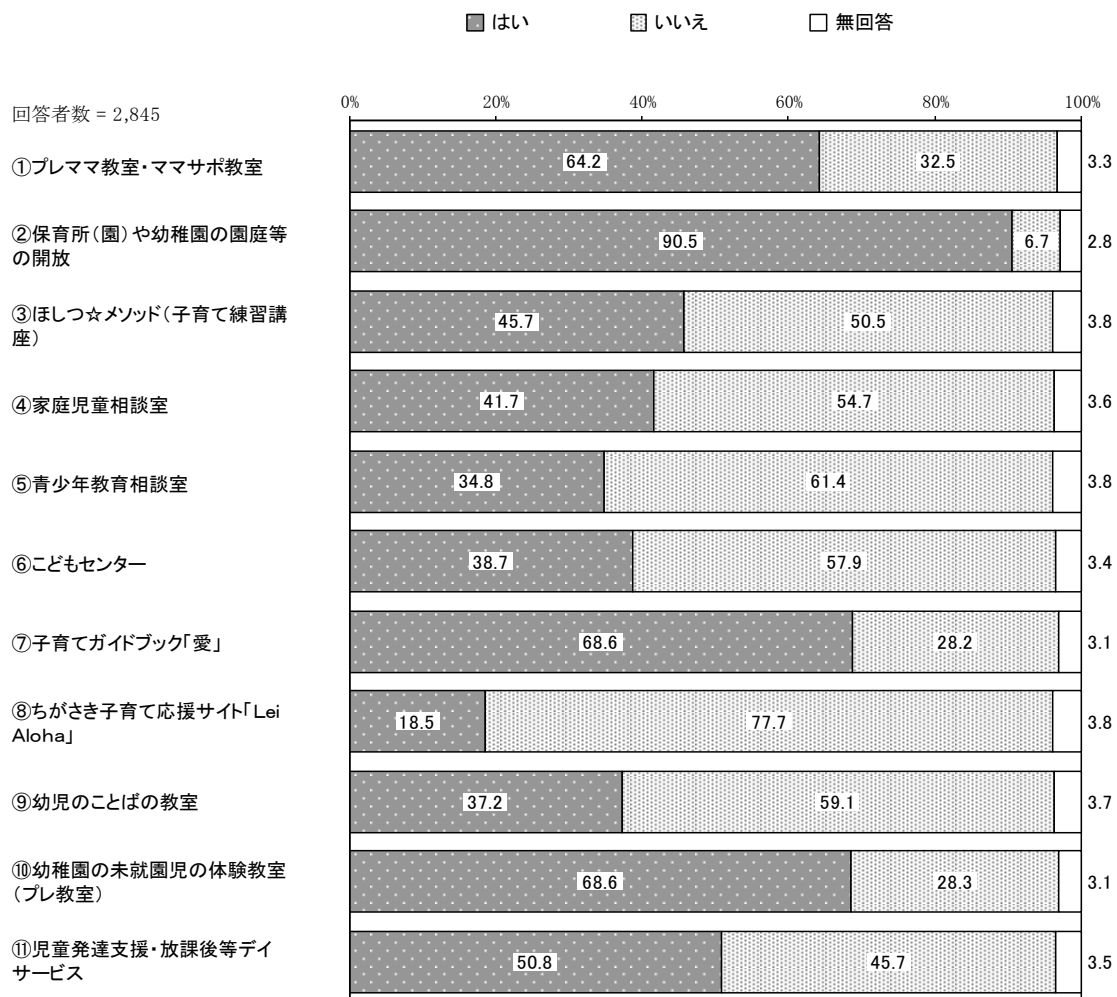
平成25年度調査と比較すると、「3回」の割合が減少しています。



問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

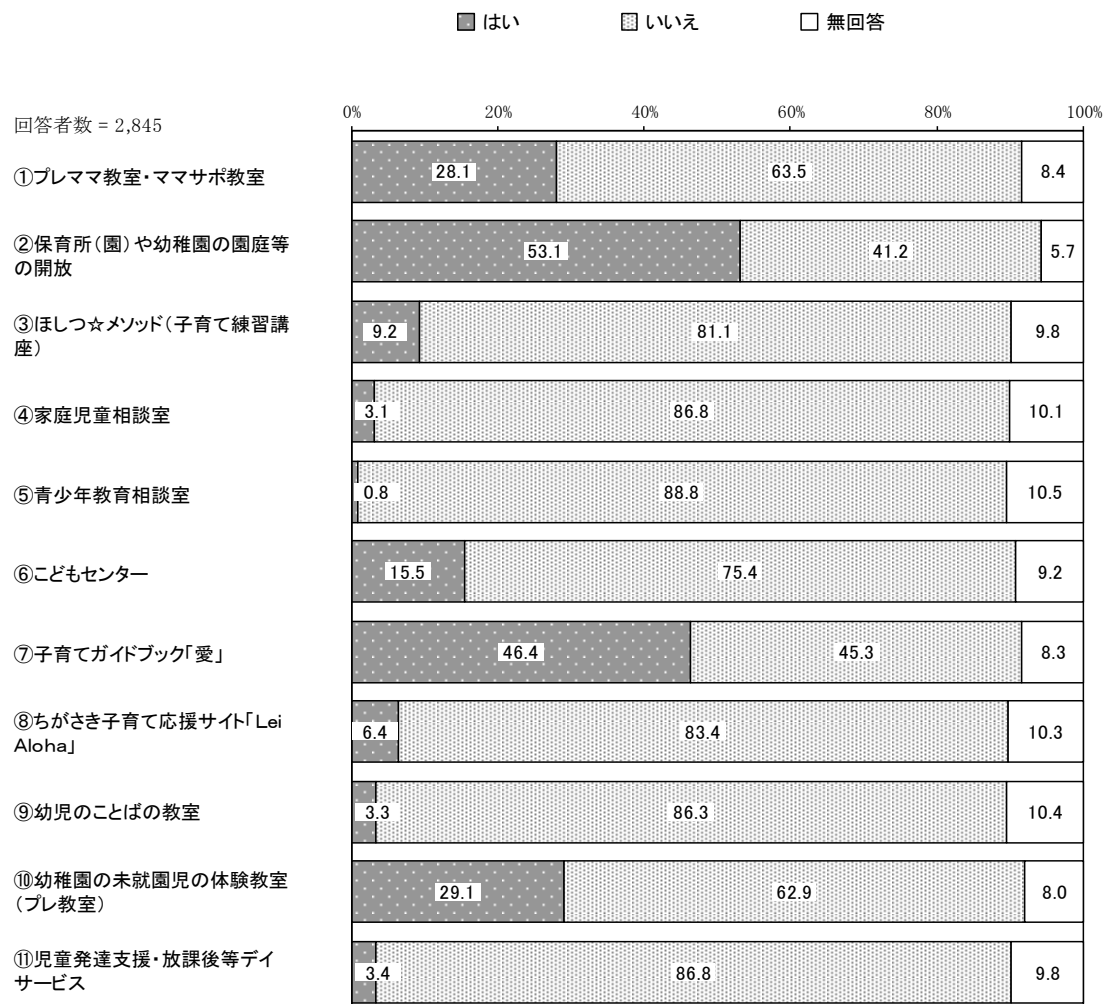
A. 知っている

A. 知っているでは、『②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が、『⑧ちがさき子育て応援サイト「Lei Aloha」』で「いいえ」の割合が高くなっています。



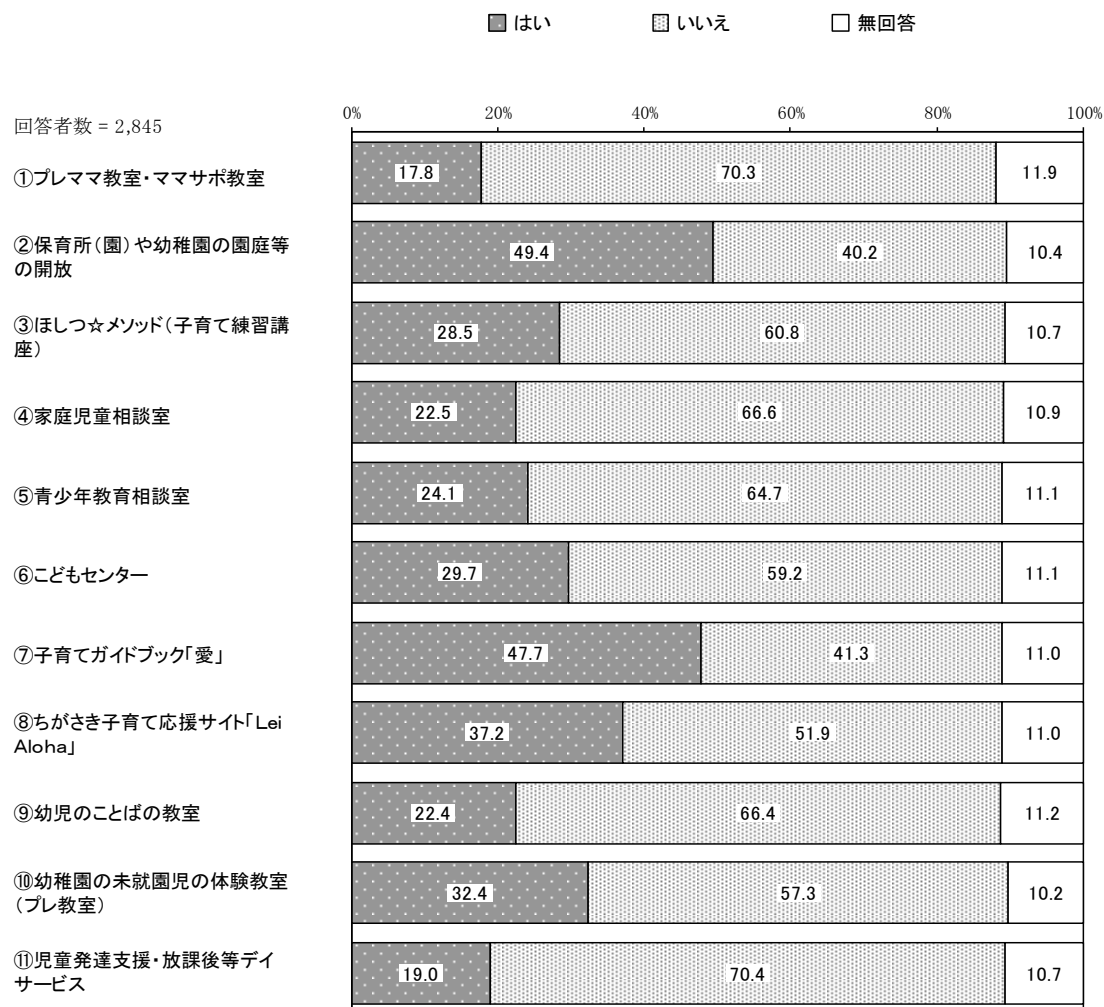
B. これまでに利用したことがある

B. これまでに利用したことがあるでは、『②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が、『④家庭児童相談室』『⑤青少年教育相談室』『⑨幼児のことばの教室』『⑪児童発達支援・放課後等デイサービス』で「いいえ」の割合が高くなっています。



C. 今後利用したい

C. 今後利用したいでは、『②保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が、『①プレママ教室・ママサポ教室』『⑪児童発達支援・放課後等デイサービス』で「いいえ」の割合が高くなっています。

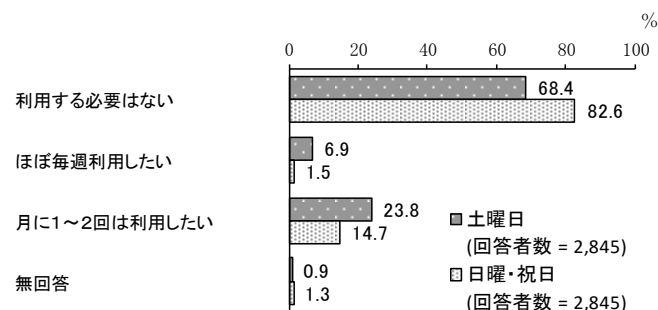


（６）宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれ１つずつに○）

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が68.4%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が23.8%となっています。

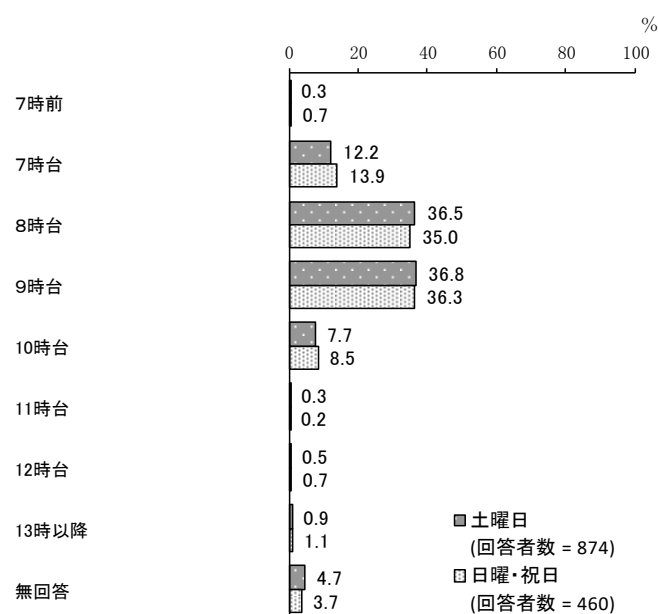
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が82.6%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が14.7%となっています。



ア 開始時刻

土曜日では、「9時台」の割合が36.8%と最も高く、次いで「8時台」の割合が36.5%、「7時台」の割合が12.2%となっています。

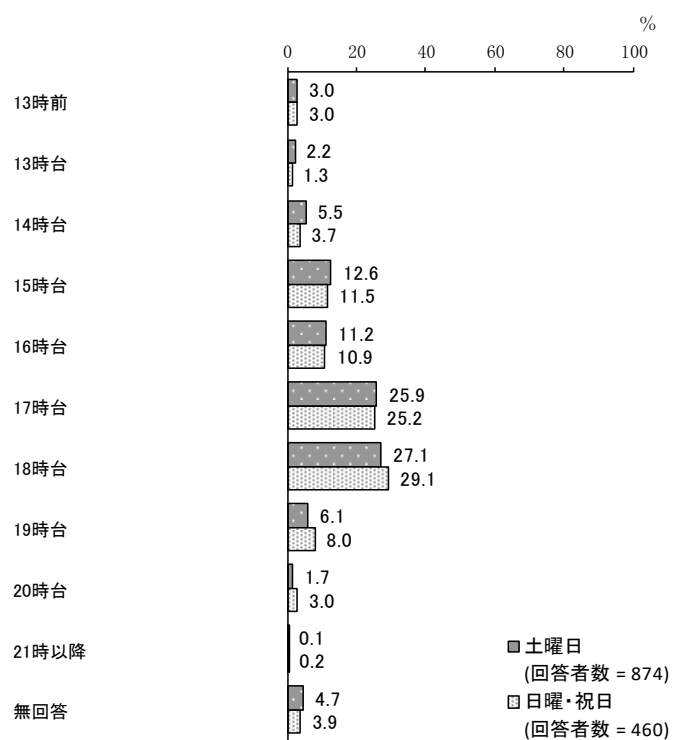
日曜・祝日では、「9時台」の割合が36.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が35.0%、「7時台」の割合が13.9%となっています。



イ 終了時刻

土曜日では、「18 時台」の割合が 27.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 25.9%、「15 時台」の割合が 12.6%となっています。

日曜・祝日では、「18 時台」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 25.2%、「15 時台」の割合が 11.5%となっています。



問 21－1 問 21 の（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、月に１～２回は利用したい理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「月に数回仕事が入るため」の割合が 66.6%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 32.3%、「息抜きのため」の割合が 31.3%となっています。

回答者数 = 776

月に数回仕事が入るため

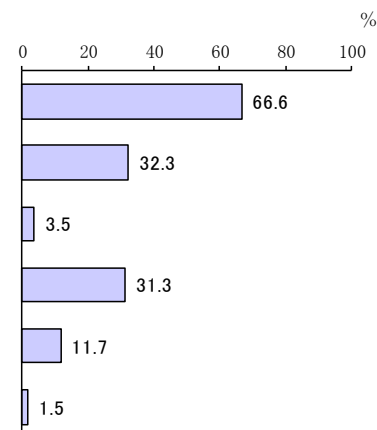
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

親族の介護や手伝いが必要なため

息抜きのため

その他

無回答



問 22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（１つだけに○）

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 38.8%となっています。

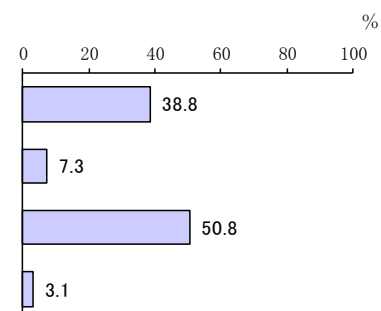
回答者数 = 709

利用する必要はない

休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

休みの期間中、週に数日利用したい

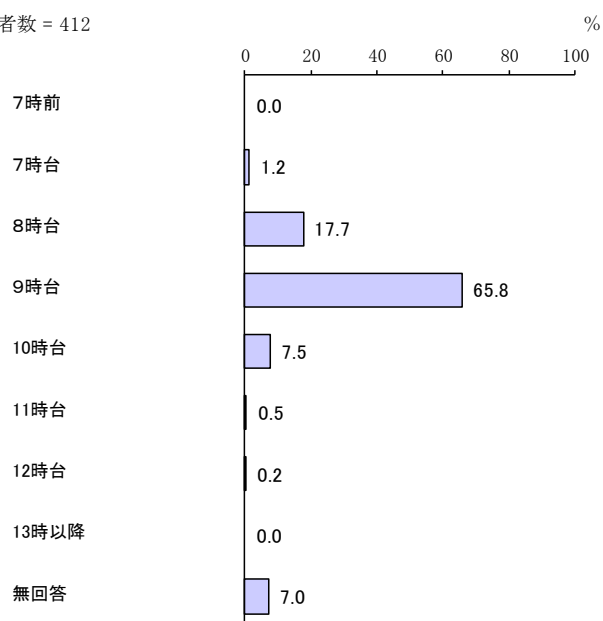
無回答



ア 開始時刻

「9 時台」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 17.7%となっています。

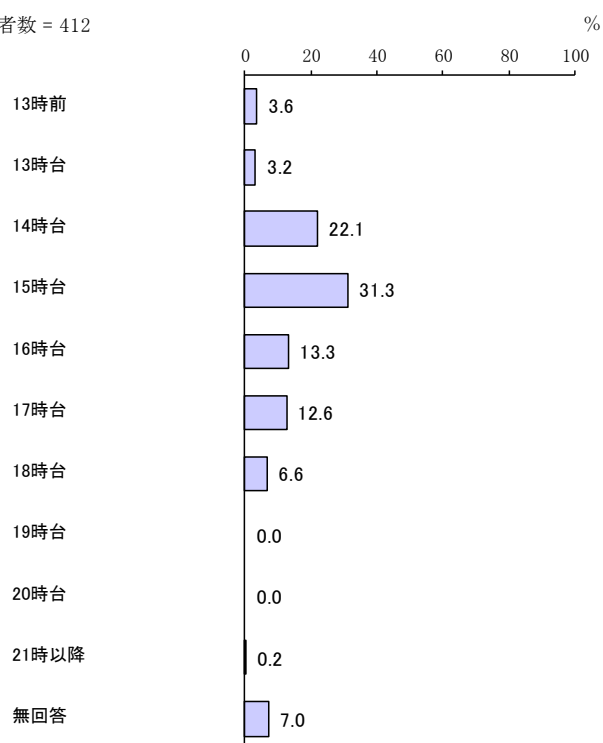
回答者数 = 412



イ 終了時刻

「15 時台」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「14 時台」の割合が 22.1%、「16 時台」の割合が 13.3%となっています。

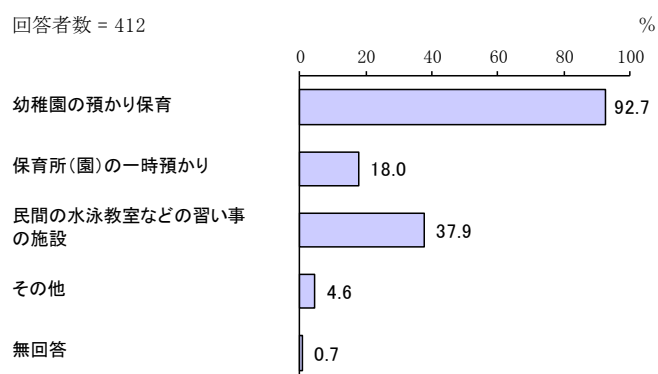
回答者数 = 412



問 22－1 問 22 で、「2.」「3.」に○をつけた方にうかがいます。休みの期間中、どこで過ごさせたいですか。（あてはまるものすべてに○）

「幼稚園の預かり保育」の割合が 92.7%と最も高く、次いで「民間の水泳教室などの習い事の施設」の割合が 37.9%、「保育所（園）の一時預かり」の割合が 18.0%となっています。

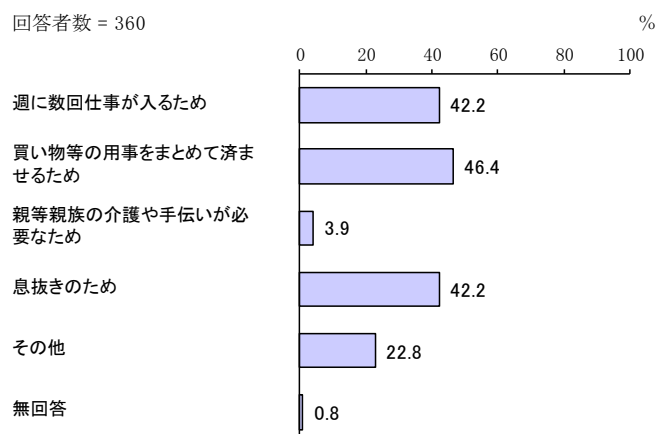
回答者数 = 412



問 22－2 問 22 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」「息抜きのため」の割合が 42.2%となっています。

回答者数 = 360

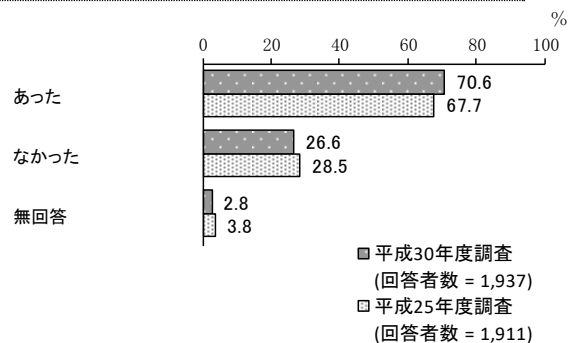


（７）宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 23 この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（１つだけに○）

「あった」の割合が70.6%、「なかった」の割合が26.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、1歳で「あった」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳	78	80.8	15.4	3.8
1歳	203	85.7	13.3	1.0
2歳	280	78.9	17.9	3.2
3歳	445	72.1	25.6	2.2
4歳	440	63.4	34.3	2.3
5歳	461	62.7	33.2	4.1

【母親の就労状況別（就学前保護者）】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「あった」の割合が高くなっています。

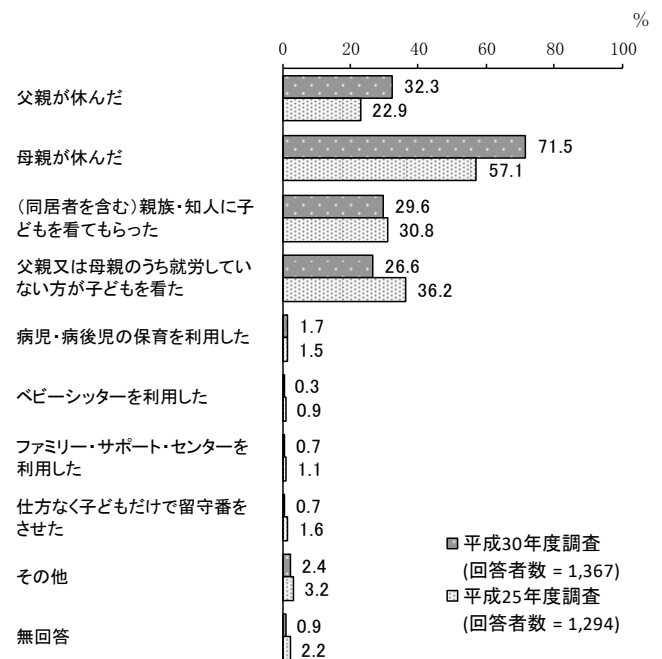
単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	664	85.1	13.3	1.7
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	75	76.0	20.0	4.0
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	531	71.2	26.2	2.6
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	23	73.9	26.1	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	586	54.4	41.1	4.4
これまで就労したことがない	37	48.6	51.4	—

問 23－ 1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）。

「母親が休んだ」の割合が 71.5％と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 32.3％、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が 29.6％となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳から1歳で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	63	41.3	92.1	28.6	3.2	1.6	—	1.6	—	3.2	—
1歳	174	49.4	93.7	39.7	5.7	4.6	0.6	0.6	0.6	3.4	—
2歳	221	43.0	87.8	34.4	11.3	2.7	—	1.4	0.5	1.8	—
3歳	321	27.7	62.9	28.3	35.8	0.6	0.6	0.6	—	3.1	1.6
4歳	279	27.2	58.1	25.1	38.0	1.4	0.4	—	1.8	2.5	1.1
5歳	289	23.2	65.7	27.0	33.2	0.3	—	0.3	0.7	1.4	1.4

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「母親が休んだ」の割合が最も高くなっています。また、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	に子どもを看てもらった (同居者を含む) 親族・知人	父親又は母親のうち就労し ていない方が子どもを看た	病児・病後児の保育を利用し た	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・セン ターを利用した	番をさせた 仕方なく子どもだけで留守	その他	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	565	51.7	93.8	41.4	4.1	3.7	0.4	0.5	0.5	2.8	0.4
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	57	40.4	84.2	31.6	14.0	—	—	—	—	3.5	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	378	24.6	86.0	32.8	14.3	0.3	0.3	1.1	1.6	2.6	0.8
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	17	23.5	88.2	11.8	5.9	—	—	—	—	5.9	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	319	7.2	16.3	7.5	81.8	0.3	0.3	0.6	—	1.3	2.2
これまで就労したことがない	18	5.6	11.1	—	88.9	—	—	—	—	—	—

1 年間の対処方法の日数

1 年間の対処方法としては、『2. 母親が休んだ』で「10～19 日」の割合が、『5. 病児・病後児の保育を利用した』で「2～3 日」の割合が高くなっています。

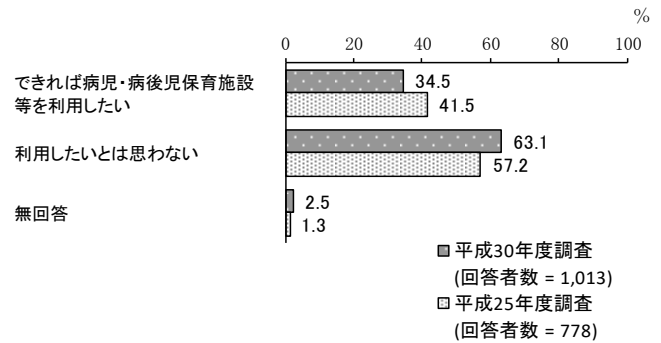
単位：％

区分	回答者数 (件)	1 日	2 ～ 3 日	4 ～ 5 日	6 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 日 以上	無 回 答
1. 父親が休んだ	442	19.0	42.8	24.0	4.5	7.7	1.4	0.7
2. 母親が休んだ	978	5.6	21.5	21.2	10.7	26.8	9.8	4.4
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもを見てもらった	405	10.4	30.4	23.5	6.7	17.8	6.9	4.4
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	364	6.0	19.8	17.6	9.9	21.4	12.1	13.2
5. 病児・病後児の保育を利用した	23	21.7	47.8	13.0	—	17.4	—	—
6. ベビーシッターを利用した	4	25.0	75.0	—	—	—	—	—
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	9	22.2	33.3	11.1	—	—	11.1	22.2
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9	44.4	33.3	11.1	—	—	—	11.1
9. その他	33	9.1	18.2	30.3	21.2	6.1	—	15.2

問 23－2 問 23－1で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われ
 ましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数（1年間当たり）につい
 ても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業
 等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要
 となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用した
 い」の割合が34.5%、「利用したいとは思わない」
 の割合が63.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用したいと
 は思わない」の割合が増加しています。一方、「で
 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の
 割合が減少しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「できれば病児・病後児保育施設等を利用
 したい」の割合が高くなっています。

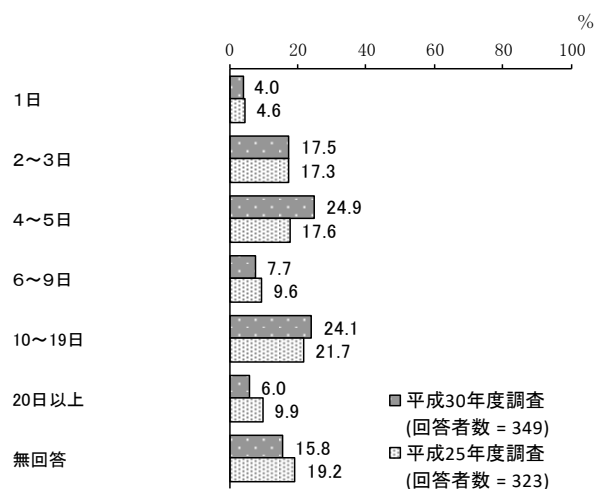
単位：％

区分	回答者数 (件)	できれば病児・病後 児保育施設等を利用 したい	利用したいとは思 わない	無回 答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労し ており、産休・育休・介護休業中ではない	535	43.6	53.8	2.6
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労し ているが、産休・育休・介護休業中である	51	25.5	68.6	5.9
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労して おり、産休・育休・介護休業中ではない	329	27.1	72.0	0.9
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労して いるが、産休・育休・介護休業中である	15	26.7	66.7	6.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	69	11.6	82.6	5.8
これまで就労したことがない	3	—	100.0	—

病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「4～5日」の割合が24.9%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が24.1%、「2～3日」の割合が17.5%となっています。

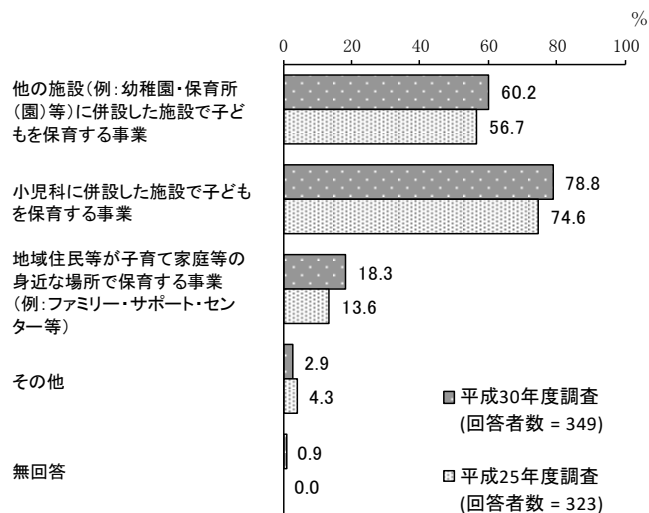
平成25年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。



問23-3 問23-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が78.8%と最も高く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所(園)等)に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が60.2%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」の割合が18.3%となっています。

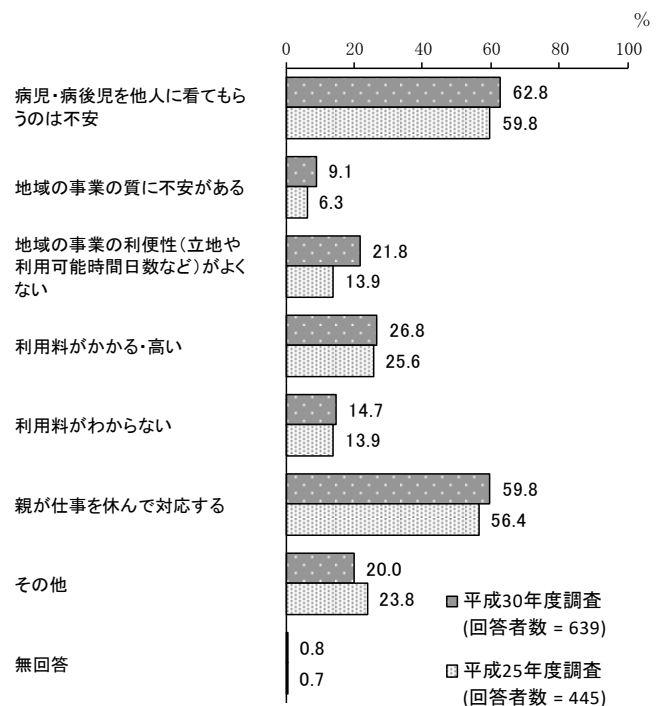
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 23－4 問 23－2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そのように思われる理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

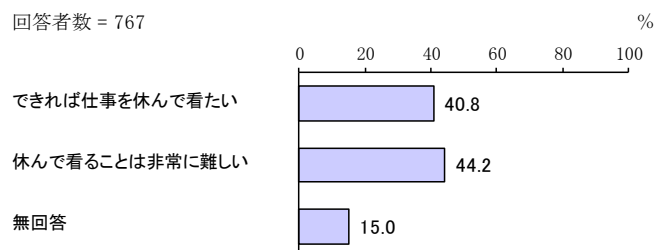
「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が62.8%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が59.8%、「利用料がかかる・高い」の割合が26.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくなる」の割合が増加しています。



問 23－5 問 23－1で「3.」から「9.」のいずれかに回答した方にうかがいます。
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、問 23－1の「3.」から「9.」の日数のうち、仕事を休んで見たかった日数も数字でご記入ください。
（ただし、問 23－1で「4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」を選んだ方は、働いている方についてお答えください。）

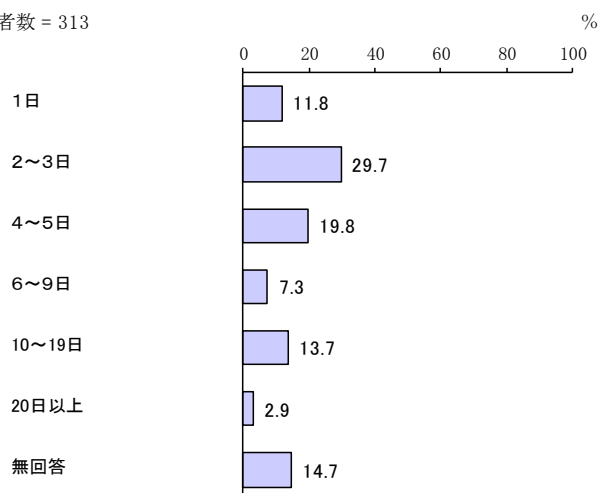
「できれば仕事を休んで看たい」の割合が40.8%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が44.2%となっています。



できれば仕事を休んで看たい日数

「2～3日」の割合が29.7%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が19.8%、「10～19日」の割合が13.7%となっています。

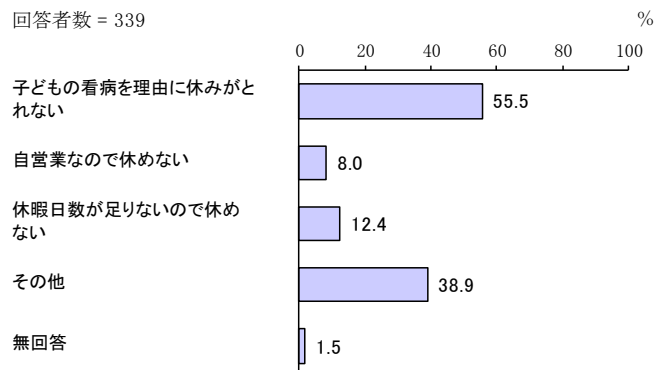
回答者数 = 313



問 23－6 問 23－5で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「子どもの看病を理由に休みがとれない」の割合が55.5%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が12.4%となっています。

回答者数 = 339



【主なその他の意見】

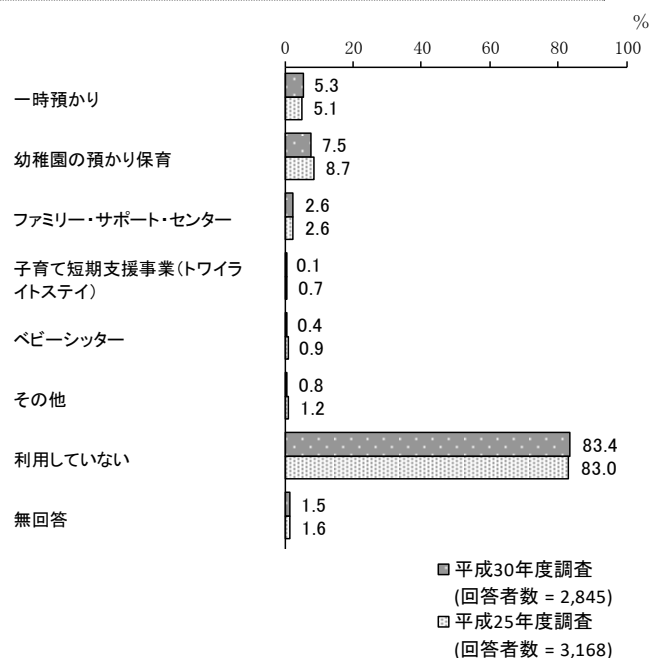
- ・仕事が忙しくて休めない
- ・欠員の補充ができない
- ・収入が減る
- ・職場の理解が低い

(8) 宛名のお子さんの一時預かりや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が83.4%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用している事業・日数（年間）

利用している事業としては、『5. ベビーシッター』で「4～5日」の割合が高くなっています。また、『2. 幼稚園の預かり保育』『5. ベビーシッター』で「10～19日」の割合が高くなっています。

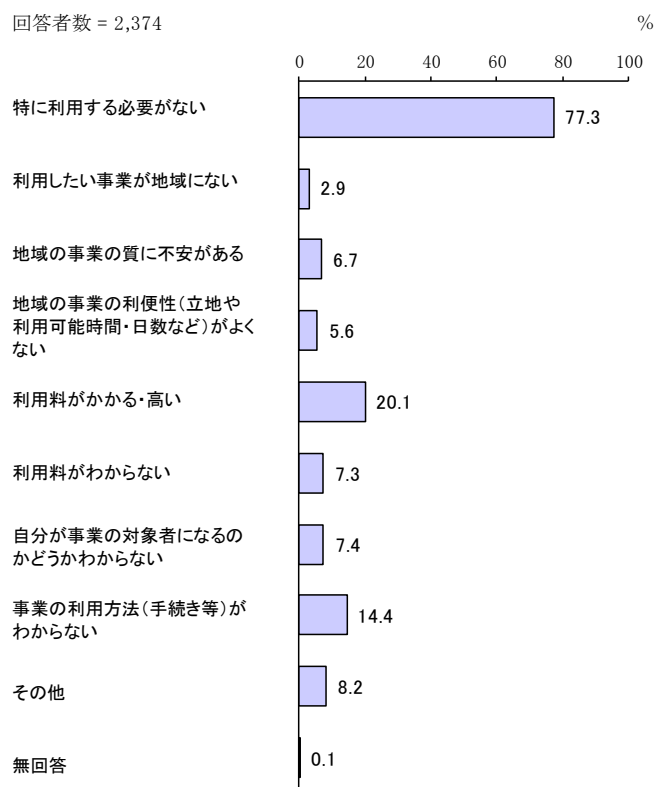
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2～3日	4～5日	6～9日	10～19日	20日以上	無回答
1. 一時預かり	152	17.8	21.1	15.8	7.2	13.2	20.4	4.6
2. 幼稚園の預かり保育	214	6.5	23.8	16.4	3.7	25.7	21.0	2.8
3. ファミリー・サポート・センター	73	19.2	17.8	13.7	8.2	12.3	20.5	8.2
4. 子育て短期支援事業(トワイライトステイ)	3	33.3	—	33.3	—	—	—	33.3
5. ベビーシッター	12	16.7	8.3	25.0	—	25.0	16.7	8.3
6. その他	22	4.5	18.2	9.1	9.1	13.6	27.3	18.2

問 24－1 問 24 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「特に利用する必要がない」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 20.1%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 14.4%となっています。

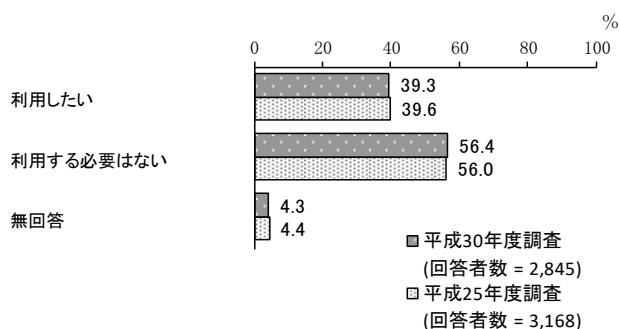
回答者数 = 2,374



問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 39.3%、「利用する必要はない」の割合が 56.4%となっています。

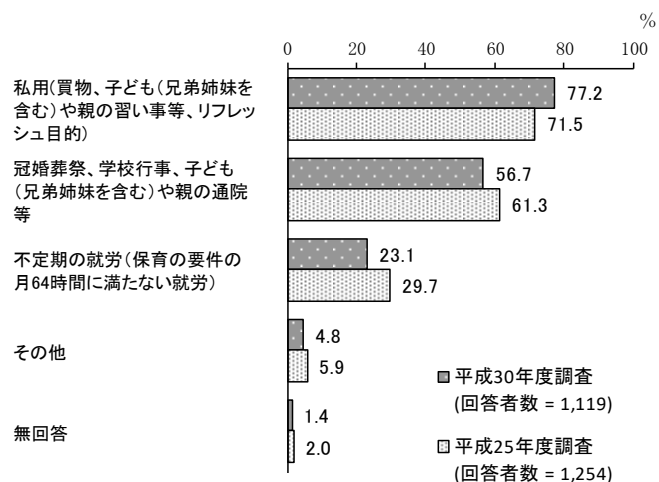
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用したい理由

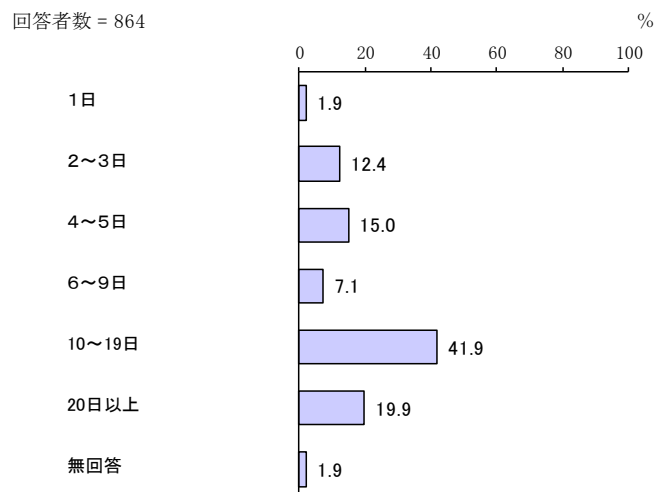
「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)」の割合が77.2%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の割合が56.7%、「不定期の就労(保育の要件の月64時間に満たない就労)」の割合が23.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)」の割合が増加しています。一方、「不定期の就労(保育の要件の月64時間に満たない就労)」の割合が減少しています。



(ア) 利用したい 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的) 目的別日数

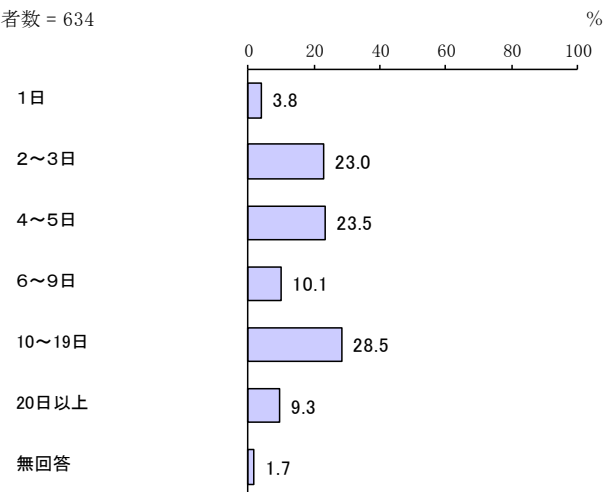
「10～19日」の割合が41.9%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が19.9%、「4～5日」の割合が15.0%となっています。



(イ) 利用したい 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 目的別日数

「10～19 日」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「4～5 日」の割合が 23.5%、「2～3 日」の割合が 23.0%となっています。

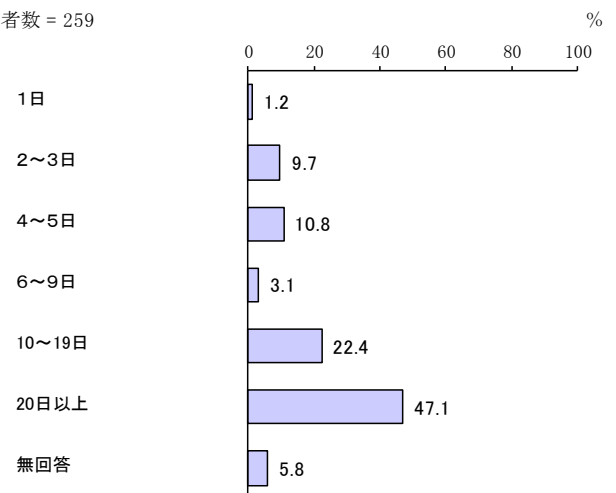
回答者数 = 634



(ウ) 利用したい 不定期の就労（保育の要件の月 64 時間に満たない就労） 目的別日数

「20 日以上」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「10～19 日」の割合が 22.4%、「4～5 日」の割合が 10.8%となっています。

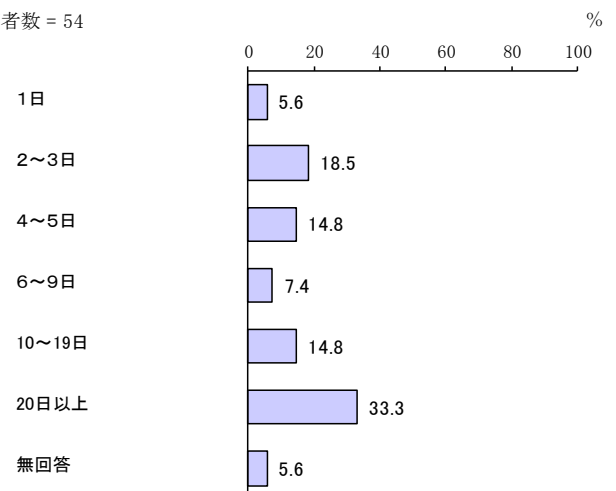
回答者数 = 259



(エ) 利用したい その他 目的別日数

「20 日以上」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「2～3 日」の割合が 18.5%、「4～5 日」、「10～19 日」の割合が 14.8%となっています。

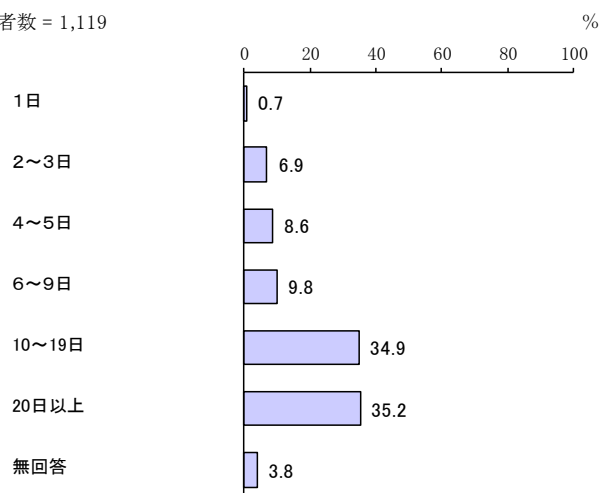
回答者数 = 54



(オ) 利用したい 合計日数

「20 日以上」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「10～19 日」の割合が 34.9%となっています。

回答者数 = 1,119

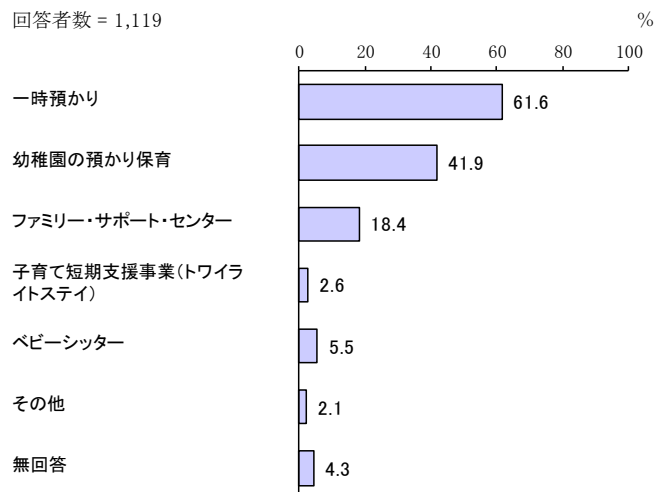


問 25－1 問 25 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、事業別の利用したい日数を（ ）内に数字でご記入ください。

「一時預かり」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 41.9%、「ファミリー・サポート・センター」の割合が 18.4%となっています。

回答者数 = 1,119



利用したい事業・日数（年間）

利用したい事業としては、『2. 幼稚園の預かり保育』で「20 日以上」の割合が高くなっています。

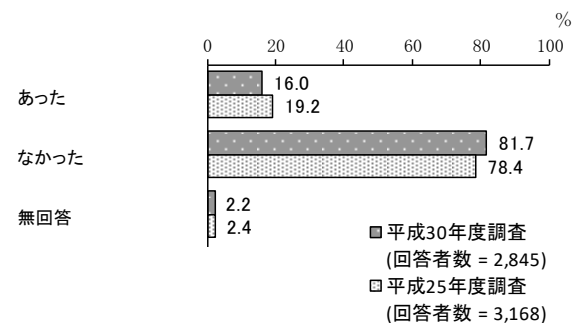
単位：％

区分	回答者数 (件)	1 日	2 ～ 3 日	4 ～ 5 日	6 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 日 以上	無 回 答
1. 一時預かり	689	2.0	9.6	14.1	7.7	37.2	24.8	4.6
2. 幼稚園の預かり保育	469	1.1	8.5	11.3	6.0	32.2	35.6	5.3
3. ファミリー・サポート・センター	206	5.3	17.0	18.0	8.3	25.2	20.9	5.3
4. 子育て短期支援事業(トワイライトステイ)	29	3.4	13.8	24.1	13.8	34.5	10.3	—
5. ベビーシッター	62	3.2	16.1	21.0	6.5	38.7	8.1	6.5
6. その他	23	—	—	—	17.4	13.0	34.8	34.8

問 26 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この 1 年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が 16.0%、「なかった」の割合が 81.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

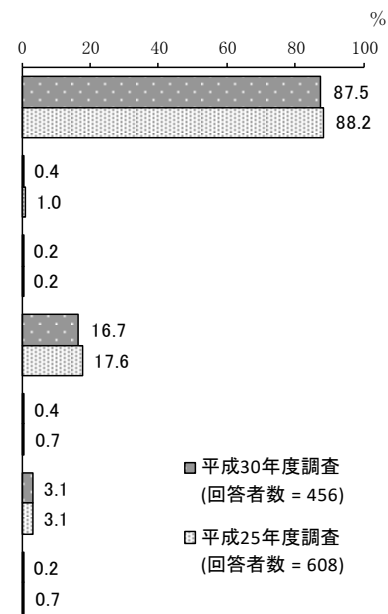


泊りがけで家族以外にみてもらうことがあった場合の1年間の対処方法

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が87.5%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が16.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

(同居者を含む)親族・知人にみてもらった
子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した
2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した
仕方なく子どもを同行させた
仕方なく子どもだけで留守番をさせた
その他
無回答



対処方法の日数

対処方法としては、『4 仕方なく子どもを同行させた』で「2泊～3泊」の割合が高くなっています。

単位：％

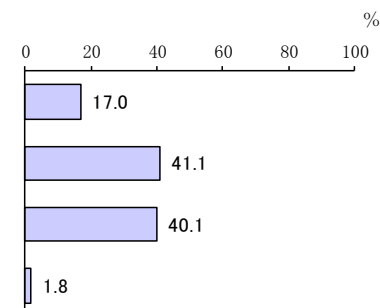
区分	回答者数(件)	1泊	2泊～3泊	4泊～5泊	6泊～9泊	10泊～19泊	20泊以上	無回答
1 (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	399	19.0	24.3	14.3	10.5	11.8	8.0	12.0
2 子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0
3 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	1	100.0	-	-	-	-	-	-
4 仕方なく子どもを同行させた	76	19.7	32.9	11.8	9.2	5.3	-	21.1
5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	100.0	-	-	-	-	-	-
6 その他	14	7.1	21.4	7.1	14.3	-	14.3	35.7

問26-1 問26で「1. あった 1(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つだけに○)

「どちらかという困難」の割合が41.1%と最も高く、次いで「特に困難ではない」の割合が40.1%、「非常に困難」の割合が17.0%となっています。

回答者数 = 399

非常に困難
どちらかという困難
特に困難ではない
無回答



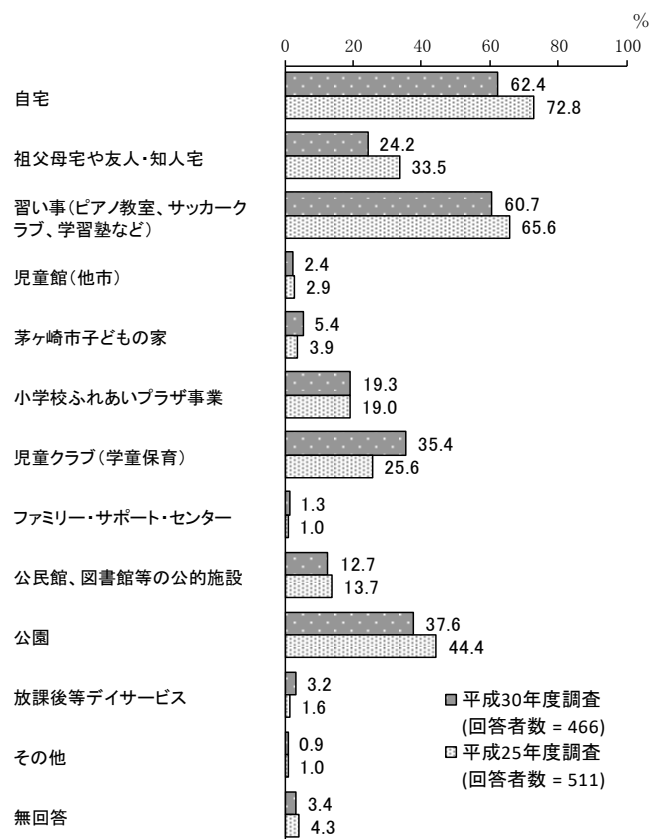
（９）宛名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 27 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、児童クラブ（学童保育）の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

小学校低学年（１～３年生）

「自宅」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 60.7%、「公園」の割合が 37.6%となっています。

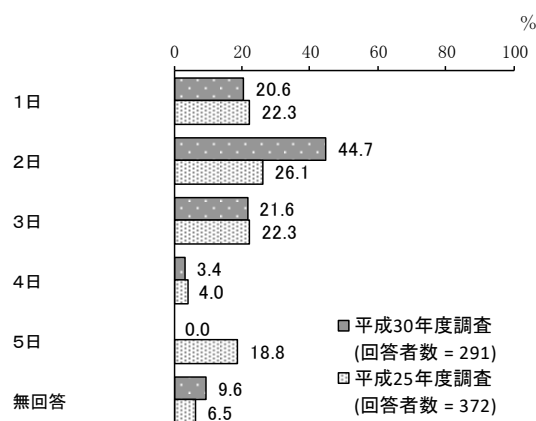
平成 25 年度調査と比較すると、「児童クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「公園」の割合が減少しています。



① 自宅

「２日」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「３日」の割合が 21.6%、「１日」の割合が 20.6%となっています。

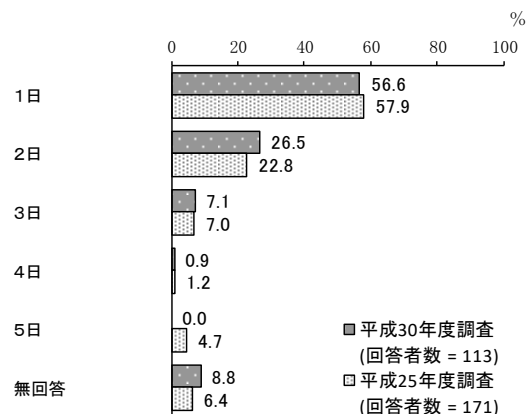
平成 25 年度調査と比較すると、「２日」の割合が増加しています。



② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が56.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.5%となっています。

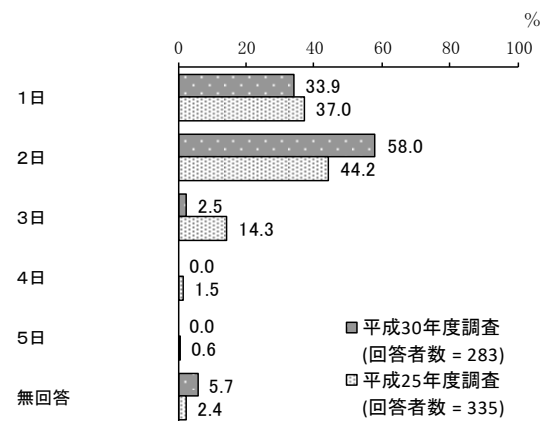
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が58.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が33.9%となっています。

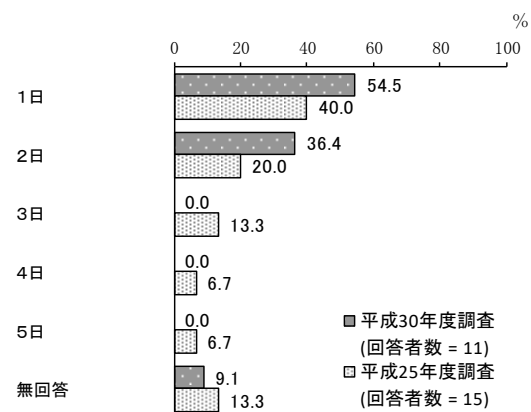
平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



④ 児童館（他市）

「1日」の割合が54.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が36.4%となっています。

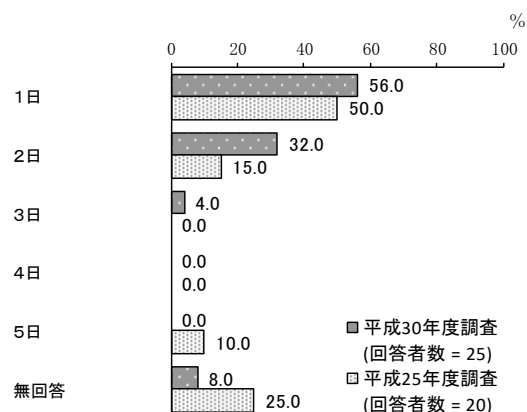
平成25年度調査と比較すると、「1日」「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」「4日」「5日」の割合が減少しています。



⑤ 子どもの家

「1日」の割合が56.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が32.0%となっています。

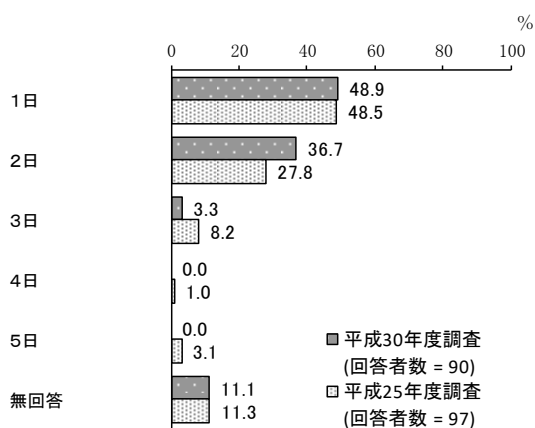
平成25年度調査と比較すると、「1日」「2日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



⑥ 小学校ふれあいプラザ事業

「1日」の割合が48.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が36.7%となっています。

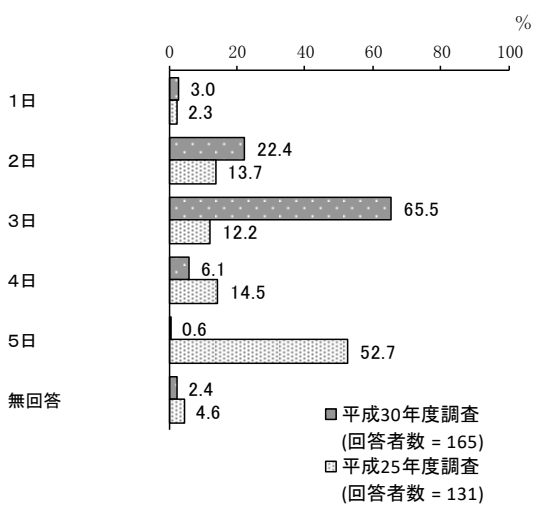
平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。



⑦ 児童クラブ（学童保育）

「3日」の割合が65.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.4%となっています。

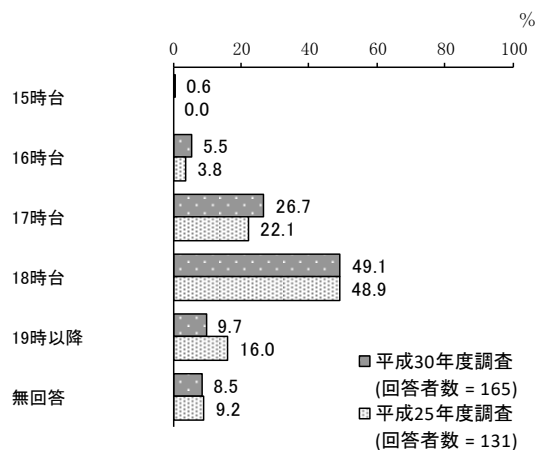
平成25年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」「5日」の割合が減少しています。



児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

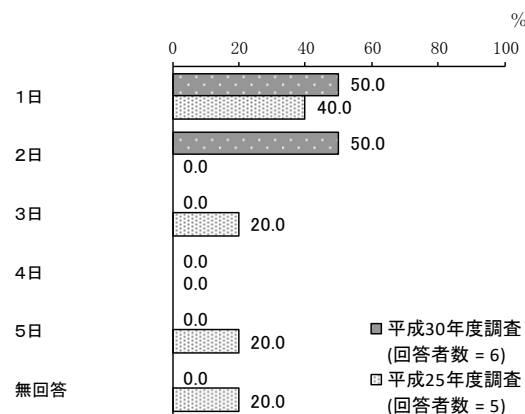
「18 時台」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「19 時以降」の割合が減少しています。



⑧ ファミリー・サポート・センター

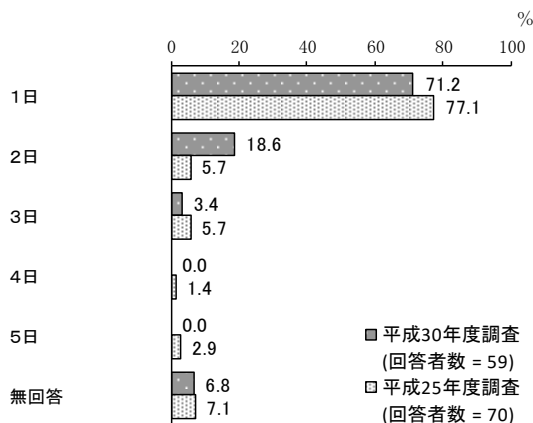
「1 日」、「2 日」が 50.0%となっています。



⑨ 公民館、図書館等の公的施設

「1 日」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 18.6%となっています。

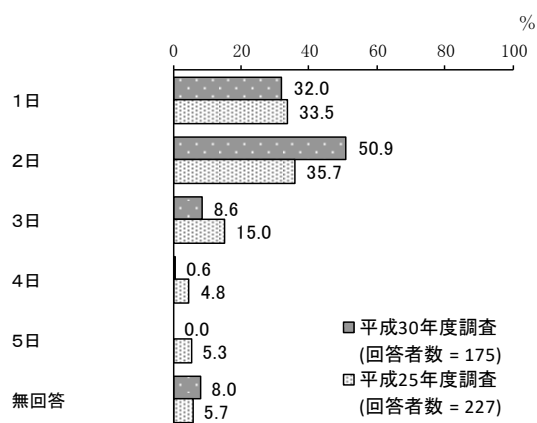
平成 25 年度調査と比較すると、「2 日」の割合が増加しています。一方、「1 日」の割合が減少しています。



⑩ 公園

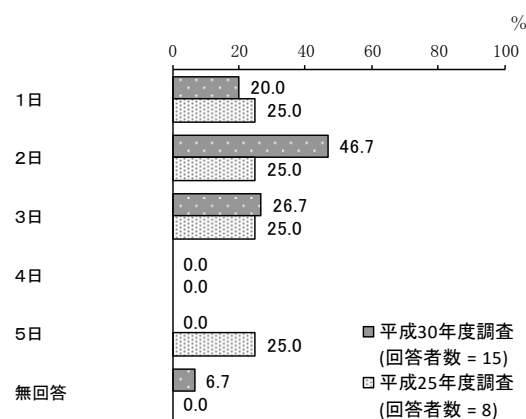
「2日」の割合が50.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が32.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」「5日」の割合が減少しています。



⑪ 放課後等デイサービス

「2日」の割合が46.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が26.7%、「1日」の割合が20.0%となっています。



⑫ その他

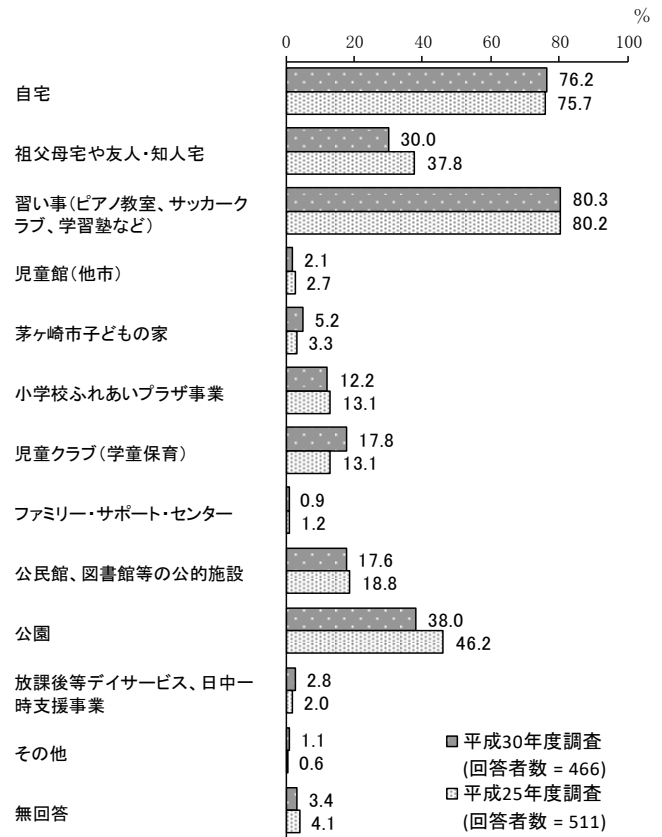
「1日」、「2日」が2件となっています。

問 28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、児童クラブ（学童保育）の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

小学校高学年（４～６年生）

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 80.3%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 76.2%、「公園」の割合が 38.0%となっています。

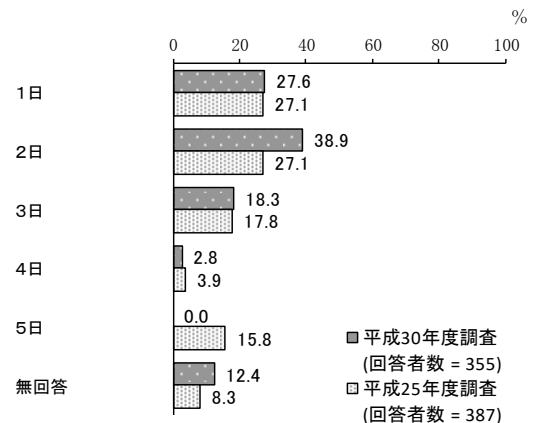
平成 25 年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」「公園」の割合が減少しています。



① 自宅

「２日」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「１日」の割合が 27.6%、「３日」の割合が 18.3%となっています。

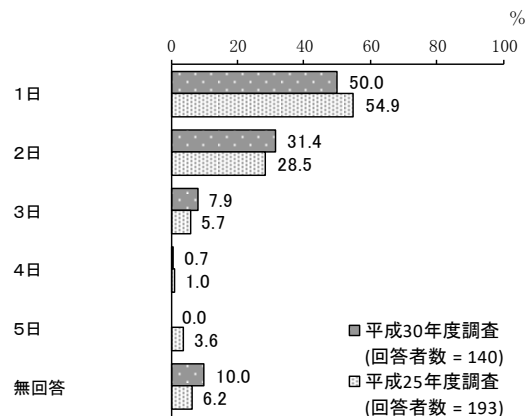
平成 25 年度調査と比較すると、「２日」の割合が増加しています。一方、「５日」の割合が減少しています。



② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が31.4%となっています。

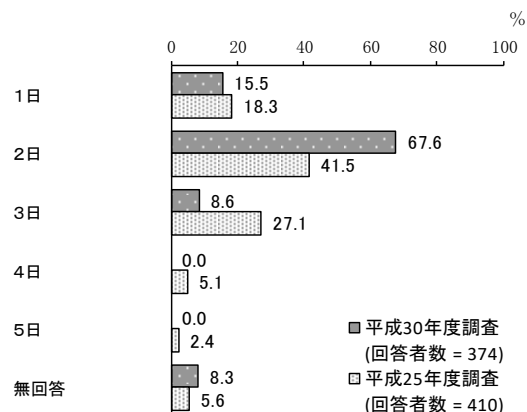
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が67.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が15.5%となっています。

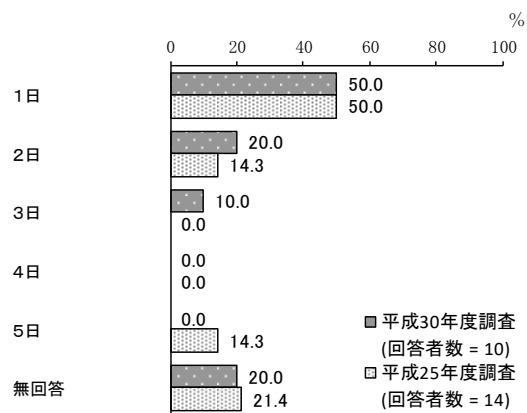
平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



④ 児童館（他市）

「1日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.0%、「3日」の割合が10.0%となっています。

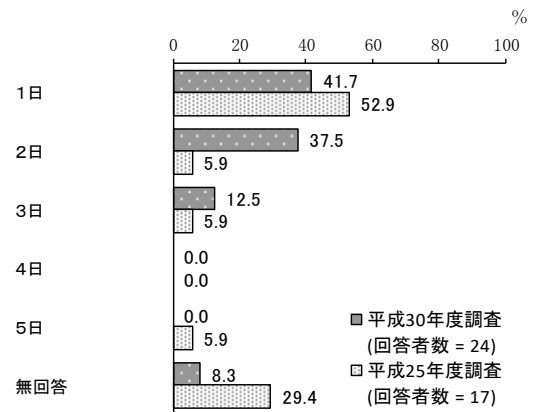
平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



⑤ 茅ヶ崎市子どもの家

「1日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が37.5%、「3日」の割合が12.5%となっています。

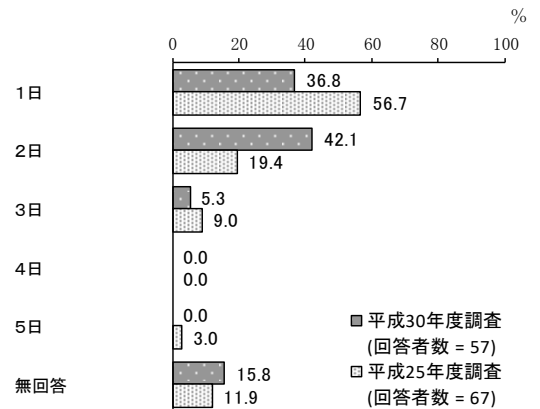
平成25年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「1日」「5日」の割合が減少しています。



⑥ 小学校ふれあいプラザ事業

「2日」の割合が42.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が36.8%となっています。

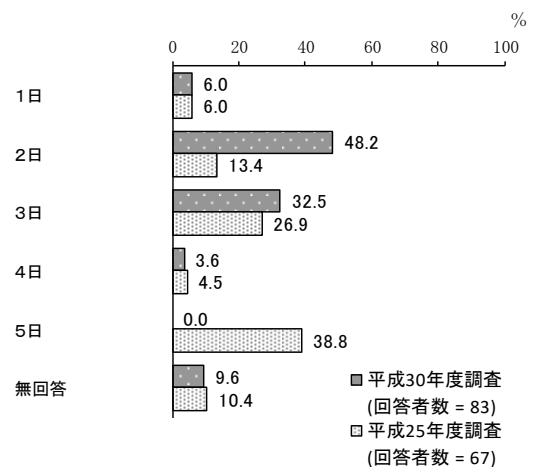
平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



⑦ 児童クラブ（学童保育）

「2日」の割合が48.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が32.5%となっています。

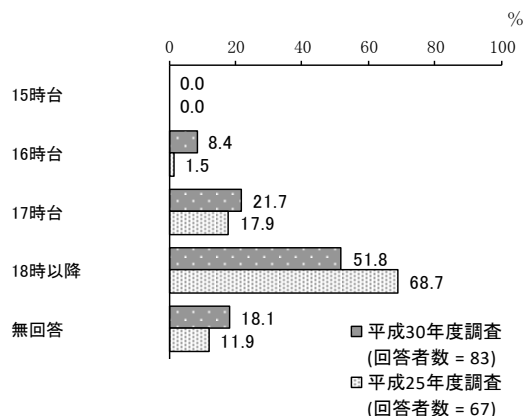
平成25年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

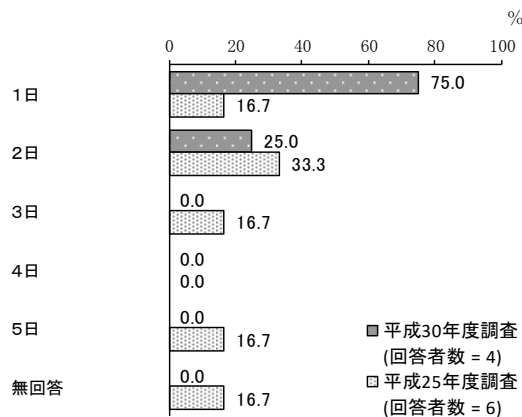
「18 時以降」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が増加しています。一方、「18 時以降」の割合が減少しています。



⑧ ファミリー・サポート・センター

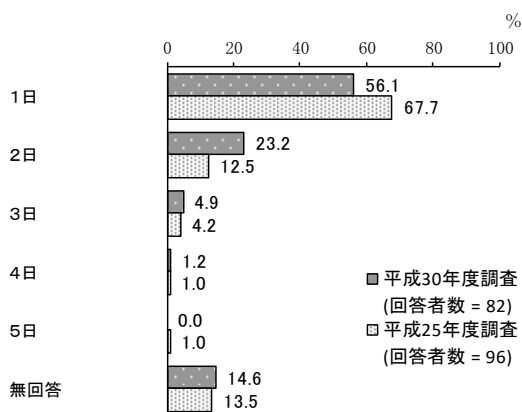
「1 日」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 25.0%となっています。



⑨ 公民館、図書館等の公的施設

「1 日」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 23.2%となっています。

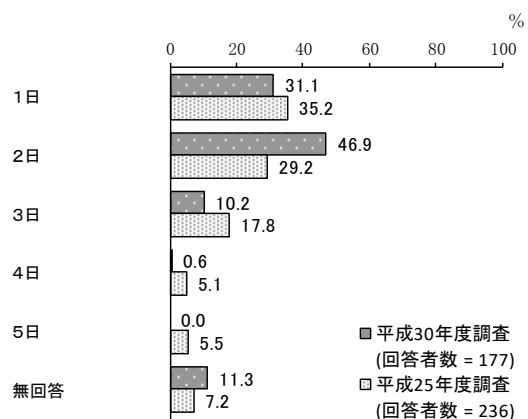
平成 25 年度調査と比較すると、「2 日」の割合が増加しています。一方、「1 日」の割合が減少しています。



⑩ 公園

「2日」の割合が46.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が31.1%、「3日」の割合が10.2%となっています。

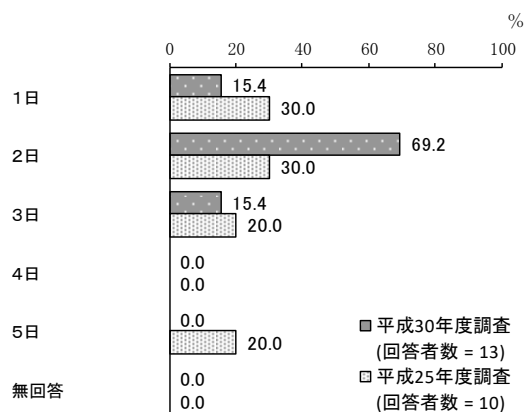
平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」「5日」の割合が減少しています。



⑪ 放課後等デイサービス

「2日」の割合が69.2%と最も高く、次いで「1日」「3日」の割合が15.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「1日」「5日」の割合が減少しています。



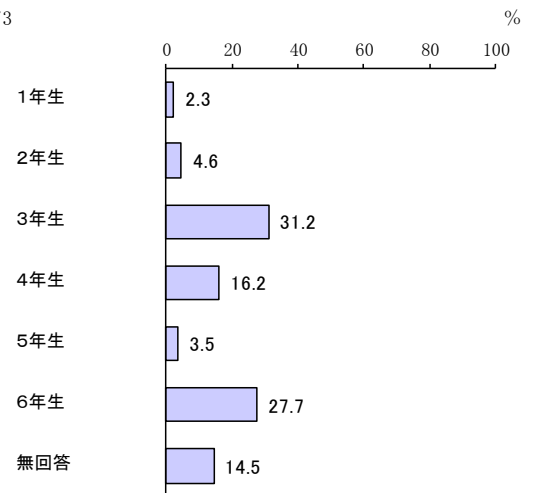
⑫ その他

「2日」が2件、「1日」「3日」が1件となっています。

問 29 問 27 または問 28 で「7. 児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、何年生まで児童クラブ（学童保育）を利用したいですか。（（ ）内に数字を記入）

「3年生」の割合が31.2%と最も高く、次いで
「6年生」の割合が27.7%、「4年生」の割合が
16.2%となっています。

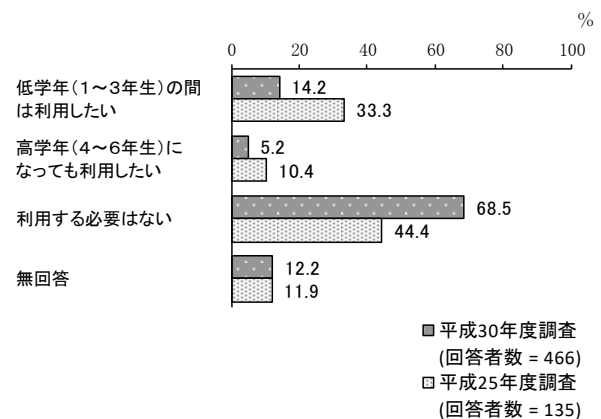
回答者数 = 173



問 30 宛名のお子さんについて、土曜日に、児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1つだけに○）

「利用する必要はない」の割合が68.5%と最も
高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用
したい」の割合が14.2%となっています。

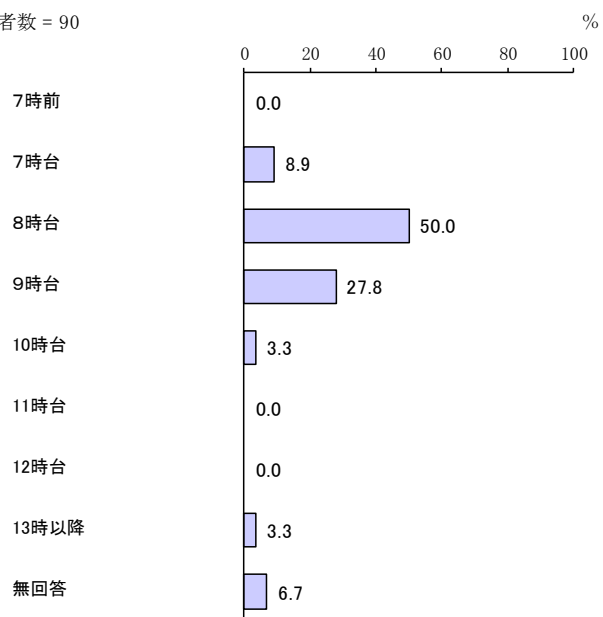
平成25年度調査と比較すると、「利用する必要
はない」の割合が増加しています。一方、「低学年
（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～
6年生）になっても利用したい」の割合が減少し
ています。



(ア) 開始時刻

「8 時台」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 27.8%となっています。

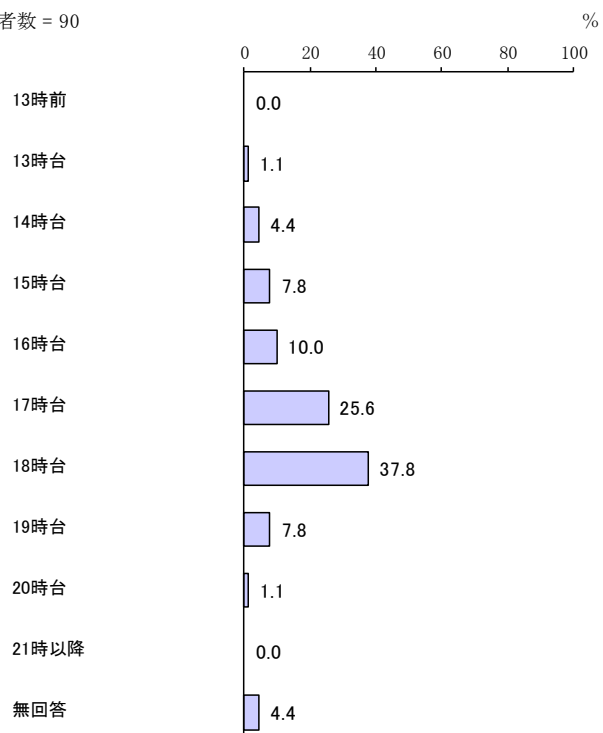
回答者数 = 90



(イ) 終了時刻

「18 時台」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 25.6%、「16 時台」の割合が 10.0%となっています。

回答者数 = 90

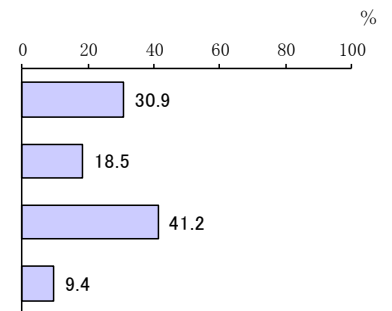


問 31 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1つだけに○）

「利用する必要はない」の割合が41.2%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が30.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が18.5%となっています。

回答者数 = 466

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい
利用する必要はない
無回答

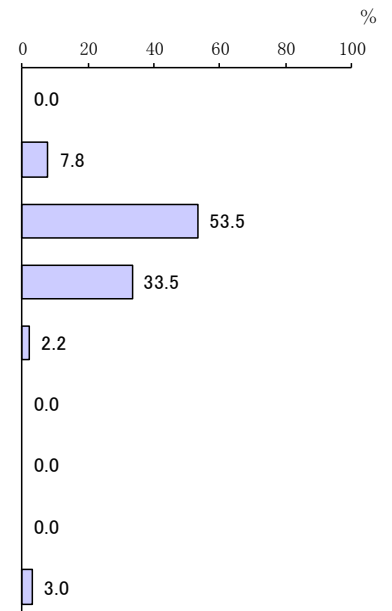


（ア）開始時刻

「8時台」の割合が53.5%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.5%となっています。

回答者数 = 230

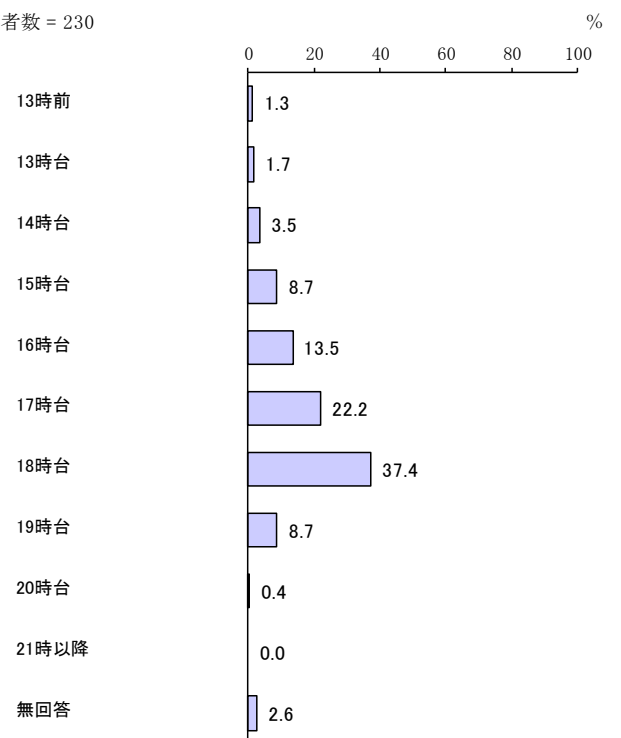
7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答



(イ) 終了時刻

「18 時台」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.2%、「16 時台」の割合が 13.5%となっています。

回答者数 = 230



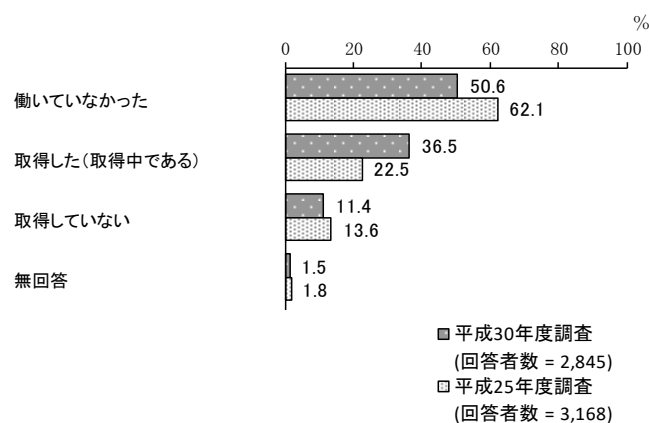
(10) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけ、該当する（ ）内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親

「働いていなかった」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が 36.5%、「取得していない」の割合が 11.4%となっています。

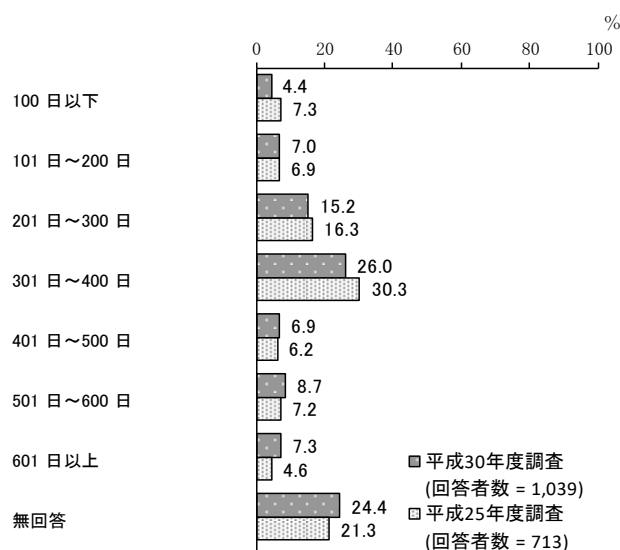
平成 25 年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



ア 取得期間

「301 日～400 日」の割合が 26.0%と最も高く、次いで「201 日～300 日」の割合が 15.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



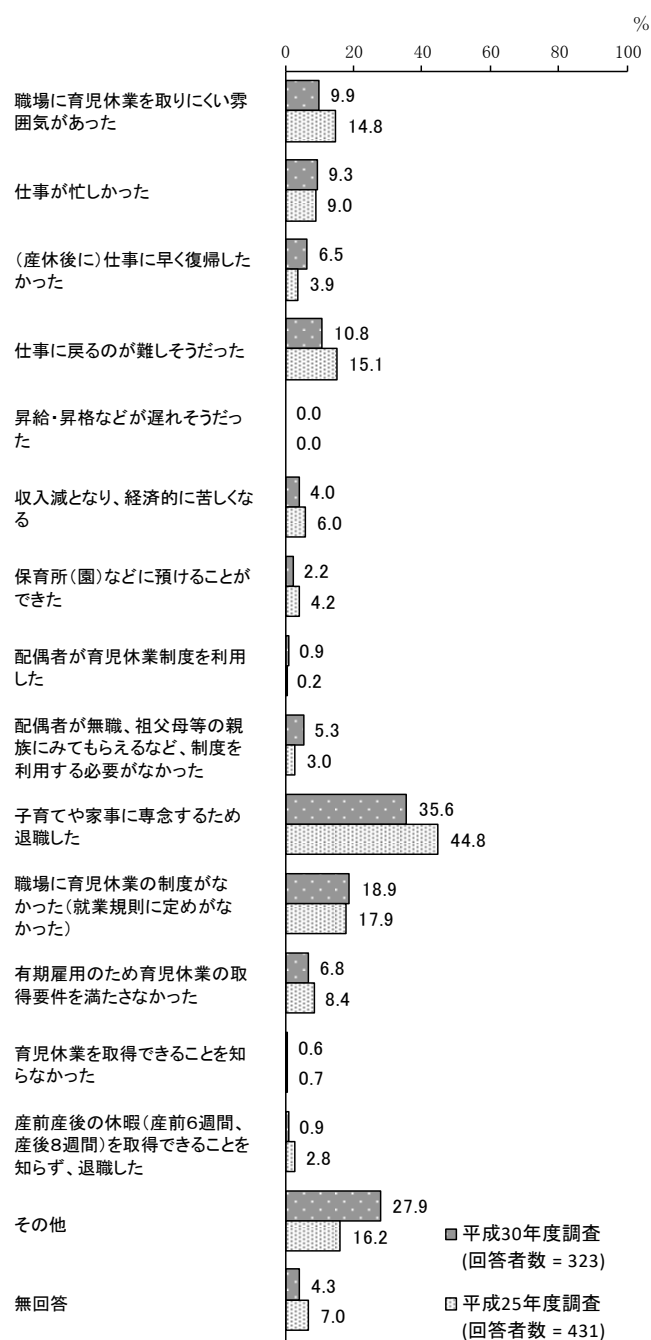
イ 取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が35.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が18.9%、「仕事に戻るのが難しそうだった」の割合が10.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少しています。

【主なその他の意見】

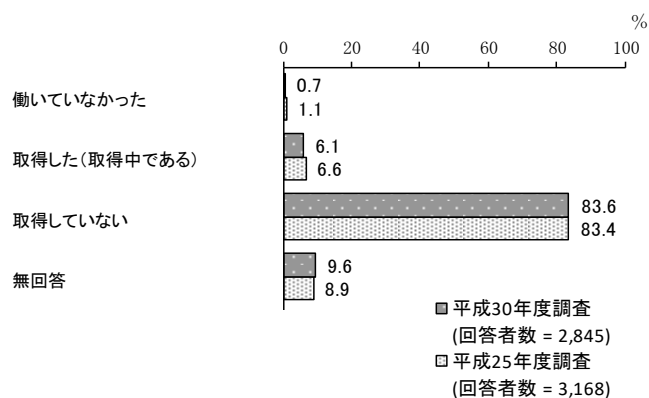
- ・通常の有給休業を取得した
- ・特別休暇があった
- ・柔軟に休むことができたため
- ・取得しようという気持ちがそもそもなかった
- ・自営業のため



(2) 父親

「取得していない」の割合が 83.6%と最も高くなっています。

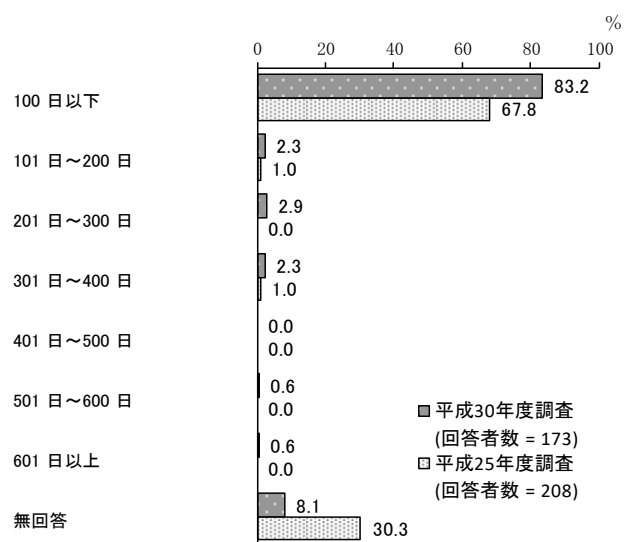
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア 取得期間

「100 日以下」の割合が 83.2%と最も高くなっています。

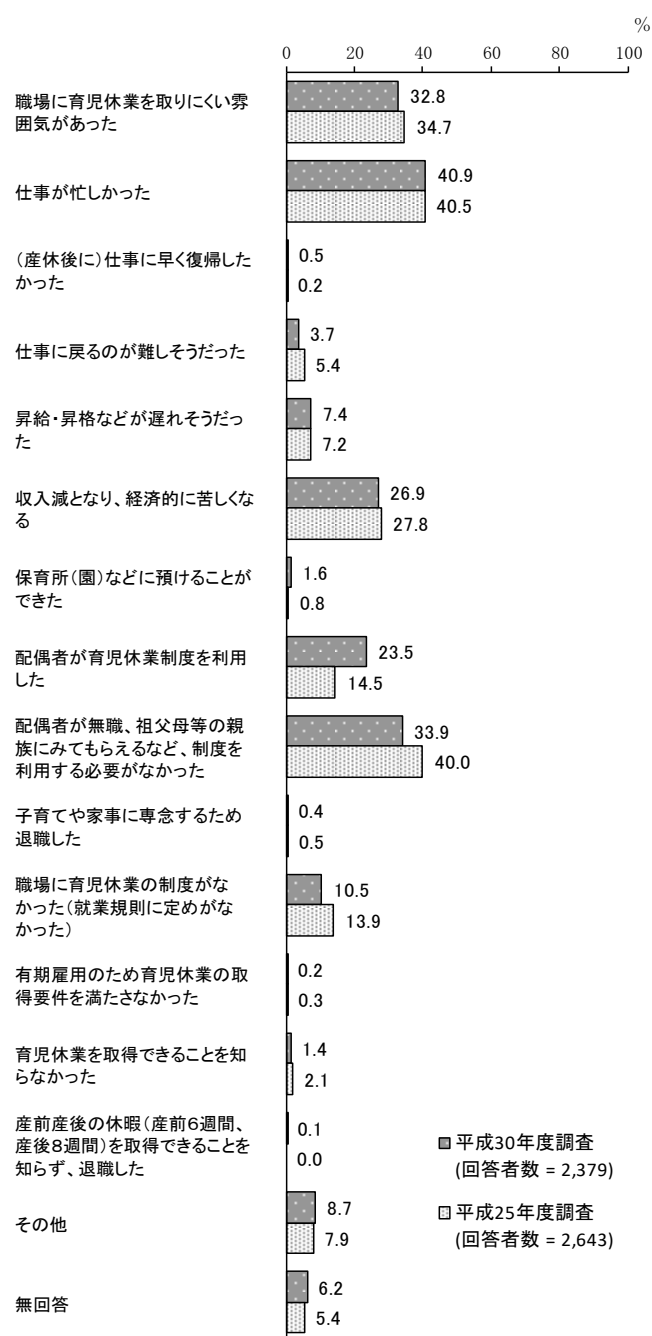
平成 25 年度調査と比較すると、「100 日以下」の割合が増加しています。



イ 取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が40.9%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が33.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が32.8%となっている。

平成25年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。

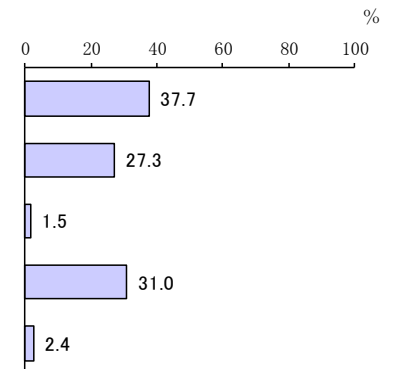


問 32－1 子どもが原則 1 歳（保育所（園）における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長 2 歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、及び、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（1 つだけに○）

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 31.0%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が 27.3%、「保険料免除のみ知っていた」の割合が 1.5%、「無回答」の割合が 2.4%となっています。

回答者数 = 2,845

育児休業給付、保険料免除の
いずれも知っていた
育児休業給付のみ知っていた
保険料免除のみ知っていた
育児休業給付、保険料免除の
いずれも知らなかった
無回答



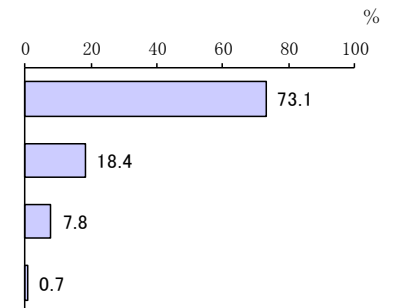
育児休業を取得した（取得中である）母親もしくは父親についてだけお答えください。
問 32－2 問 32 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1 つだけに○）

（1）母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 18.4%となっています。

回答者数 = 1,039

育児休業取得後、職場に復帰した
現在も育児休業中である
育児休業中に離職した
無回答



(2) 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が78.0%と最も高くなっています。

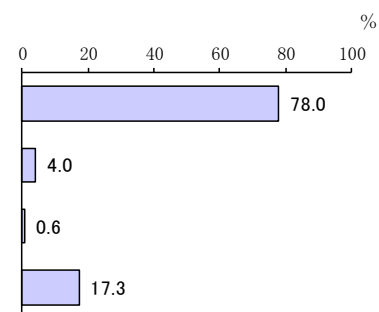
回答者数 = 173

育児休業取得後、職場に復帰した

現在も育児休業中である

育児休業中に離職した

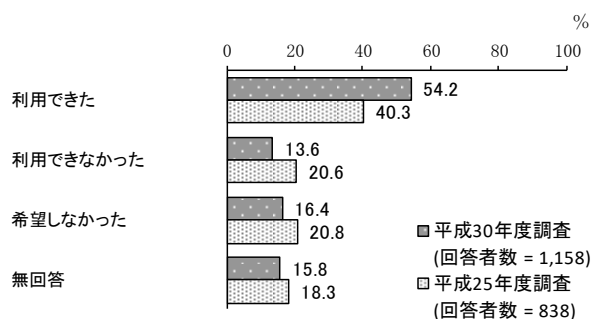
無回答



問 32－3 育児休業制度を利用した方にうかがいます。育児休業あけに希望する保育サービス（認可保育所等）を利用できましたか。（1つだけに○）

「利用できた」の割合が54.2%と最も高く、次いで「希望しなかった」の割合が16.4%、「利用できなかった」の割合が13.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用できた」の割合が増加しています。一方、「利用できなかった」の割合が減少しています。



問 32－4 問 32－2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（1つだけに○）

(1) 母親

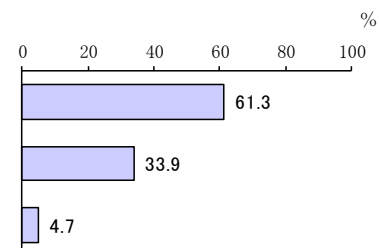
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が61.3%、「それ以外だった」の割合が33.9%となっています。

回答者数 = 760

年度初めの入所に合わせたタイミングだった

それ以外だった

無回答



(2) 父親

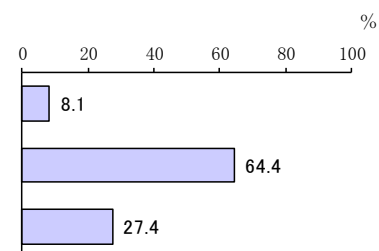
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が8.1%、「それ以外だった」の割合が64.4%となっています。

回答者数 = 135

年度初めの入所に合わせたタイミングだった

それ以外だった

無回答



問 32-5 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(() 内に数字を記入)

(1) 母親

ア 実際の取得期間

「7 か月～12 か月」の割合が47.5%と最も高く、次いで「1 歳1 か月～1 歳6 か月」の割合が32.0%となっています。

回答者数 = 760

1 か月～6 か月

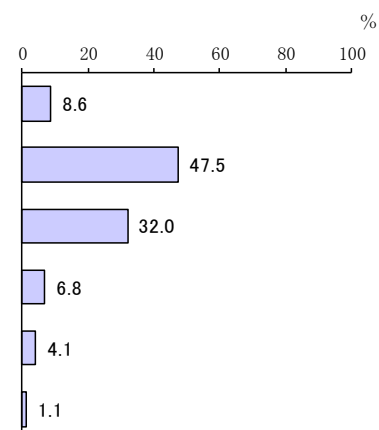
7 か月～12 か月

1 歳1 か月～1 歳6 か月

1 歳7 か月～2 歳

2 歳1 か月以上

無回答



イ 希望の取得期間

「7 か月～12 か月」の割合が36.3%と最も高く、次いで「1 歳1 か月～1 歳6 か月」の割合が24.9%、「1 歳7 か月～2 歳」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 760

1 か月～6 か月

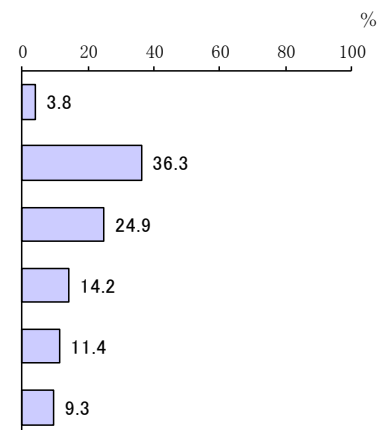
7 か月～12 か月

1 歳1 か月～1 歳6 か月

1 歳7 か月～2 歳

2 歳1 か月以上

無回答

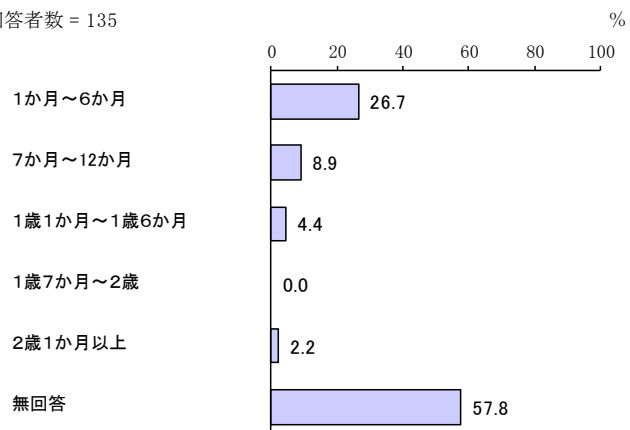


(2) 父親

ア 実際の取得期間

「1 か月～6 か月」の割合が 26.7%と最も高くなっています。

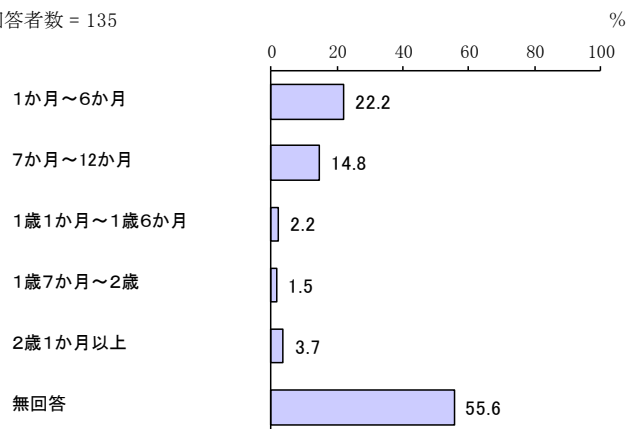
回答者数 = 135



イ 希望の取得期間

「1 か月～6 か月」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「7 か月～12 か月」の割合が 14.8%となっています。

回答者数 = 135

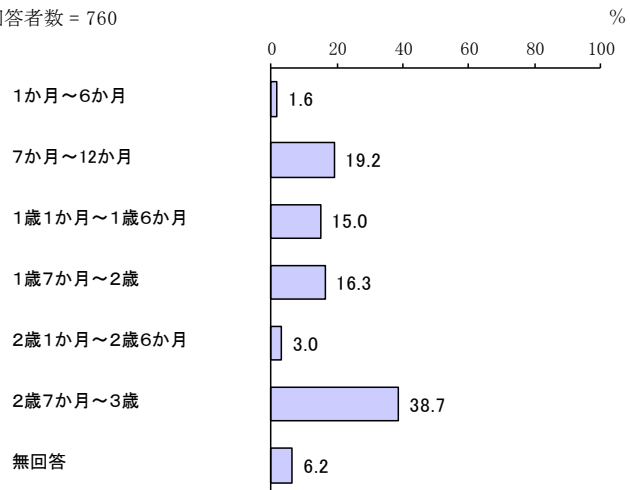


問 32－6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
(() 内に数字を記入)

(1) 母親

「2歳7か月～3歳」の割合が38.7%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が19.2%、「1歳7か月～2歳」の割合が16.3%となっています。

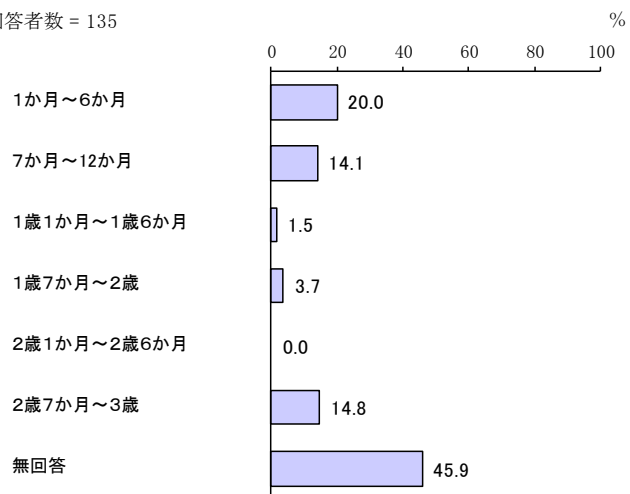
回答者数 = 760



(2) 父親

「1か月～6か月」の割合が20.0%と最も高く、次いで「2歳7か月～3歳」の割合が14.8%、「7か月～12か月」の割合が14.1%となっています。

回答者数 = 135



問 32－7 問 32－5 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

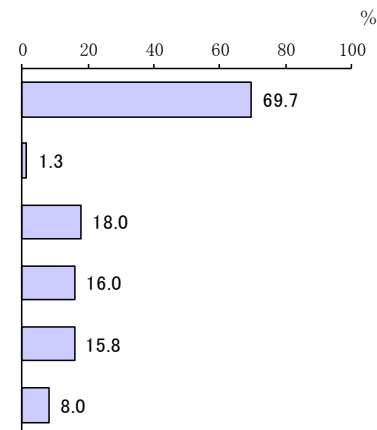
(1) 「希望」より早く復帰した方

① 母親

「希望する保育所（園）に入るため」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 18.0%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 16.0%となっています。

回答者数 = 399

希望する保育所（園）に入るため
配偶者や家族の希望があったため
経済的な理由で早く復帰する必要があった
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
その他
無回答

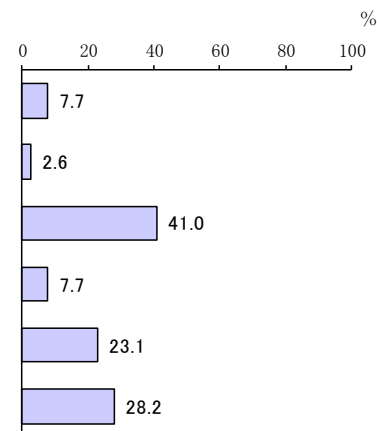


② 父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 41.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 39

希望する保育所（園）に入るため
配偶者や家族の希望があったため
経済的な理由で早く復帰する必要があった
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
その他
無回答

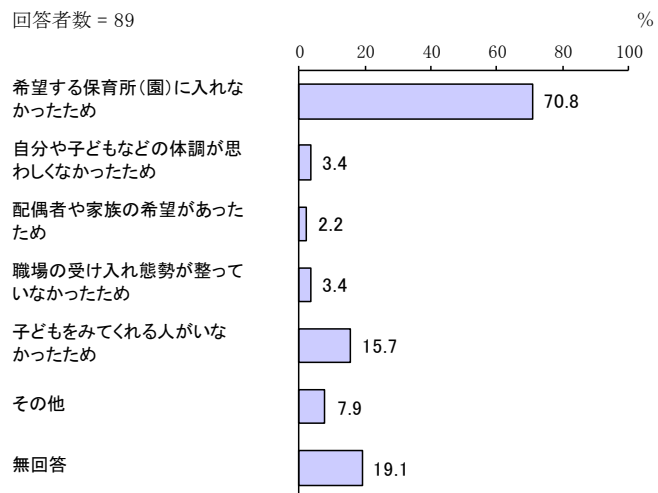


(2) 「希望」より遅く復帰した方

① 母親

「希望する保育所（園）に入れなかったため」の割合が70.8%と最も高く、次いで「子どもをみてる人がいなかったため」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 89



② 父親

「希望する保育所（園）に入れなかったため」、「子どもをみてる人がいなかったため」が2件、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が1件となっています。

問 32－ 8 問 32－ 2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（1 つだけに○）

（１）母親

「利用した」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 21.2%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 13.9%となっています。

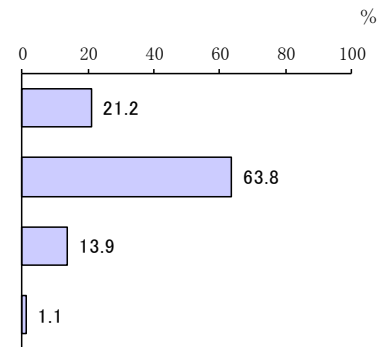
回答者数 = 760

利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）

利用した

利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

無回答



（２）父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 19.3%となっています。

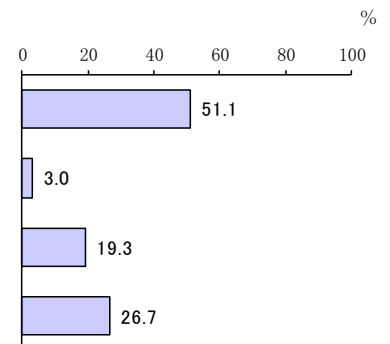
回答者数 = 135

利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）

利用した

利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

無回答

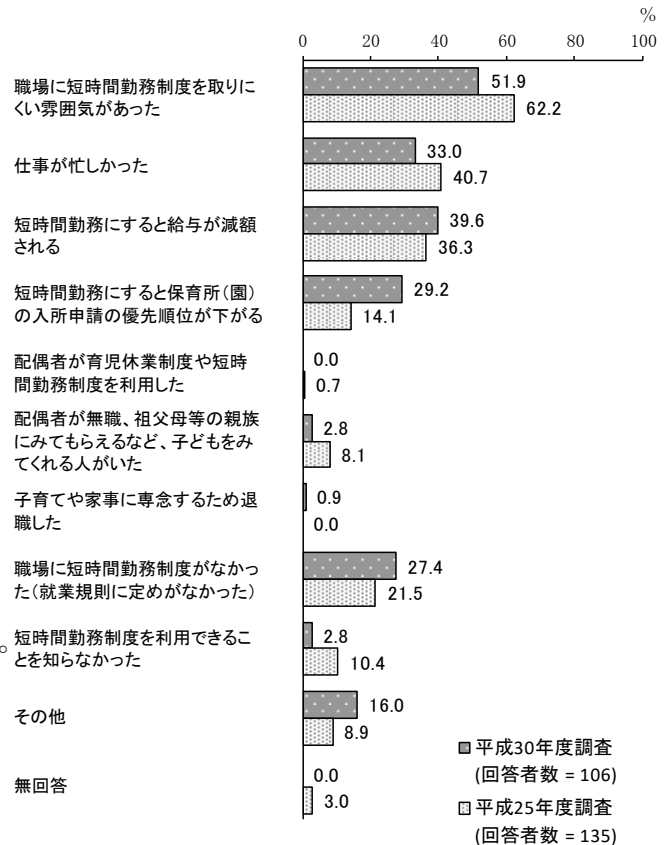


問 32－9 問 32－8で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

（１）母親

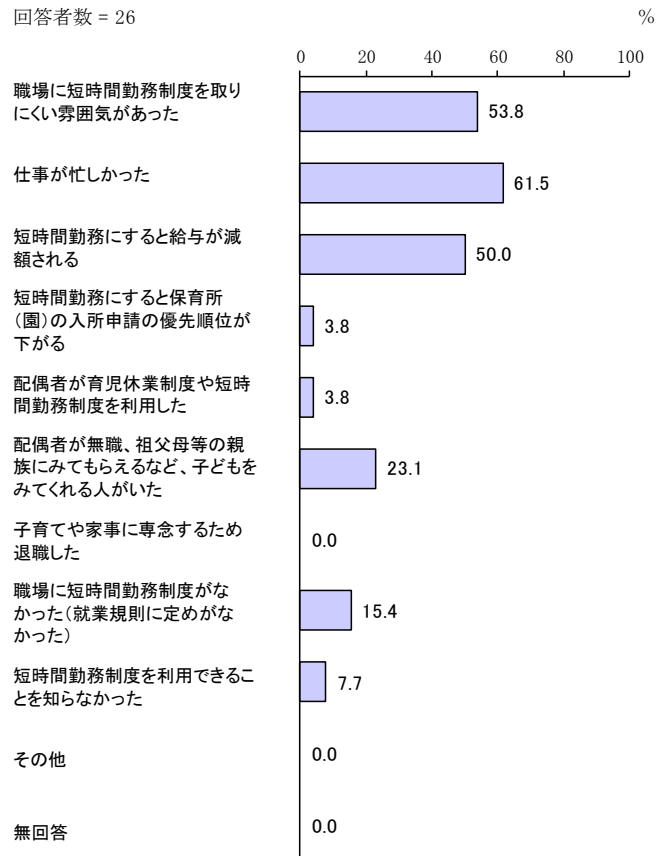
「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 39.6%、「仕事が忙しかった」の割合が 33.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる」「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた」「短時間勤務制度を利用できなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。



(2) 父親

「仕事が忙しかった」の割合が61.5%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が53.8%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が50.0%となっています。

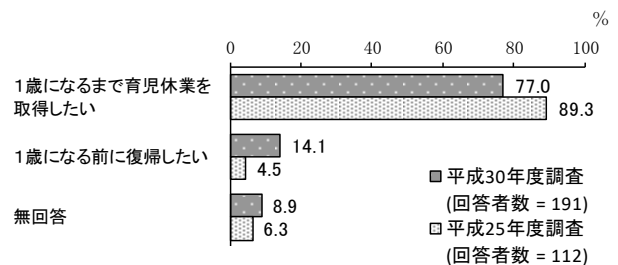


問 32-10 問 32-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。
宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つだけに○)

(1) 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が77.0%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が14.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1歳になる前に復帰したい」の割合が増加しています。一方、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が減少しています。



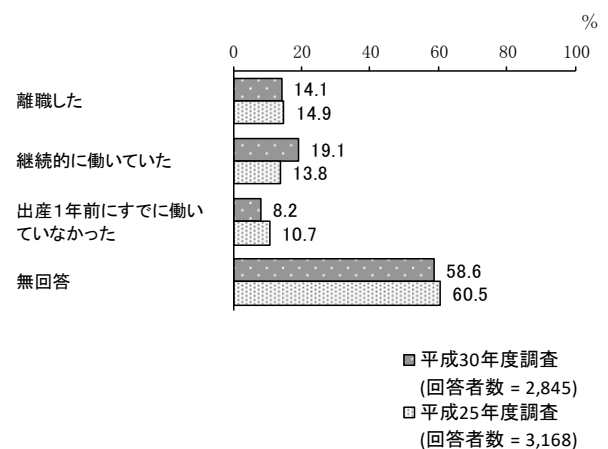
(2) 父親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が5件となっています。

問 33 宛名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に母親は離職しましたか。（1つだけに○）

「継続的に働いていた」の割合が19.1%と最も高く、次いで「離職した」の割合が14.1%となっています。

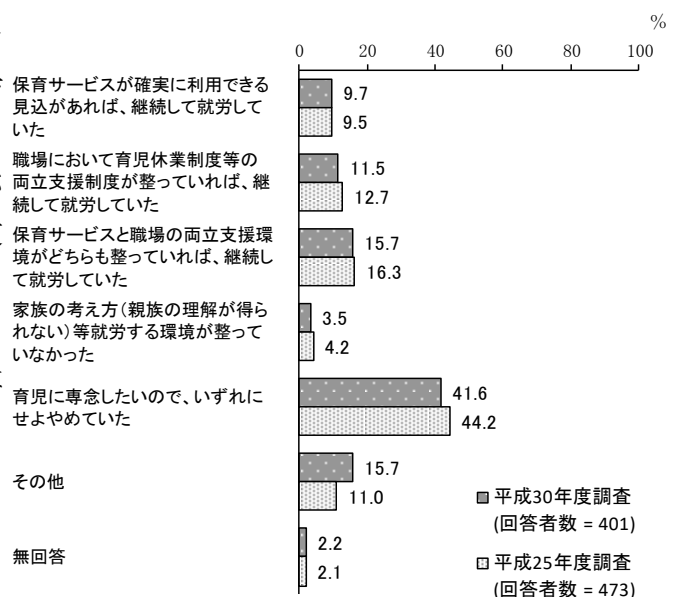
平成25年度調査と比較すると、「継続的に働いていた」の割合が増加しています。



問 34 問 33 で「1. 離職した」と回答した方にうかがいます。当時の状況は次のどれに当たりますか。（1つだけに○）

「育児に専念したいので、いずれにせよやめていた」の割合が41.6%と最も高く、次いで「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていたら、継続して就労していた」の割合が15.7%、「職場において育児休業制度等の両立支援制度が整っていたら、継続して就労していた」の割合が11.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

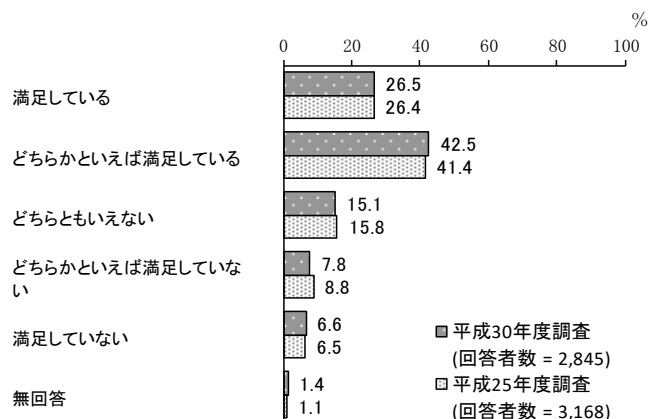


(11) 子どもの育ちをめぐる環境について

問 35 あなたは、子どもを育てている現在の生活に、満足していますか。
(1つだけに○)

「どちらかといえば満足している」の割合が42.5%と最も高く、次いで「満足している」の割合が26.5%、「どちらともいえない」の割合が15.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

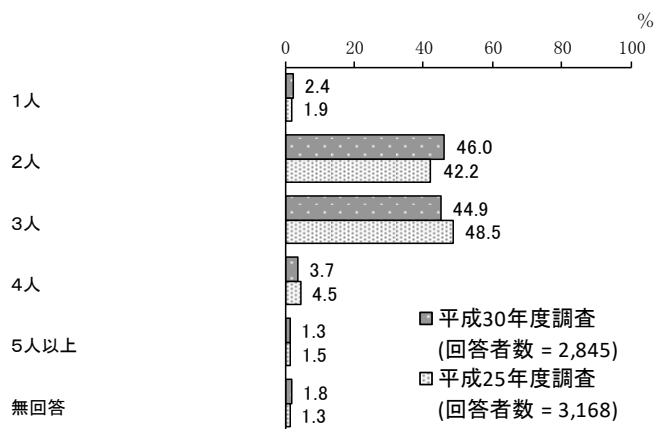


問 36 あなたにとって理想的な子どもの人数は何人ですか。また、あなたは全部で何人の子どもの持つつもりですか。「①理想的な子どもの人数」、「②持つつもりの子どもの人数」をそれぞれ数字で記入してください。

① 理想的な子どもの数

「2人」の割合が46.0%と最も高く、次いで「3人」の割合が44.9%となっています。

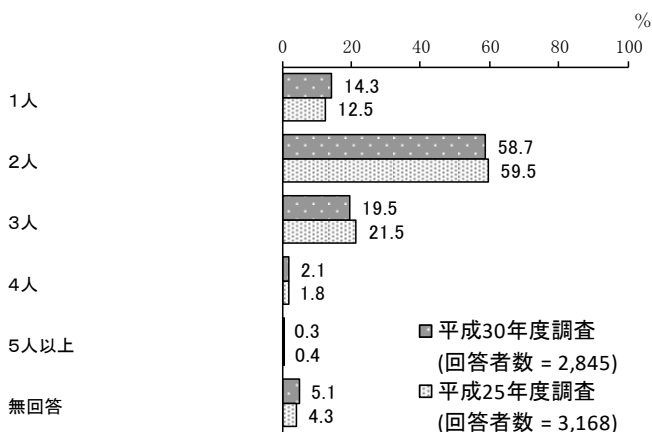
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



② 持つつもりの子どもの数

「2人」の割合が58.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が19.5%、「1人」の割合が14.3%となっています。

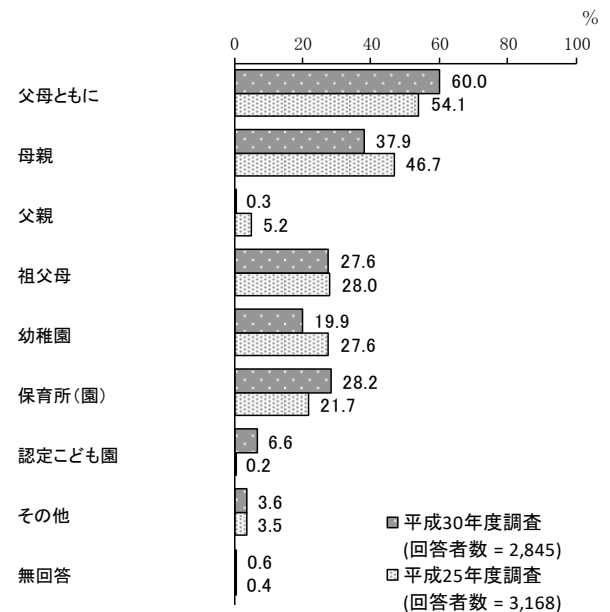
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 37 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

「父母ともに」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「母親」の割合が 37.9%、「保育所（園）」の割合が 28.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「父母ともに」「保育所（園）」「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「母親」「幼稚園」の割合が減少しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「保育所（園）」の割合が高くなっています。また、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「父母ともに」の割合が高くなっています。

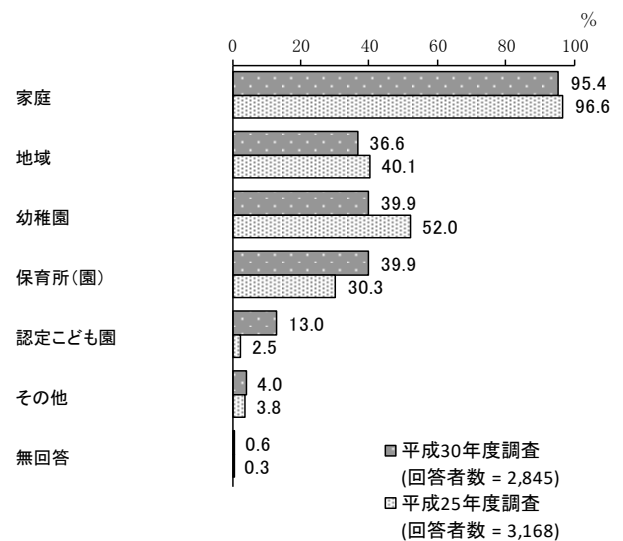
単位：％

区分	回答者数 (件)	父母 ともに	母親	父親	祖 父母	幼 稚 園	保 育 所 (園)	認 定 こ ど も 園	そ の 他	無 回 答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	682	69.9	26.1	0.3	33.4	2.3	71.7	6.7	3.4	0.9
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	234	69.2	29.5	—	28.2	0.9	26.1	3.8	3.0	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	590	56.8	41.2	—	29.0	27.3	34.9	8.1	3.7	0.7
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	44	65.9	34.1	—	25.0	11.4	31.8	2.3	4.5	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	1200	54.3	44.8	—	23.0	29.1	1.8	6.4	3.6	0.6
これまで就労したことがない	69	59.4	40.6	—	31.9	40.6	—	4.3	4.3	—

問 38 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、特に影響すると思われる環境をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「家庭」の割合が 95.4%と最も高く、次いで「幼稚園」、「保育所（園）」の割合が 39.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「保育所（園）」「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」の割合が減少しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「保育所（園）」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

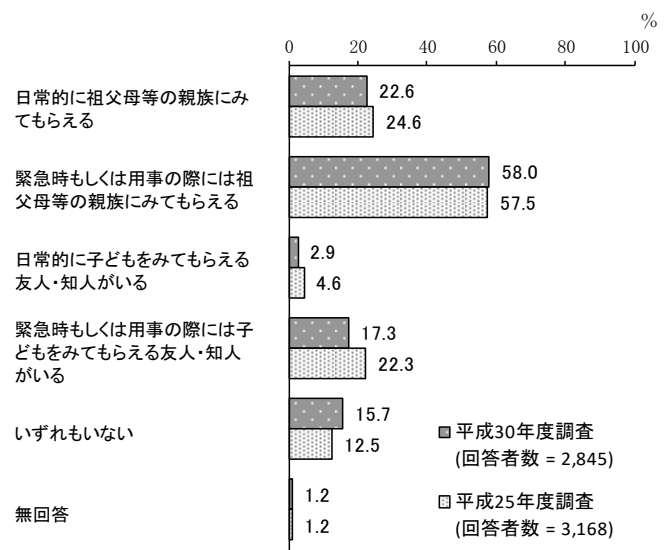
単位：％

区分	回答者数 (件)	家庭	地域	幼稚園	保育所 (園)	認定こども園	その他	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	682	94.0	28.3	5.7	82.4	9.5	2.6	0.9
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	234	96.2	40.2	18.8	73.9	17.9	2.1	0.4
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	590	94.9	33.4	41.5	41.7	11.4	4.1	0.7
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	44	95.5	50.0	25.0	54.5	11.4	13.6	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	1200	96.6	41.8	62.2	9.8	15.3	4.7	0.5
これまで就労したことがない	69	94.2	39.1	60.9	2.9	7.2	4.3	—

問 39 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 22.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 17.3%となっています。

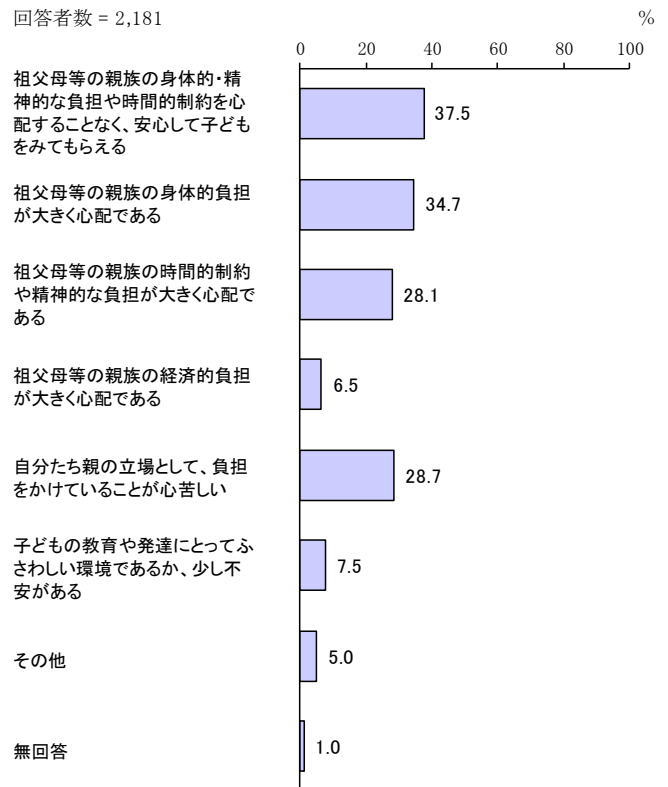
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 39-1 問 39 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 34.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 28.7%となっています。

回答者数 = 2,181

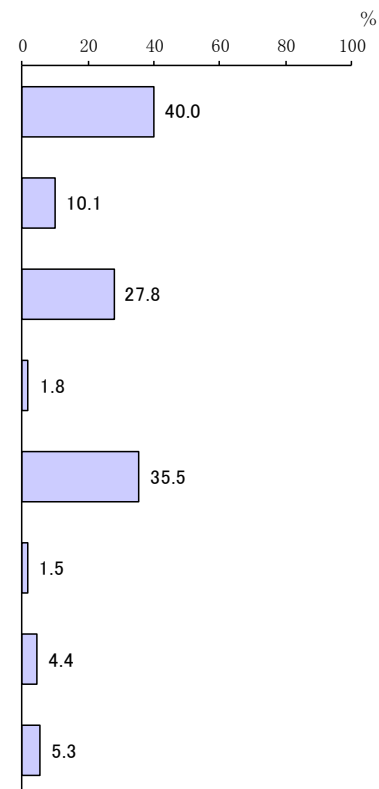


問 39－2 問 39 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 35.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 27.8%となっています。

回答者数 = 543

友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
友人・知人の身体的負担が大きく心配である
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
友人・知人の経済的負担が大きく心配である
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
その他
無回答

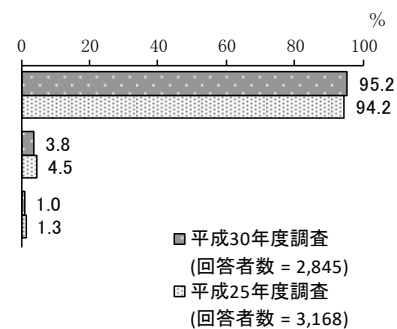


問 40 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。（1つだけに○）

「いる／ある」の割合が 95.2%、「いない／ない」の割合が 3.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

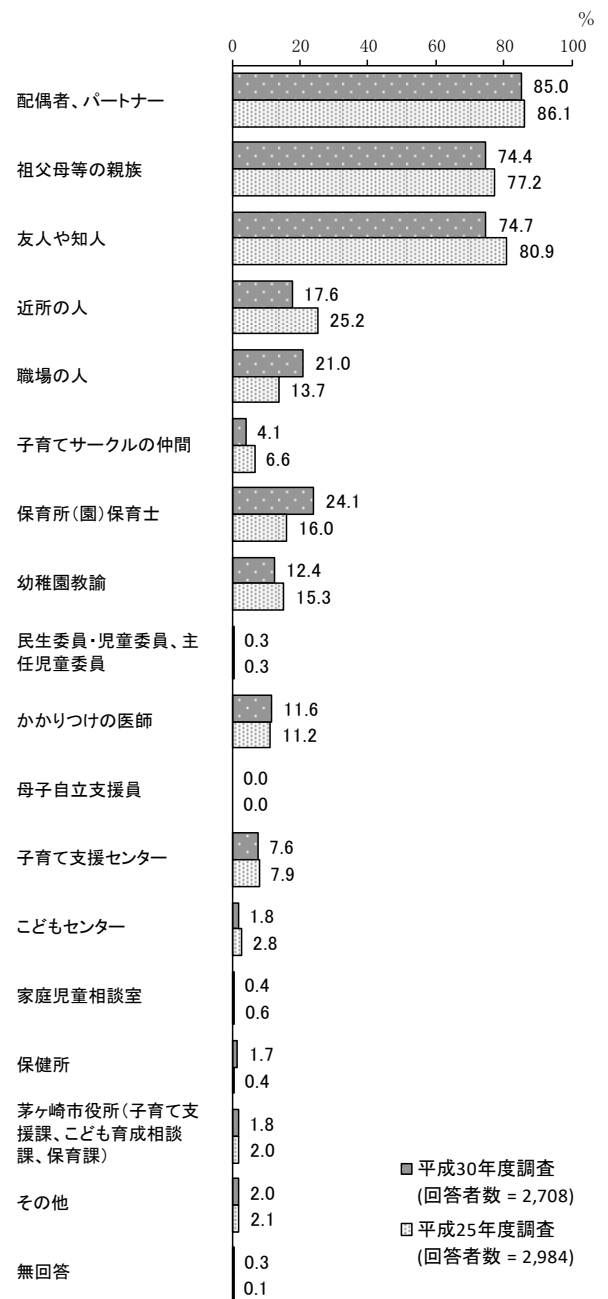
いる／ある
いない／ない
無回答



問 40－1 問 40 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「配偶者、パートナー」の割合が85.0%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が74.7%、「祖父母等の親族」の割合が74.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「職場の人」「保育所（園）保育士」の割合が増加しています。一方、「友人や知人」「近所の人」の割合が減少しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「配偶者、パートナー」の割合が、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「祖父母等の親族」の割合が高くなっています。また、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで、「保育所（園）保育士」「職場の人」の割合が高くなっています。

単位：％

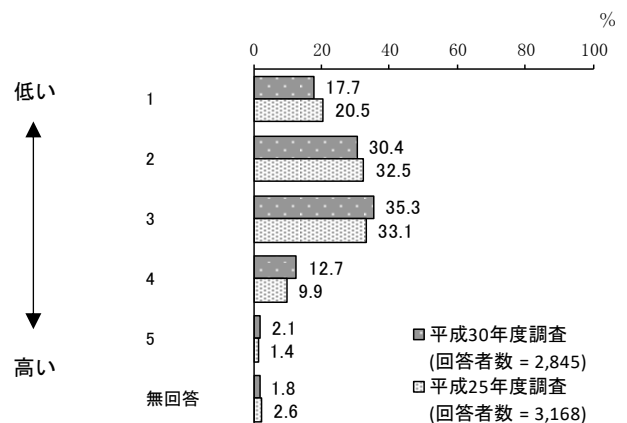
区分	回答者数 (件)	配偶者、 パートナー	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	職場の人	子育てサークルの仲間	保育所（園） 保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員、 主任児童委員、主
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	643	80.4	71.7	70.5	11.0	45.1	1.4	59.9	1.6	0.2
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	221	89.1	83.3	71.5	10.9	29.4	1.8	25.3	1.8	0.5
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	568	82.4	71.5	75.5	22.7	31.5	2.5	28.2	16.5	0.5
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	39	97.4	69.2	69.2	17.9	33.3	10.3	33.3	7.7	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	1153	88.6	76.0	78.1	19.8	1.0	6.3	2.4	18.6	0.2
これまで就労したことがない	65	76.9	73.8	64.6	21.5	3.1	9.2	3.1	12.3	—

区分	かかりつけの医師	母子自立支援員	子育て支援センター	こどもセンター	家庭児童相談室	保健所	茅ヶ崎市役所（子育て支援課、 こども育成相談課、保育課）	その他	無回答
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	14.5	—	2.8	0.3	—	0.9	1.4	1.1	0.3
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15.4	—	15.4	0.5	0.5	4.5	3.2	2.3	0.9
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	11.8	—	4.9	1.4	0.4	0.7	1.2	1.6	0.2
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7.7	—	7.7	—	2.6	—	2.6	2.6	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	9.0	0.1	10.1	3.0	0.5	2.0	2.0	2.6	0.2
これまで就労したことがない	12.3	—	10.8	4.6	—	1.5	1.5	4.6	—

問 41 茅ヶ崎市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
(1つだけに○)

「3」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「2」の割合が 30.4%、「1」の割合が 17.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 41-1 問 41 で、そのようにお答えになった理由をお書きください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は3,937件でした。回答の主な内容は、下記のとおりです。
なお、「医療費助成、医療体制の充実に関すること」が765件と最も多くなっています。

【教育・保育施設に対する要望・意見】

①施設整備に関すること	259 件
②入所条件に関すること	158 件
③保育料に関すること	82 件
④保育士に関すること	18 件
⑤給食に関すること	16 件
⑥その他	132 件

【小学校就学後の生活に関する要望・意見】

①児童クラブ（学童保育）に関すること	102 件
②小学校に関すること	57 件
③児童館に関すること	17 件

【子育て支援全般に対する要望・意見】

①医療費助成、医療体制の充実に関すること	765 件
②地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）等の子どもと一緒に利用する事業の充実に関すること	203 件
③子育て情報の充実に関すること	119 件
④一時預かり事業の充実に関すること	71 件
⑤病児・病後児保育事業の充実に関すること	39 件
⑥手当・補助制度の充実、費用負担に関すること	45 件
⑦障害児への支援充実に関すること	27 件
⑧健康診断の充実に関すること	26 件
⑨その他の子育て支援サービスに関すること	203 件

【子育て環境に関する要望・意見】

①子どもの遊び場の充実に関すること	682 件
②まちづくり、公共施設等に関すること	302 件
③地域のつながり、協力等に関すること	48 件
④その他	24 件

【子育て中の保護者の状況に関する要望・意見】

①保護者のリフレッシュ、子育て不安等に関すること	18 件
②その他	41 件

【その他】

①中学校の給食に関すること	167 件
②その他	316 件

問 42 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は 863 件でした。回答の主な内容は、下記のとおりです。
なお、「子育て情報の充実に関すること」が 151 件と最も多くなっています。

【教育・保育施設に対する要望・意見】

①施設整備に関すること	19 件
②延長保育に関すること	19 件
③幼稚園の預かり保育の充実に関すること	14 件
④入所条件に関すること	12 件
⑤夜間・休日、長期休暇の受け入れに関すること	10 件
⑥保育料に関すること	10 件
⑦その他	13 件

【小学校就学後の生活に関する要望・意見】

①児童クラブ（学童保育）に関すること	46 件
②小学校に関すること	22 件
③その他	4 件

【子育て支援全般に関する要望・意見】

①子育て情報の充実に関すること	151 件
②一時預かり事業の充実に関すること	65 件
③地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）等の子どもと一緒に利用する事業の充実に関すること	47 件
④手当・補助制度の充実、費用負担に関すること	40 件
⑤病児・病後児保育事業の充実に関すること	34 件
⑥医療費助成、医療体制の充実に関すること	32 件
⑦健康診断の充実に関すること	15 件
⑧その他の子育て支援サービスに関すること	120 件

【子育て環境に関する要望・意見】

①子どもの遊び場の充実に関すること	40 件
②まちづくり、公共施設等に関すること	31 件
③地域のつながり、協力等に関すること	31 件
④その他	4 件

【子育て中の保護者の状況に関する要望・意見】

①保護者のリフレッシュ、子育て不安等に関すること	18 件
②子育てと仕事の両立に関すること	16 件
③その他	14 件

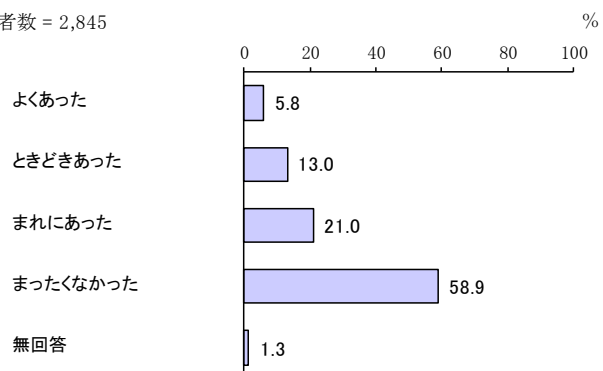
【その他】

その他	36 件
-----	------

問 43 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。（1 つだけに○）

「まったくなかった」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が 21.0%、「ときどきあった」の割合が 13.0%となっています。

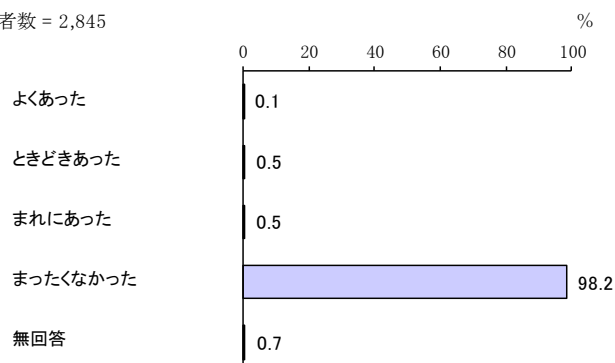
回答者数 = 2,845



問 44 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。（1 つだけに○）

「まったくなかった」の割合が 98.2%と最も高くなっています。

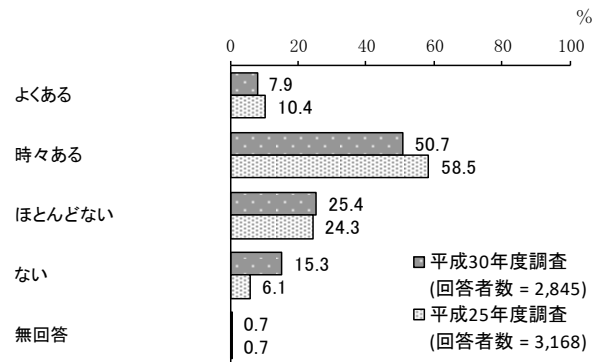
回答者数 = 2,845



問 45 子育てでどうしてもいいかわからなくなることがありますか。(1つだけに○)

「時々ある」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 25.4%、「ない」の割合が 15.3%となっています。

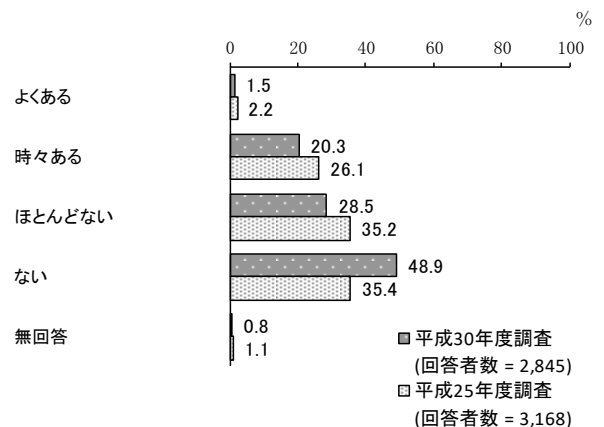
平成 25 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。また、「時々ある」の割合が減少しています。



問 46 自分は、子どもを虐待してしまっているのではないかと思うことがありますか。(1つだけに○)

「ない」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 28.5%、「時々ある」の割合が 20.3%となっています。

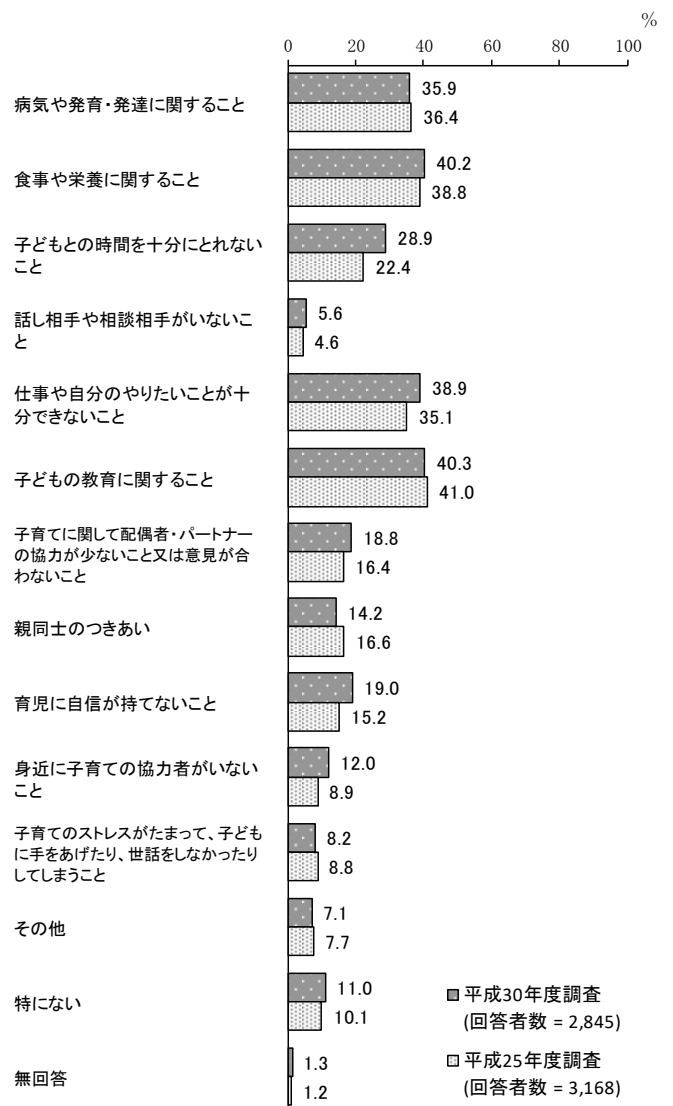
平成 25 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。また、「時々ある」「ほとんどない」の割合が減少しています。



問 47 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもの教育に関すること」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」の割合が 40.2%、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が 38.9%となっています。

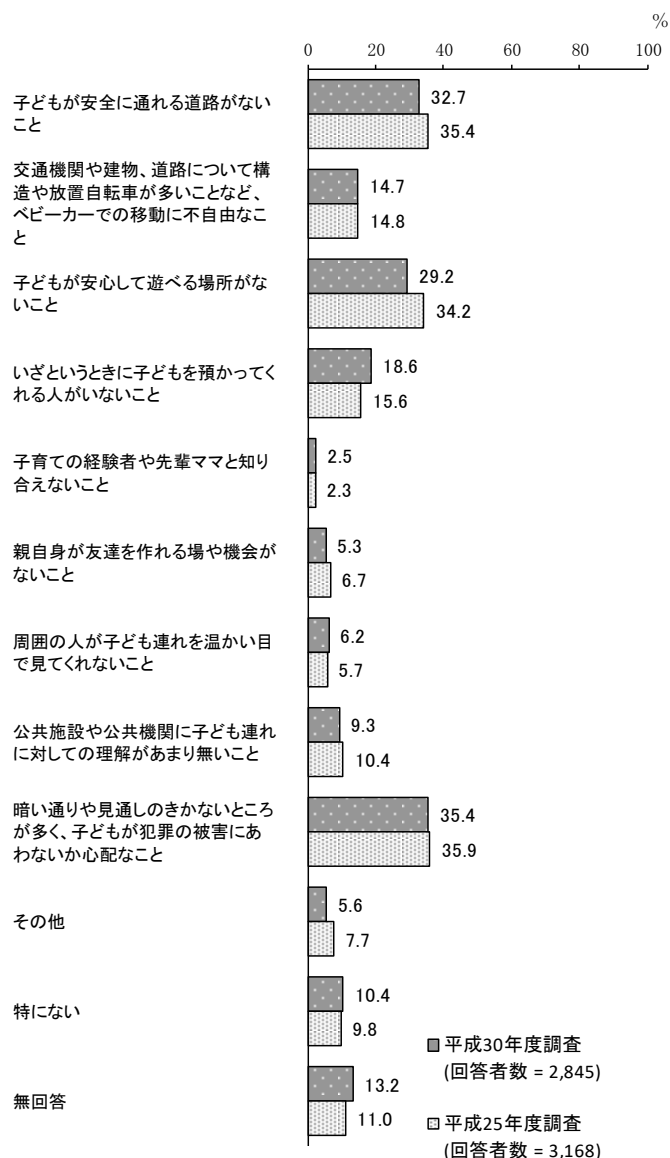
平成 25 年度調査と比較すると、「子どもとの時間を十分にとれないこと」の割合が増加しています。



問 48 子育てを行っていて、特に困ること、困ったことは次のうちどれですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「子どもが安全に通れる道路がないこと」の割合が 32.7%、「子どもが安心して遊べる場所がないこと」の割合が 29.2%となっています。

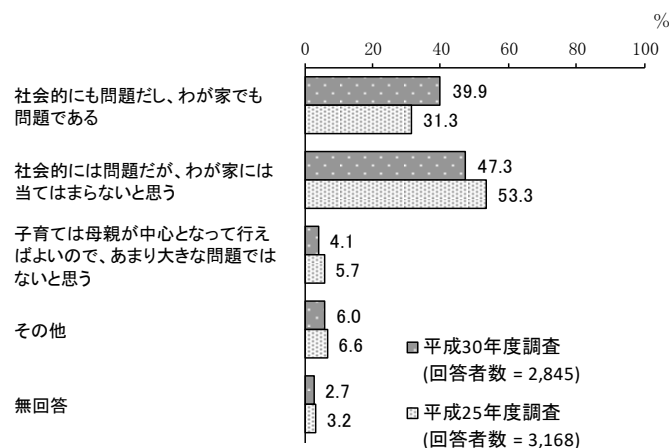
平成 25 年度調査と比較すると、「子どもが安心して遊べる場所がないこと」の割合が減少しています。



問 49 父親が、子育てにあまりかかわらない、かかわる時間がないなどと言われていますが、このことについてどう思いますか。(1つだけに○)

「社会的には問題だが、わが家には当てはまらないと思う」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「社会的にも問題だし、わが家でも問題である」の割合が 39.9%となっています。

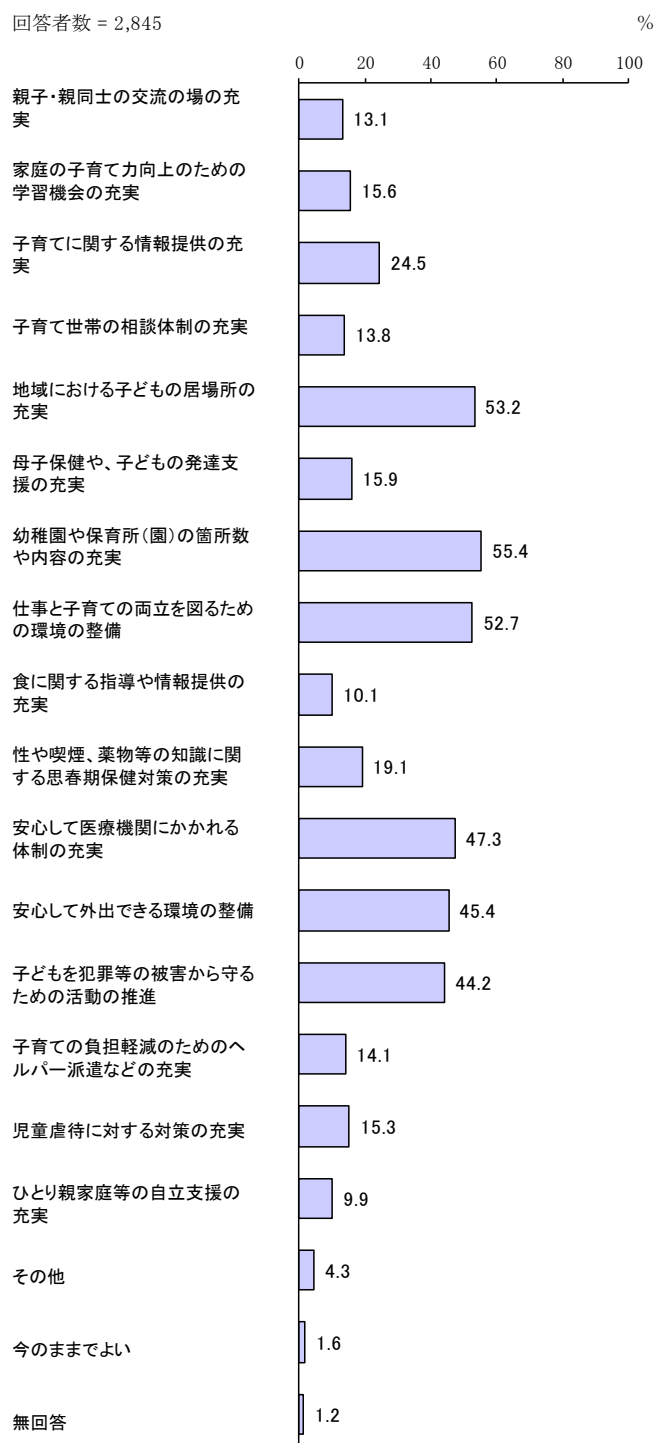
平成 25 年度調査と比較すると、「社会的にも問題だし、わが家でも問題である」の割合が増加しています。一方、「社会的には問題だが、わが家には当てはまらないと思う」の割合が減少しています。



問 50 茅ヶ崎市の子ども・子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「幼稚園や保育所（園）の箇所数や内容の充実」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「地域における子どもの居場所の充実」の割合が 53.2%、「仕事と子育ての両立を図るための環境の整備」の割合が 52.7%となっています。

回答者数 = 2,845



問 51 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は1,634件でした。回答の主な内容は、下記のとおりです。
なお、「子どもの遊び場の充実に関すること」が190件と最も多くなっています。

【アンケート調査に関する要望・意見】

①回答のしやすさに関すること	41 件
②アンケート調査に関する感想	29 件
③結果の活用に関すること	13 件

【教育・保育施設に対する要望・意見】

①施設整備に関すること	72 件
②入所条件に関すること	46 件
③質に関すること	43 件
④保育料に関すること	42 件
⑤支援の必要な子どもの預かり充実に関すること	20 件
⑥その他	18 件

【子育て支援全般に関する要望・意見】

①医療費助成、医療体制の充実に関すること	133 件
②手当・補助制度の充実、費用負担に関すること	55 件
③相談場所の充実に関すること	26 件
④子育て情報の充実に関すること	22 件
⑤子どもと一緒に利用する事業の充実に関すること	19 件
⑥健康診断、予防接種の充実に関すること	16 件
⑦病児・病後児保育事業の充実に関すること	13 件
⑧その他の子育て支援サービスに関すること	50 件

【子育て中の保護者の状況に関する意見・要望】

①保護者の就労支援に関すること	29 件
②子どもと関わる時間に関すること	10 件
③その他	12 件

【子育て環境に関する要望・意見】

①子どもの遊び場の充実にすること	190 件
②道路等の安全にすること	92 件
③地域のつながり、協力等にすること	21 件
④まちづくり、公共施設等にすること	20 件
⑤その他	39 件

【小学校就学後の生活に関する要望・意見】

①児童クラブ（学童保育）にすること	39 件
②小学校にすること	25 件
③その他	1 件

【その他】

①給食を実現してほしい	91 件
②中高一貫校にすること	10 件
③その他	397 件

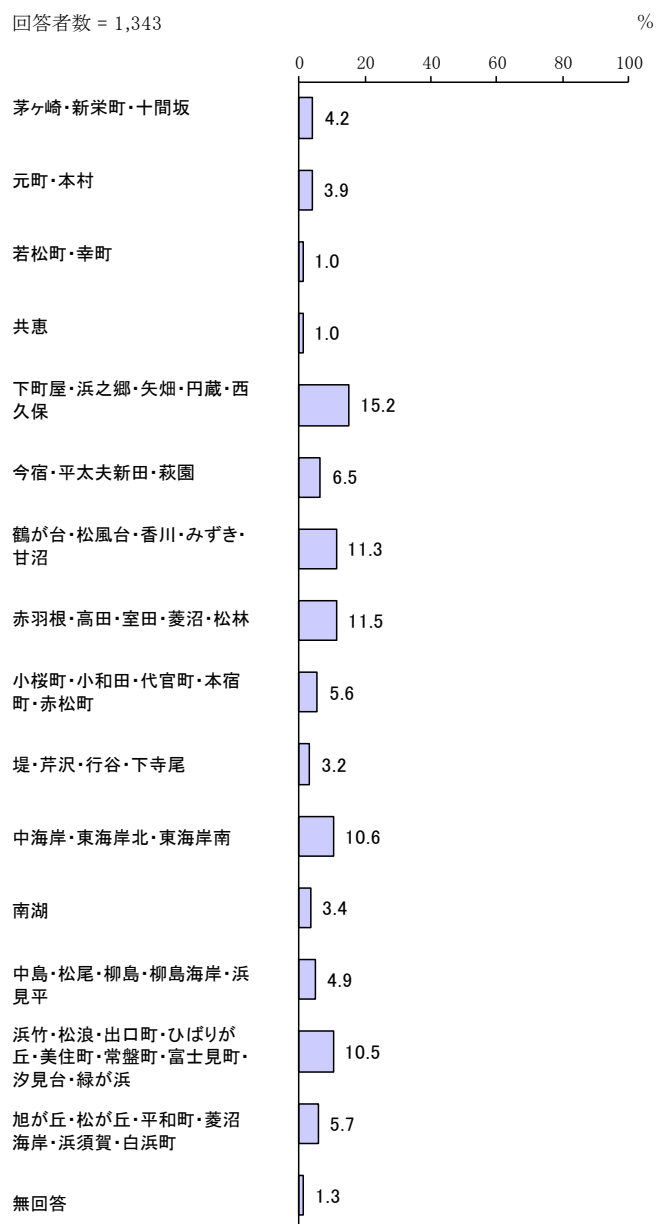
2 小学生（保護者）

（１）お住まいの地域について

問１－１ あなたがお住まいの地区をお答えください。（１つだけに○）

「下町屋・浜之郷・矢畑・円蔵・西久保」の割合が 15.2%と最も高く、次いで「赤羽根・高田・室田・菱沼・松林」の割合が 11.5%、「鶴が台・松風台・香川・みずき・甘沼」の割合が 11.3%となっています。

回答者数 = 1,343



問 1－2 宛名のお子さんが通う小学校をご記入ください。

「香川小学校」の割合が 9.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,343

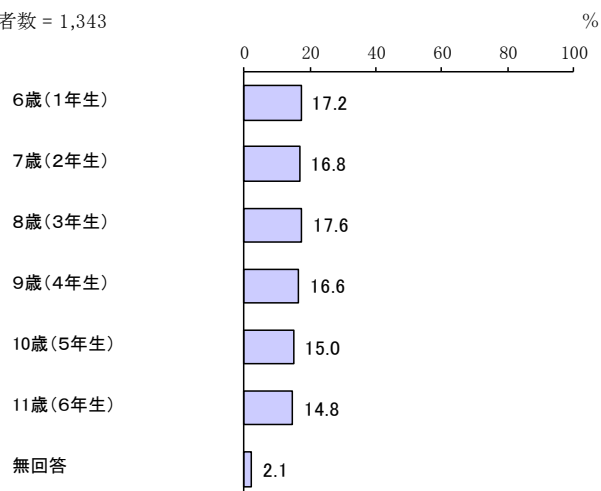


(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。() 内に数字を記入)

「8歳(3年生)」の割合が17.6%と最も高く、次いで「6歳(1年生)」の割合が17.2%、「7歳(2年生)」の割合が16.8%となっています。

回答者数 = 1,343

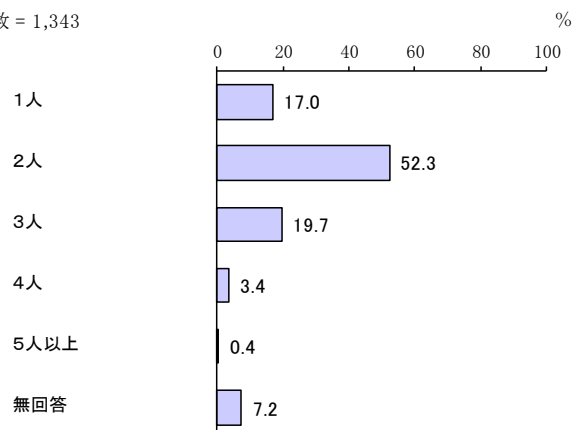


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を() 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

ア きょうだい数

「2人」の割合が52.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が19.7%、「1人」の割合が17.0%となっています。

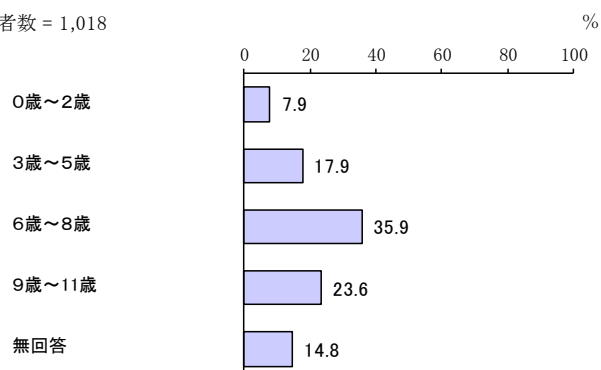
回答者数 = 1,343



イ 末子の年齢

「6歳～8歳」の割合が35.9%と最も高く、次いで「9歳～11歳」の割合が23.6%、「3歳～5歳」の割合が17.9%となっています。

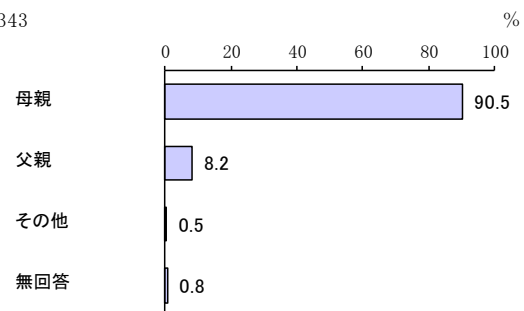
回答者数 = 1,018



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（1つだけに○）

「母親」の割合が90.5%、「父親」の割合が8.2%となっています。

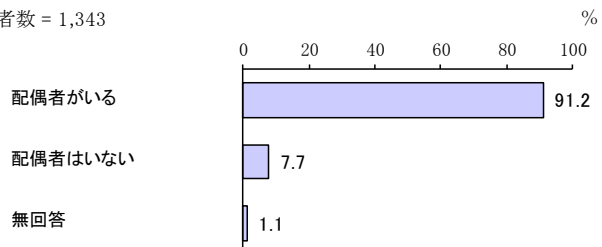
回答者数 = 1,343



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つだけに○）

「配偶者がいる」の割合が91.2%、「配偶者がいない」の割合が7.7%となっています。

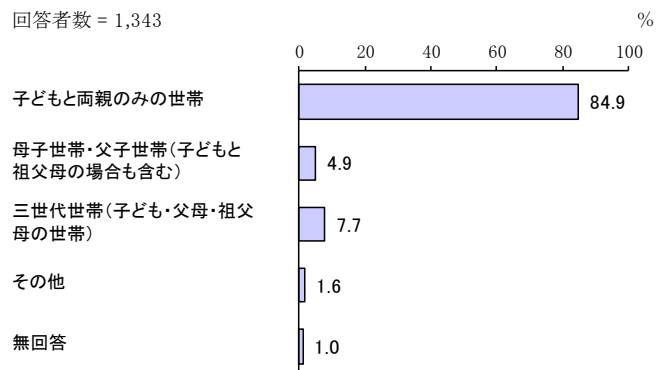
回答者数 = 1,343



問6 宛名のお子さんと生計を同一にしている家族構成は次のうち、どれにあたりますか。（1つだけに○）

「子どもと両親のみの世帯」の割合が84.9%と最も高くなっています。

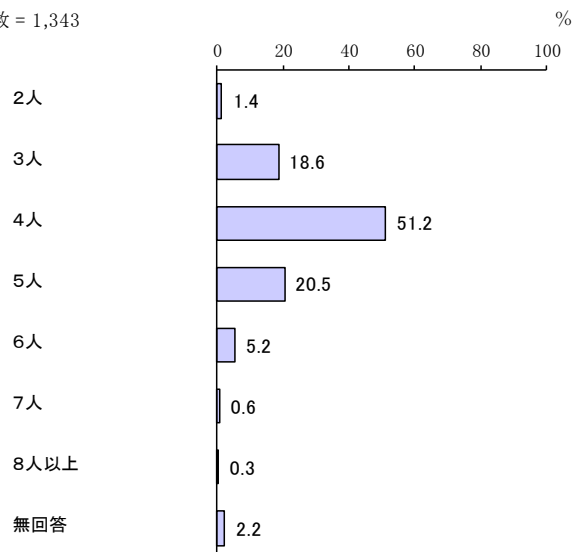
回答者数 = 1,343



問7 宛名のお子さんと生計を同一にしているご家族の人数を教えてください。（あなたと宛名のお子さんも含む。単身赴任をしている家族も含む。）
（ ）内に数字を記入）

「4人」の割合が51.2%と最も高く、次いで「5人」の割合が20.5%、「3人」の割合が18.6%となっています。

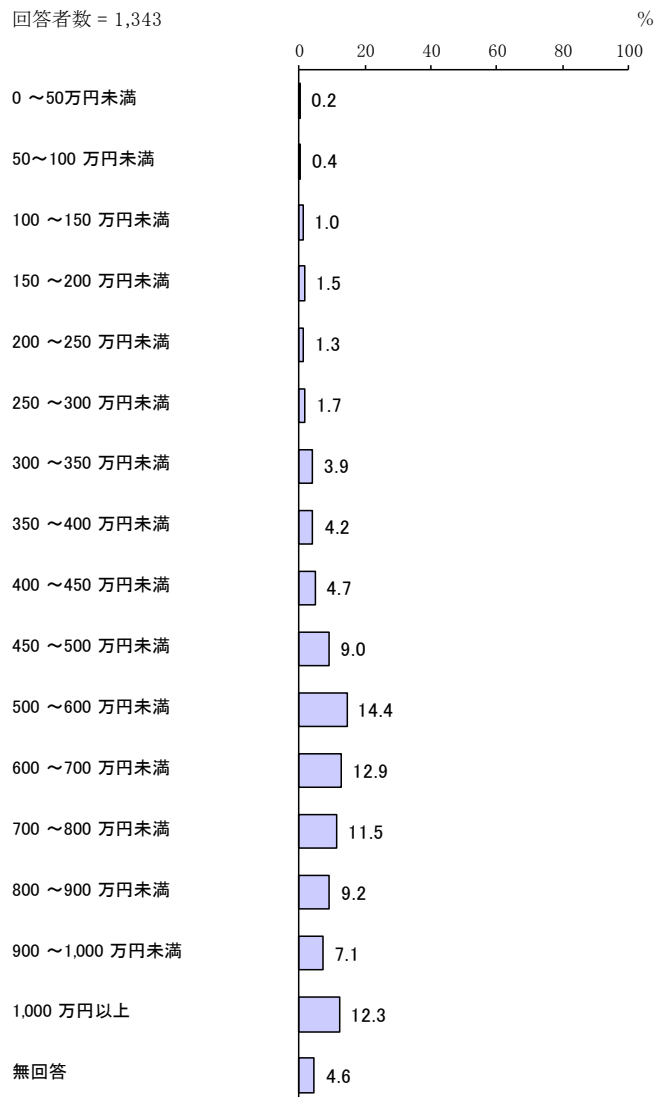
回答者数 = 1,343



問8 世帯の年収は、次のうち、どれにあたりますか。（1つだけに○）世帯とは、生計を同一にしている家族のことを指します。

「500 ～600 万円未満」の割合が14.4%と最も高く、次いで「600 ～700 万円未満」の割合が12.9%、「1,000 万円以上」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 1,343

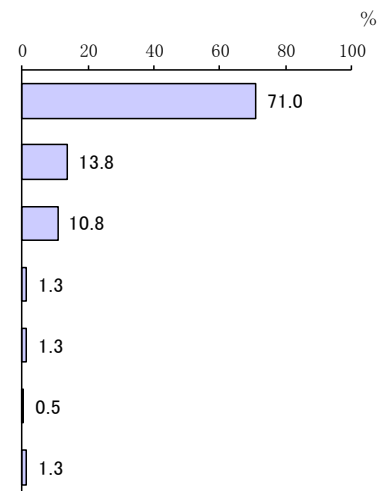


問9 お住まいの住居の状況は、次のうち、どれにあたりますか。（1つだけに○）

「持ち家（一戸建て）」の割合が71.0%と最も高く、次いで「持ち家（マンション等の集合住宅）」の割合が13.8%、「民間の賃貸住宅（アパート、借家など）」の割合が10.8%となっています。

回答者数 = 1,343

持ち家（一戸建て）
持ち家（マンション等の集合住宅）
民間の賃貸住宅（アパート、借家など）
県営、市営、公社などの賃貸住宅
社宅、官舎など
その他
無回答

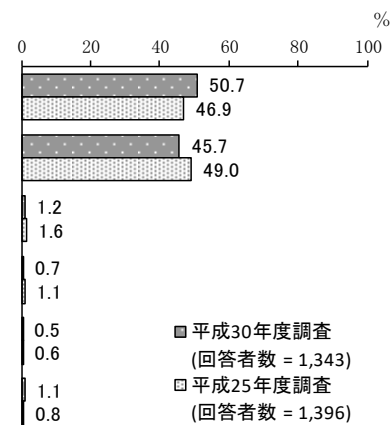


問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つだけに○）

「父母ともに」の割合が50.7%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が45.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

父母ともに
主に母親
主に父親
主に祖父母
その他
無回答



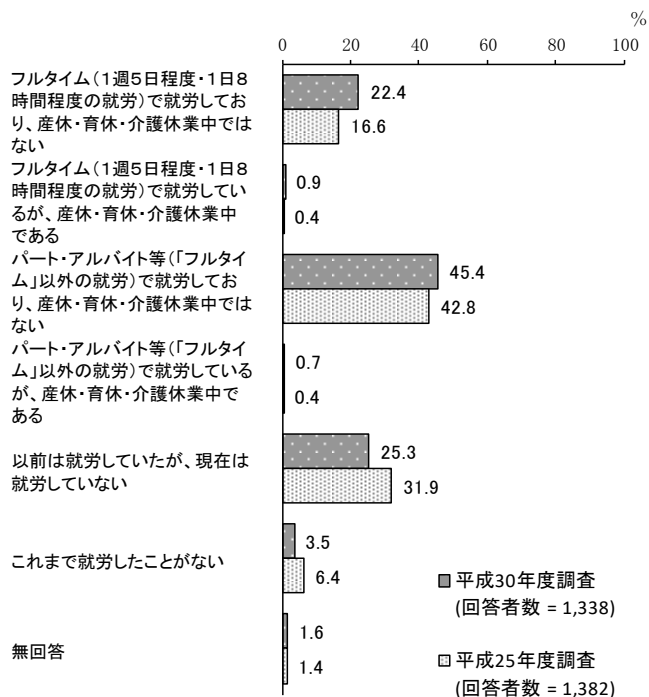
(3) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 25.3%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 22.4%となっています。

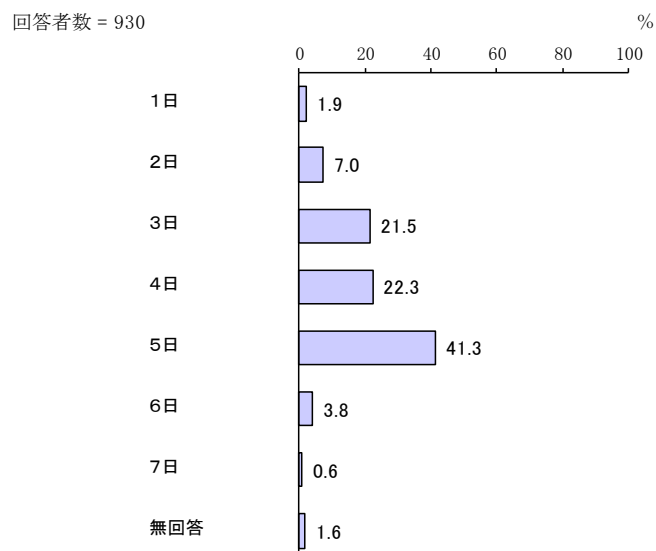
平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



(1) - 1 (1) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。(() 内に数字を記入)

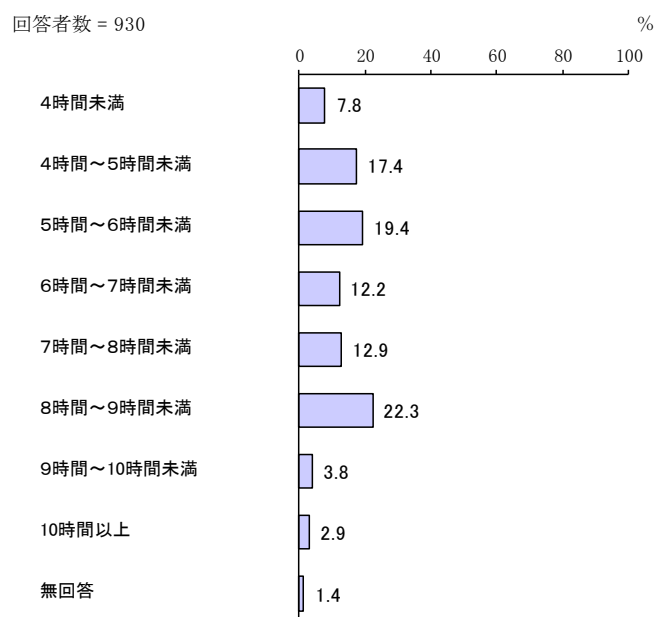
ア 1週当たり就労日数

「5日」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が 22.3%、「3日」の割合が 21.5%となっています。



イ 1日当たり就労時間

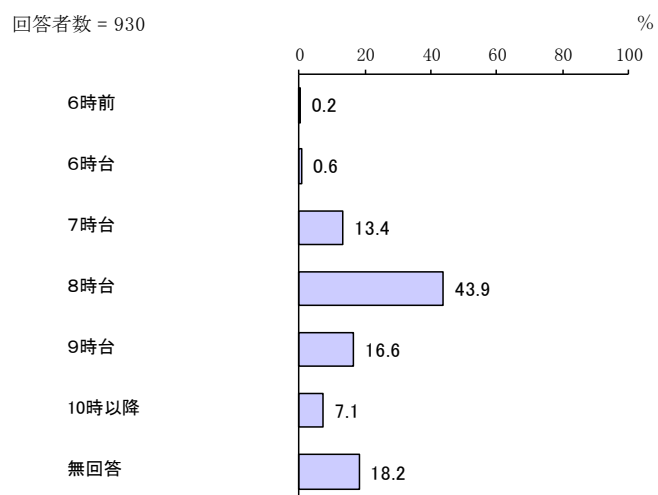
「8時間～9時間未満」の割合が22.3%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が19.4%、「4時間～5時間未満」の割合が17.4%となっています。



(1) - 2 (1) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

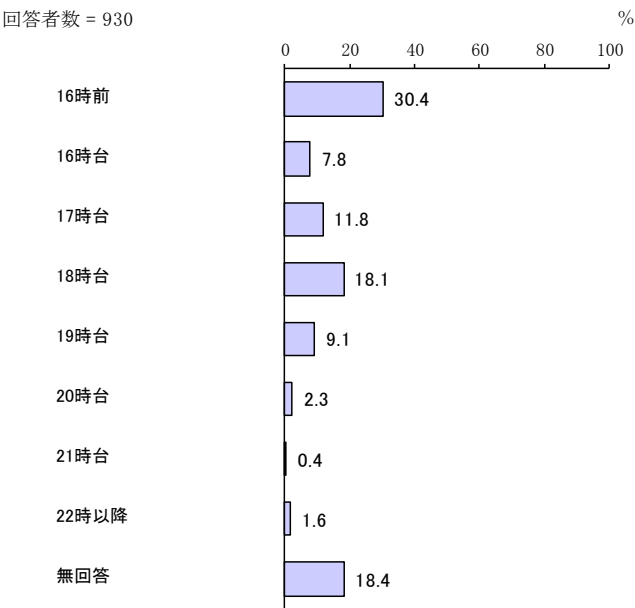
ア 家を出る時刻

「8時台」の割合が43.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が16.6%、「7時台」の割合が13.4%となっています。



イ 帰宅時刻

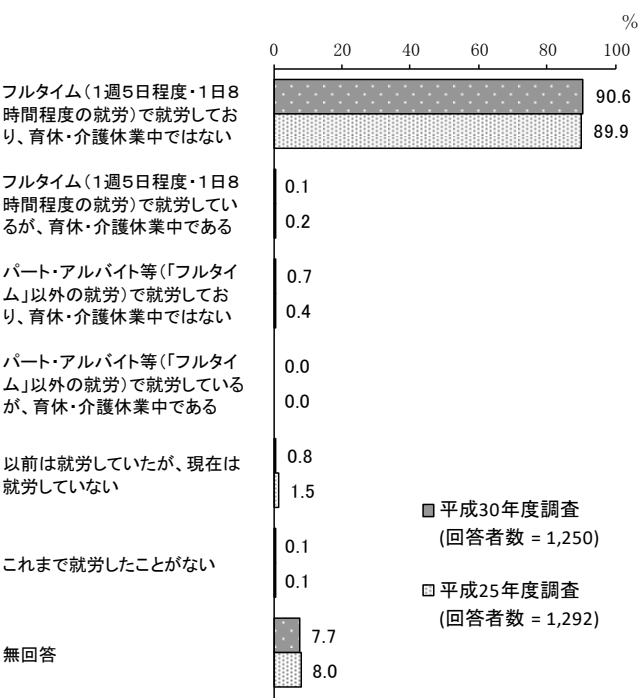
「16 時前」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 18.1%、「17 時台」の割合が 11.8%となっています。



(2) 父親

「フルタイム（1週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 90.6%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

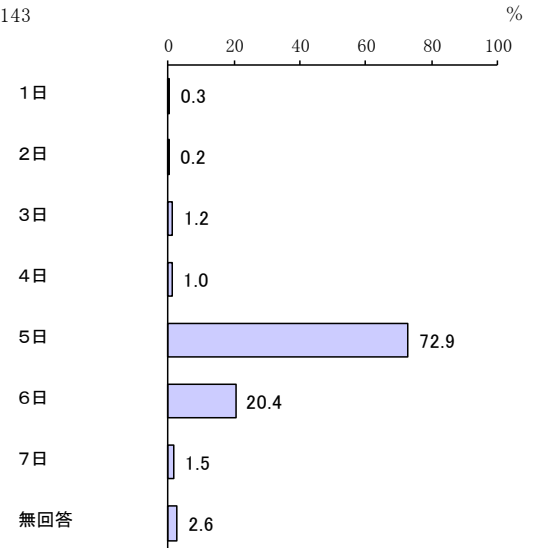


(2) - 1 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」
をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも
多いパターンを、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答え
ください。(() 内に数字を記入)

ア 1週当たり就労日数

「5日」の割合が 72.9%と最も高く、次いで
「6日」の割合が 20.4%となっています。

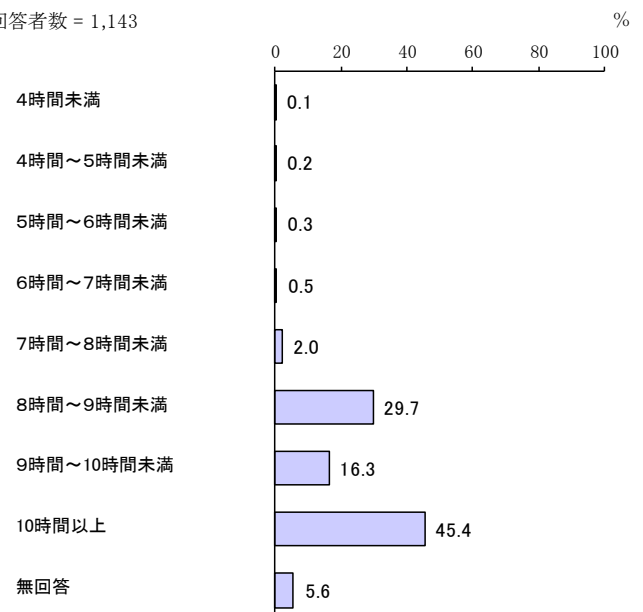
回答者数 = 1,143



イ 1日当たり就労時間

「10 時間以上」の割合が 45.4%と最も高く、
次いで「8 時間～9 時間未満」の割合が 29.7%、
「9 時間～10 時間未満」の割合が 16.3%となっ
ています。

回答者数 = 1,143

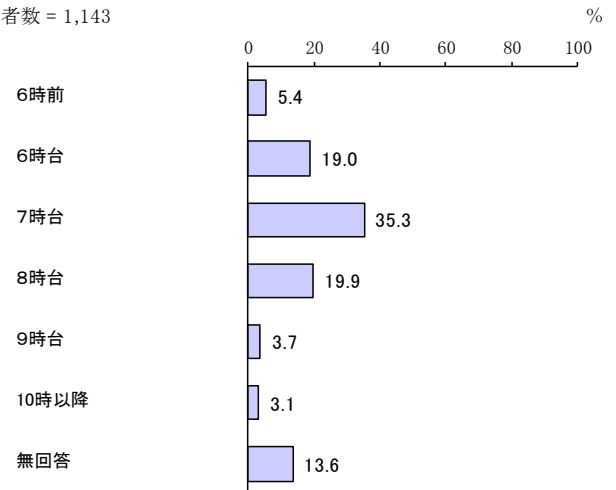


(2) - 2 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

ア 家を出る時刻

「7時台」の割合が35.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が19.9%、「6時台」の割合が19.0%となっています。

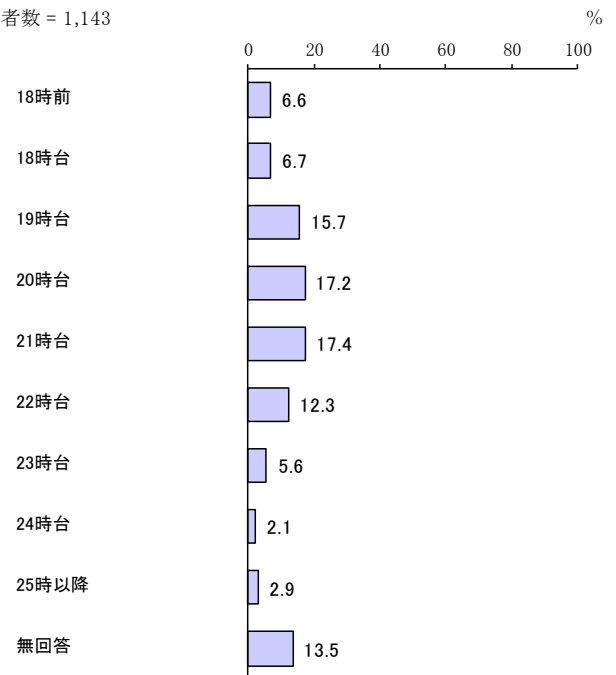
回答者数 = 1,143



イ 帰宅時刻

「21時台」の割合が17.4%と最も高く、次いで「20時台」の割合が17.2%、「19時台」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 1,143

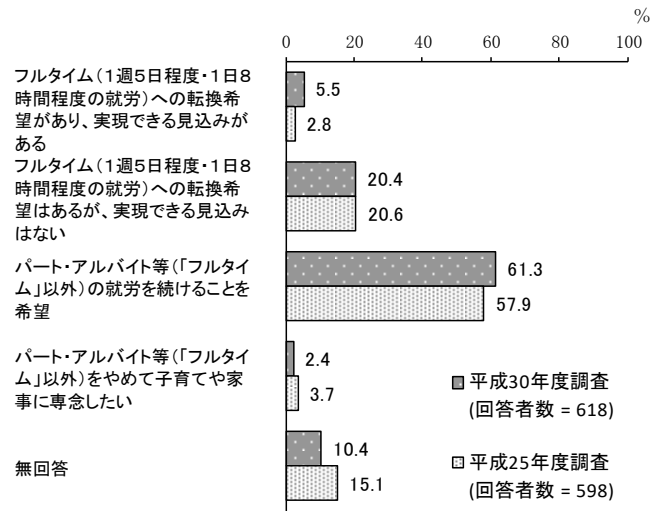


問 12 問 11 の（１）または（２）で「３.」、「４.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。（１つだけに○）

（１）母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 20.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（２）父親

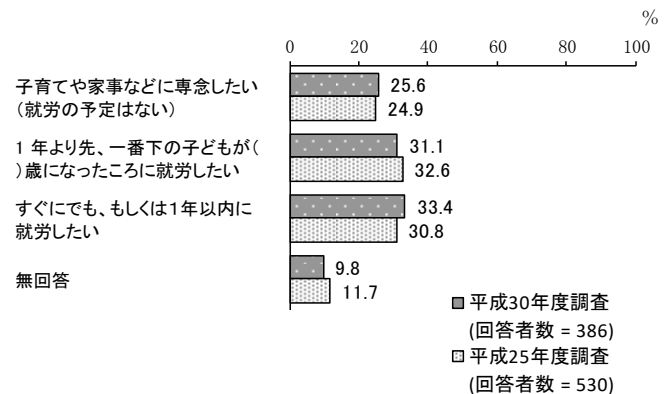
「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 4 件、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が 1 件となっています。

問 13 問 11 の（１）または（２）で「５.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

（１）母親

「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「１年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」の割合が 31.1%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 25.6%となっています。

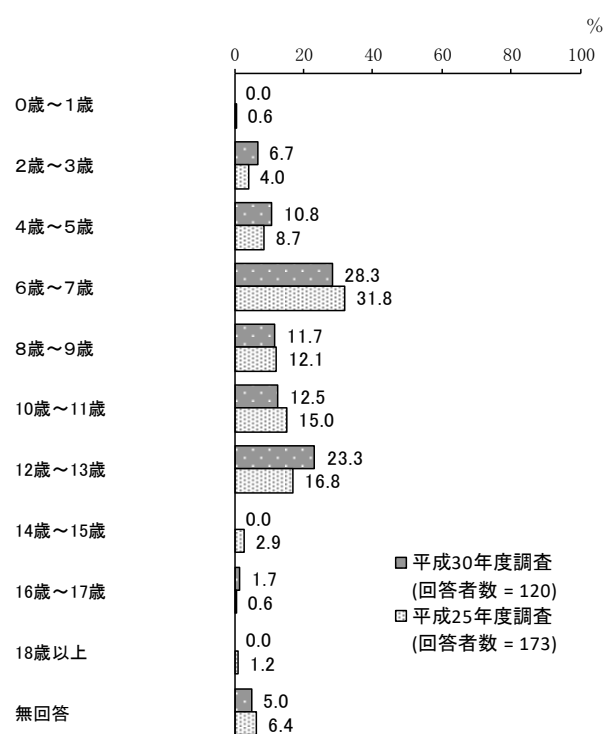
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア 就職を希望するときの末子の年齢

「6歳～7歳」の割合が28.3%と最も高く、次いで「12歳～13歳」の割合が23.3%、「10歳～11歳」の割合が12.5%となっています。

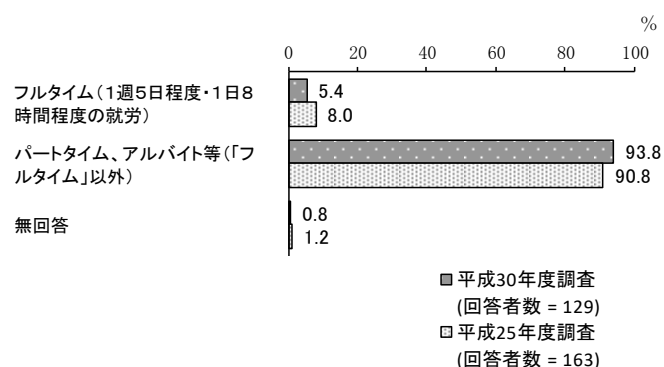
平成25年度調査と比較すると、「12歳～13歳」の割合が増加しています。



イ 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が5.4%、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が93.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

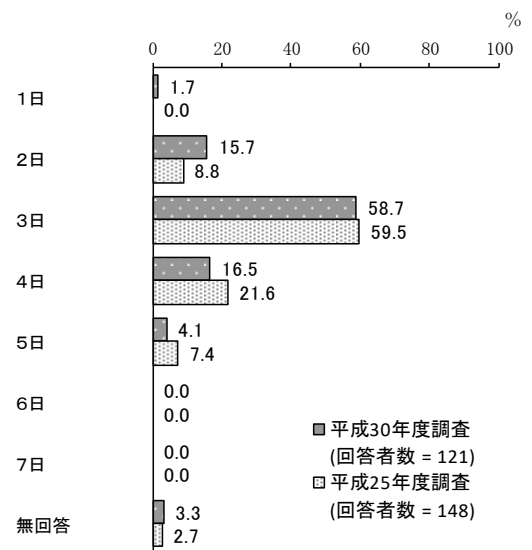


パートタイム、アルバイト等

① 1年以内に就労したい人の1週当たり就労日数

「3日」の割合が58.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が16.5%、「2日」の割合が15.7%となっています。

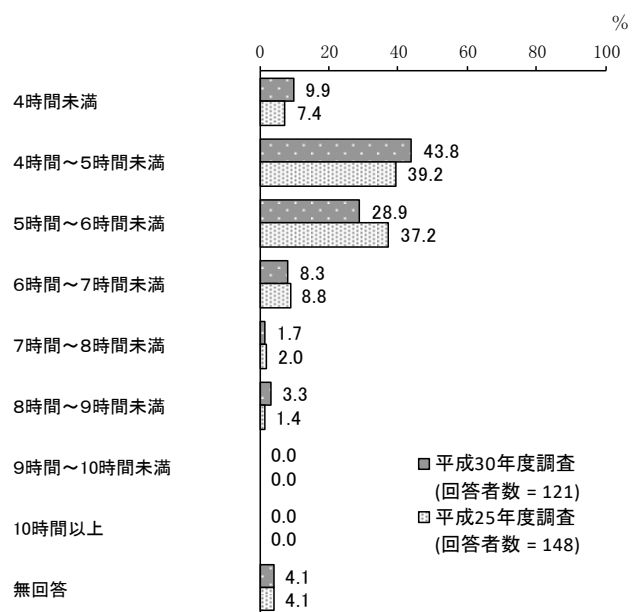
平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



② 1年以内に就労したい人の1日当たり就労時間

「4時間～5時間未満」の割合が43.8%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が28.9%となっています。

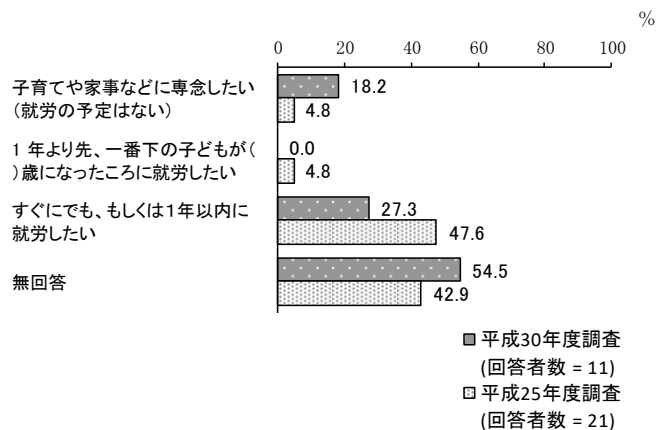
平成25年度調査と比較すると、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が27.3%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が18.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が増加しています。一方、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。



ア 就職を希望するときの末子の年齢

有効回答がありませんでした。

イ 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が2件、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」が1件となっています。

パートタイム、アルバイト等

① 1年以内に就労したい人の1週当たり就労日数

「3日」が1件となっています。

② 1年以内に就労したい人の1日当たり就労時間

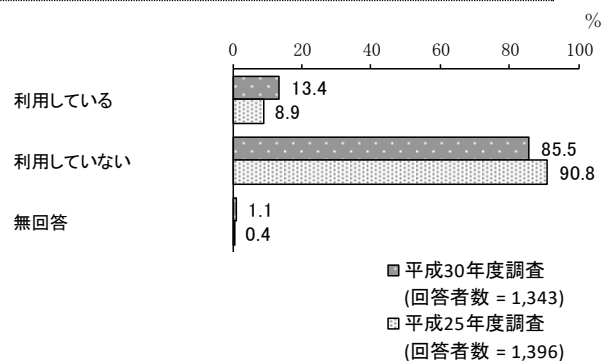
「5時間～6時間未満」が1件となっています。

(4) お子さんの放課後の過ごし方について

問 14 あて名のお子さんは、現在、児童クラブ（学童保育）を利用していますか。
（１つだけに○）

「利用している」の割合が 13.4%、「利用していない」の割合が 85.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回 答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	300	40.0	60.0	—
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	33.3	66.7	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	608	8.2	91.4	0.3
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	—	100.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	339	0.9	97.9	1.2
これまで就労したことがない	47	2.1	97.9	—

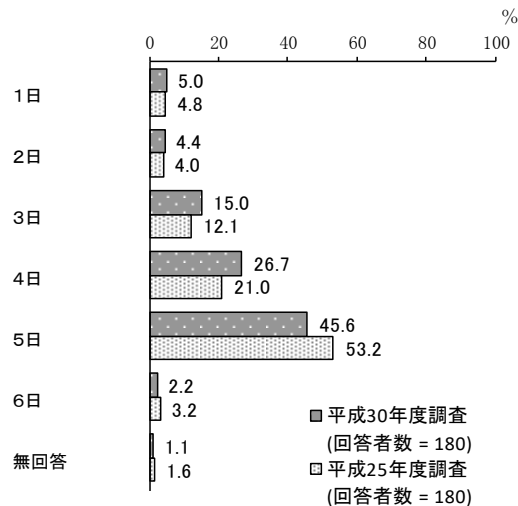
問 14－1 及び問 14－2 については、問 14 で「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。

問 14－1 利用日数はどれくらいですか。() 内に数字で記入してください。そのうち土曜日の利用はありますか。(1 つだけに○)

ア 1 週当たり利用日数

「5 日」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「4 日」の割合が 26.7%、「3 日」の割合が 15.0%となっています。

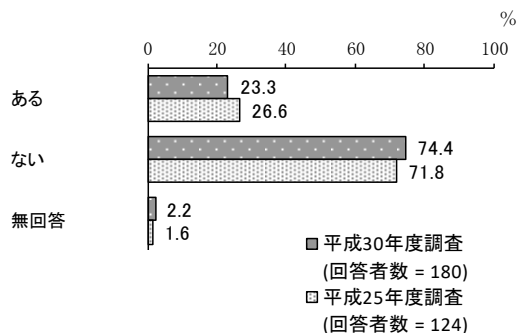
平成 25 年度調査と比較すると、「4 日」の割合が増加しています。一方、「5 日」の割合が減少しています。



イ うち土曜の利用

「ある」の割合が 23.3%、「ない」の割合が 74.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 14－2 利用の主な理由は何ですか。（１つだけに○）

「お子さんの身の回りの世話をしている方が就労している」の割合が 96.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 180

お子さんの身の回りの世話をしている方が就労している

お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定がある、求職中である

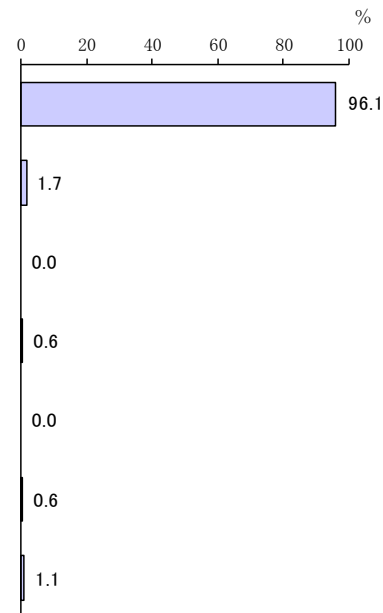
お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族等を介護しなければならない

お子さんの身の回りの世話をしている方に病気や障害がある

お子さんの身の回りの世話をしている方が学生である

その他

無回答



問 14－3 利用していない主な理由は何ですか。（１つだけに○）

「保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「放課後の短時間なら子どもだけで大丈夫」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 1,148

保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない

児童クラブを知らなかった

近くに児童クラブがないから

児童クラブに空きがないから

児童クラブの開所時間が短いから

児童クラブは利用料がかかるから

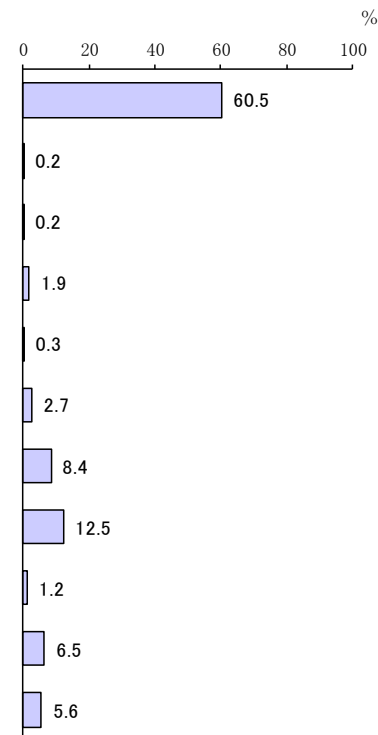
子どもは放課後の習い事などを行っているから

放課後の短時間なら子どもだけで大丈夫

他の施設に預けているから

その他

無回答

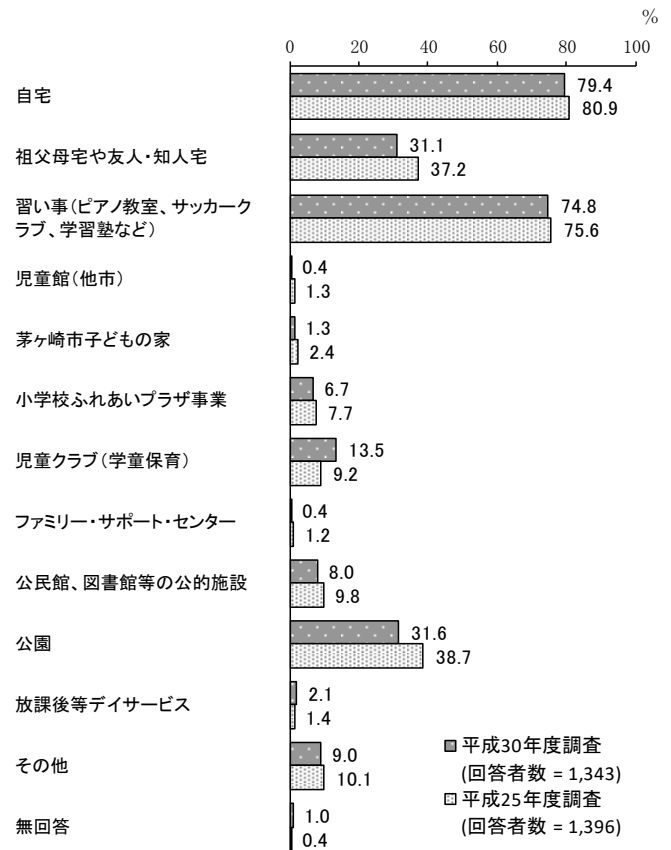


問 15 宛名のお子さんは、現在、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。
あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ（学童保育）」の場合には利用している時間も（ ）内に数字でご記入ください。

（１）現在

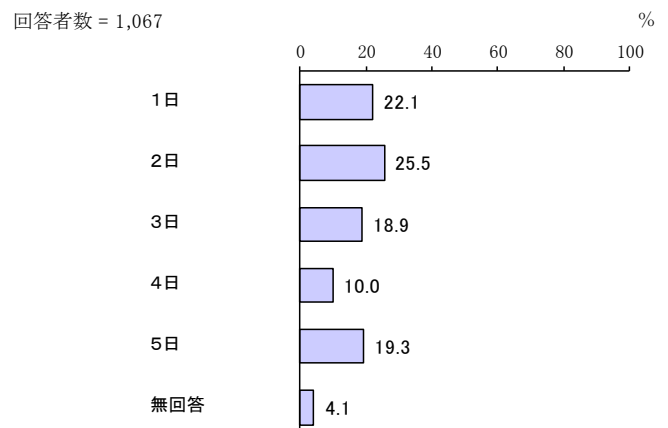
「自宅」の割合が 79.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 74.8%、「公園」の割合が 31.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」「公園」の割合が減少しています。



① 自宅

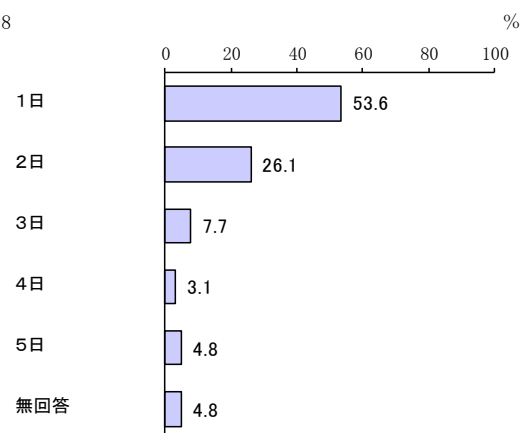
「2日」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が 22.1%、「5日」の割合が 19.3%となっています。



② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が 53.6%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 26.1%となっています。

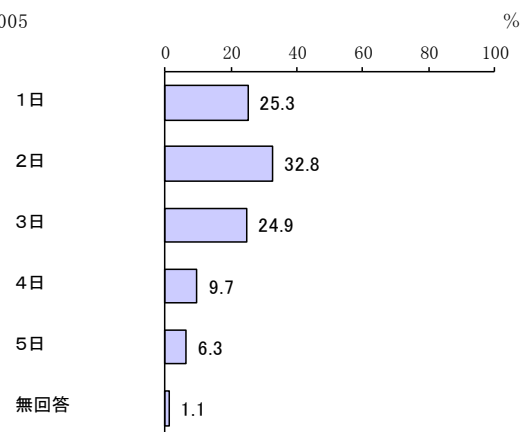
回答者数 = 418



③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が 32.8%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 25.3%、「3日」の割合が 24.9%
となっています。

回答者数 = 1,005



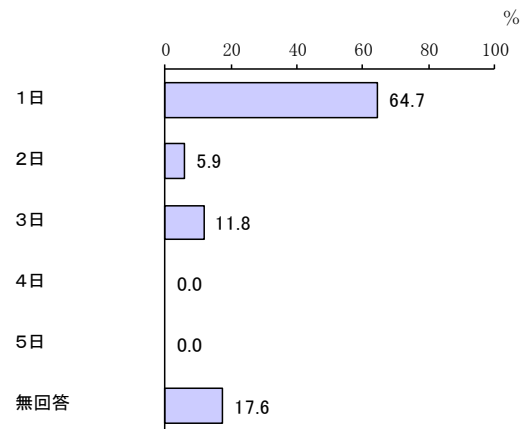
④ 児童館（他市）

「1日」が 2 件となっています。

⑤ 茅ヶ崎市子どもの家

「1日」の割合が 64.7%と最も高く、次いで
「3日」の割合が 11.8%となっています。

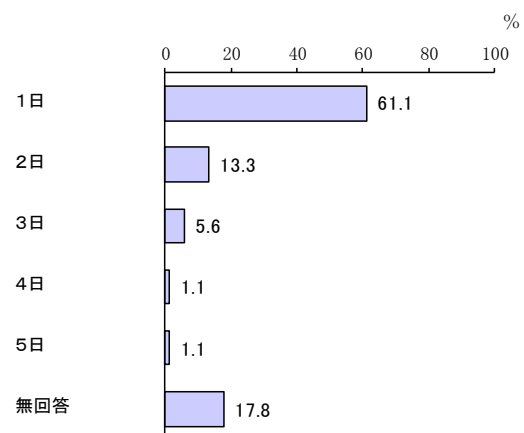
回答者数 = 17



⑥ 小学校ふれあいプラザ事業

「1日」の割合が61.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.3%となっています。

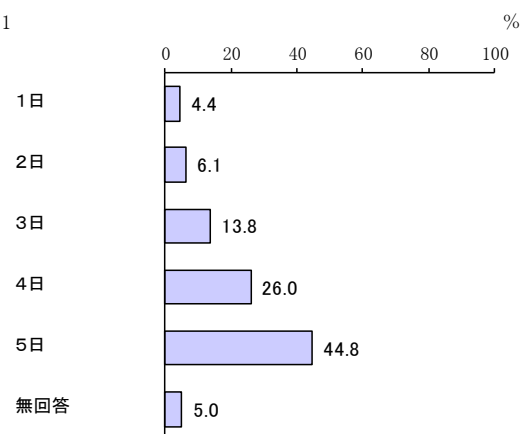
回答者数 = 90



⑦ 児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が44.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が26.0%、「3日」の割合が13.8%となっています。

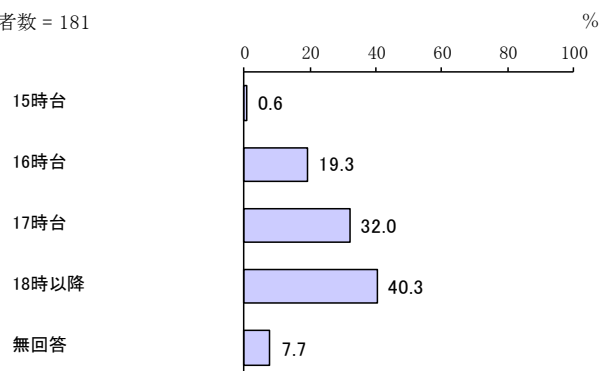
回答者数 = 181



児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

「18時以降」の割合が40.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が32.0%、「16時台」の割合が19.3%となっています。

回答者数 = 181



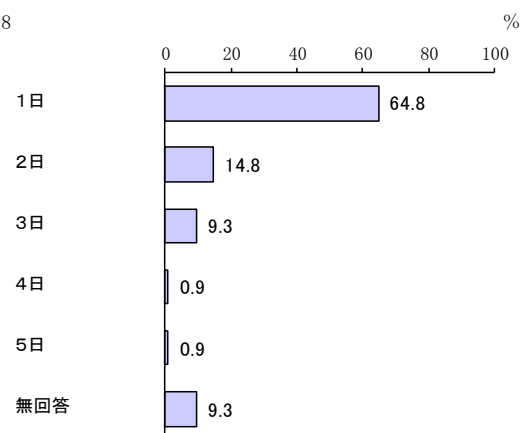
⑧ ファミリー・サポート・センター

「1日」が1件となっています。

⑨ 公民館、図書館等の公的施設

「1日」の割合が64.8%と最も高く、次いで
「2日」の割合が14.8%となっています。

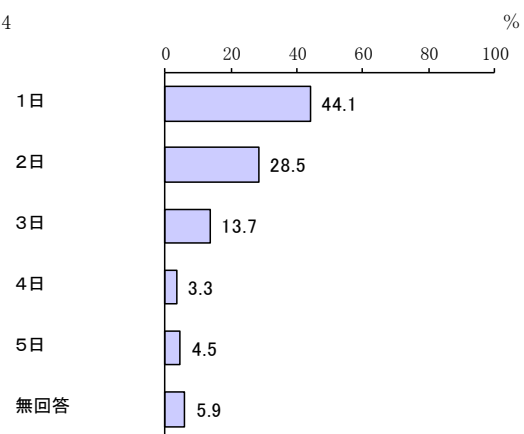
回答者数 = 108



⑩ 公園

「1日」の割合が44.1%と最も高く、次いで
「2日」の割合が28.5%、「3日」の割合が13.7%
となっています。

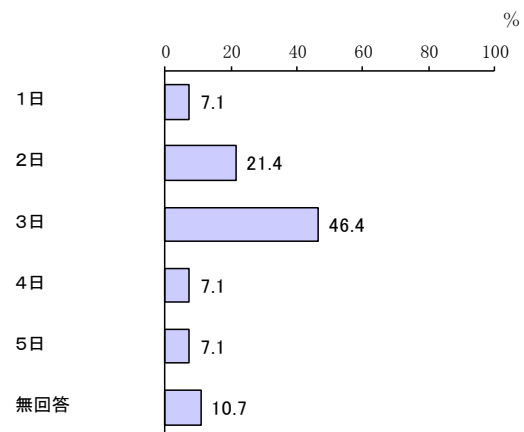
回答者数 = 424



⑪ 放課後等デイサービス

「3日」の割合が46.4%と最も高く、次いで
「2日」の割合が21.4%となっています。

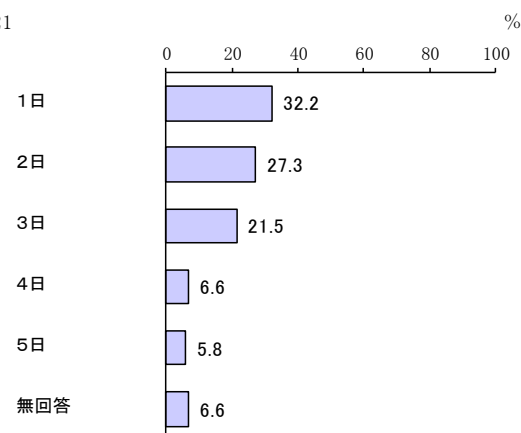
回答者数 = 28



⑫ その他

「1日」の割合が32.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が27.3%、「3日」の割合が21.5%となっています。

回答者数 = 121



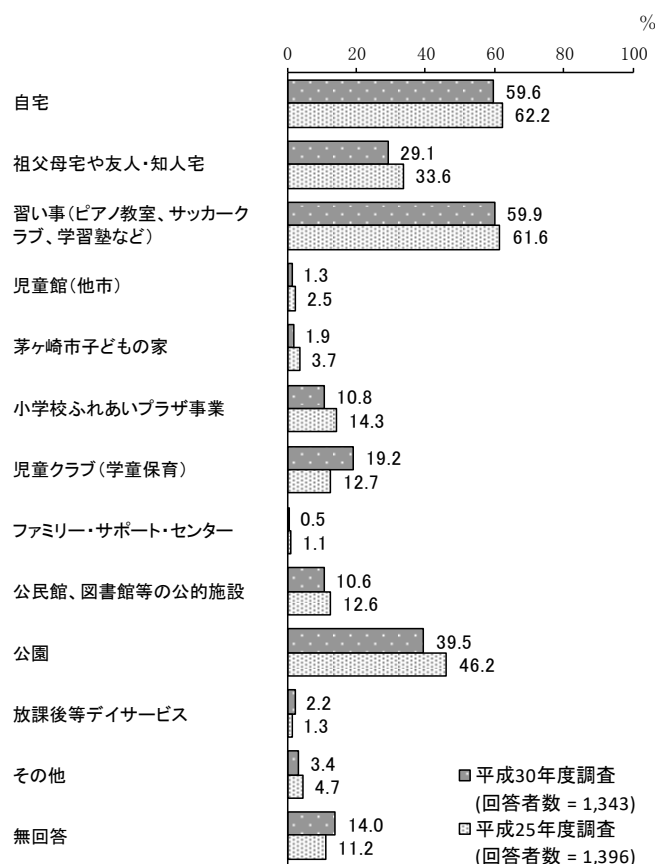
問 16 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたい、過ごさせたかと思っていますか。

また、小学校高学年（4～6年生）では、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

（1）小学校低学年（1～3年生）希望

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が59.9%と最も高く、次いで「自宅」の割合が59.6%、「公園」の割合が39.5%となっています。

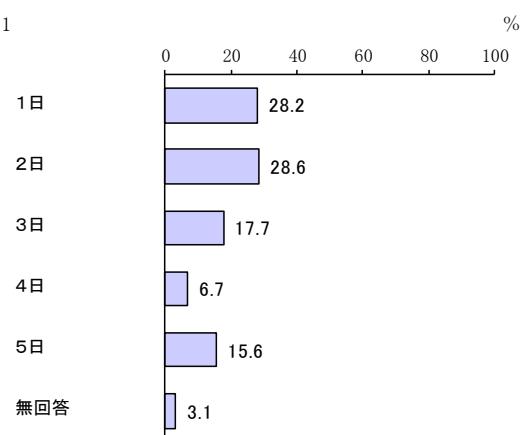
平成25年度調査と比較すると、「児童クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「公園」の割合が減少しています。



① 自宅

「2日」の割合が28.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が28.2%、「3日」の割合が17.7%となっています。

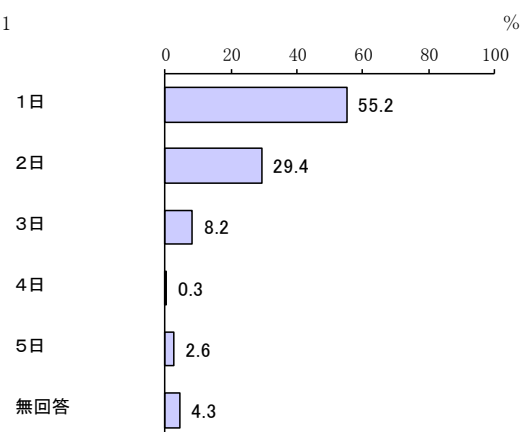
回答者数 = 801



② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が55.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が29.4%となっています。

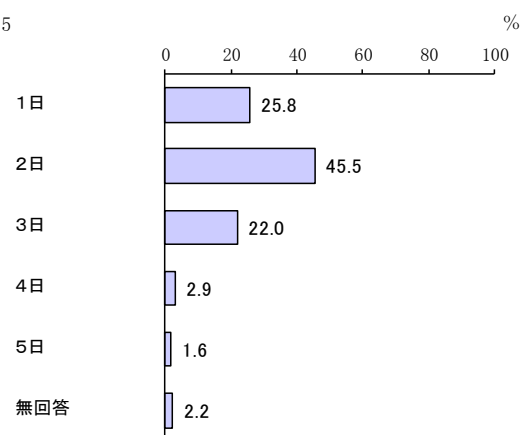
回答者数 = 391



③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が45.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が25.8%、「3日」の割合が22.0%となっています。

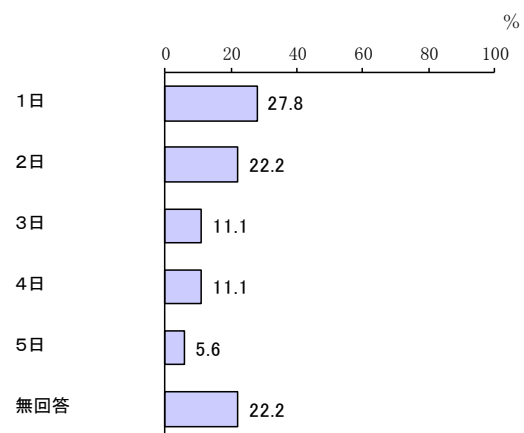
回答者数 = 805



④ 児童館（他市）

「1日」の割合が27.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.2%、「3日」、「4日」の割合が11.1%となっています。

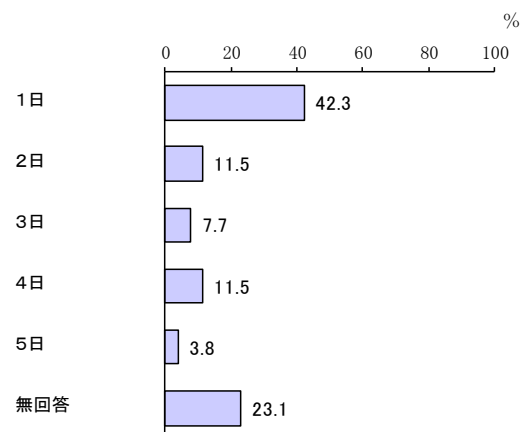
回答者数 = 18



⑤ 茅ヶ崎市子どもの家

「1日」の割合が42.3%と最も高く、次いで「2日」、「4日」の割合が11.5%となっています。

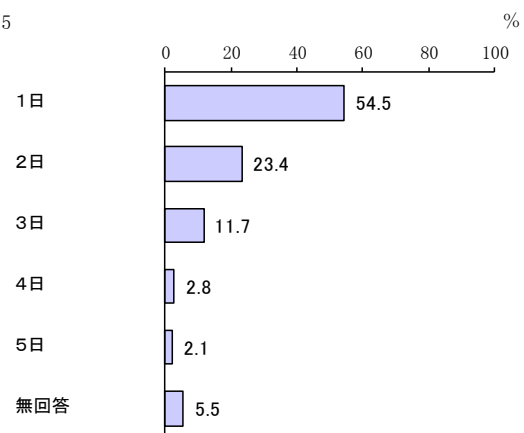
回答者数 = 26



⑥ 小学校ふれあいプラザ事業

「1日」の割合が54.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.4%、「3日」の割合が11.7%となっています。

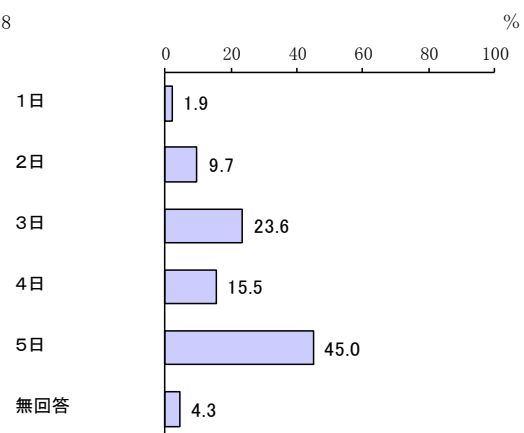
回答者数 = 145



⑦ 児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が45.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が23.6%、「4日」の割合が15.5%となっています。

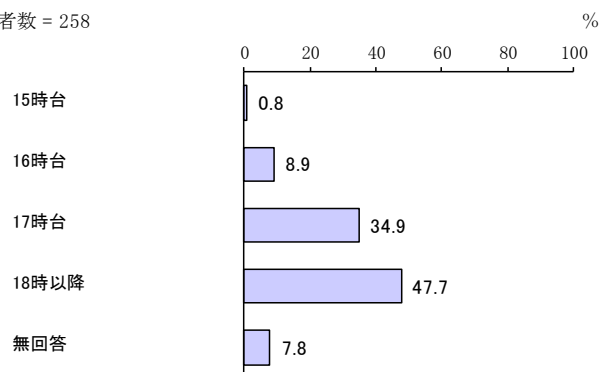
回答者数 = 258



児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

「18時以降」の割合が47.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が34.9%となっています。

回答者数 = 258



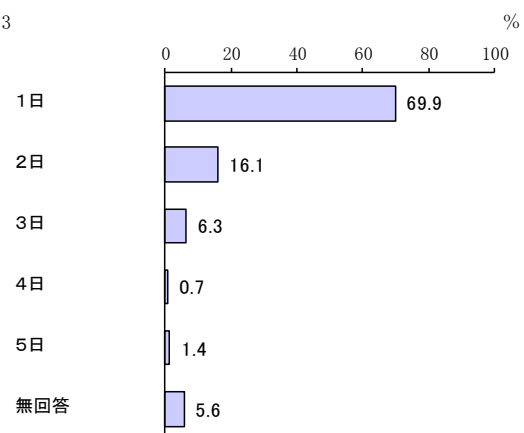
⑧ ファミリー・サポート・センター

「1日」、「2日」が2件、「5日」が1件となっています。

⑨ 公民館、図書館等の公的施設

「1日」の割合が69.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.1%となっています。

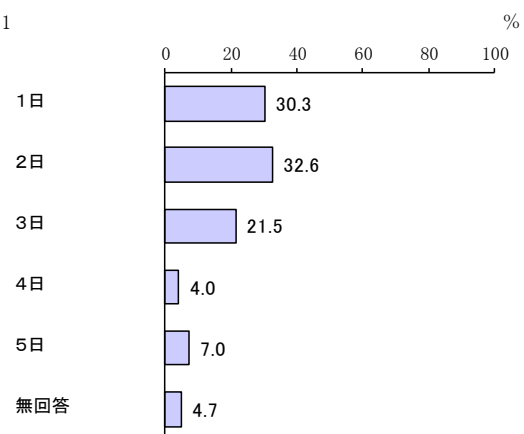
回答者数 = 143



⑩ 公園

「2日」の割合が32.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が30.3%、「3日」の割合が21.5%となっています。

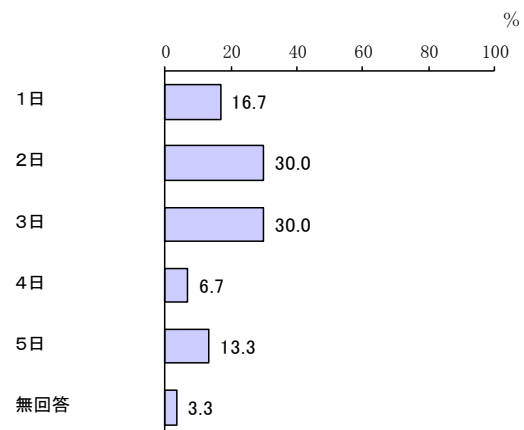
回答者数 = 531



⑪ 放課後等デイサービス

「2日」、「3日」の割合が30.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が16.7%となっています。

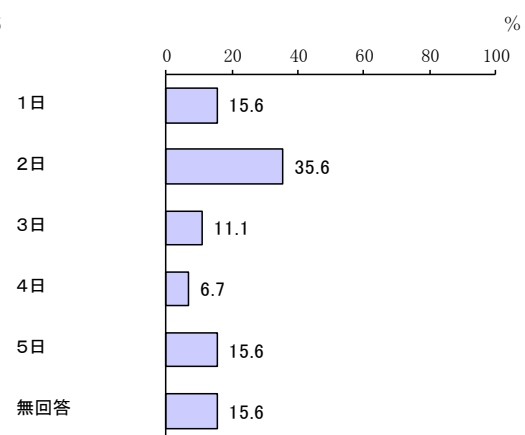
回答者数 = 30



⑫ その他

「2日」の割合が35.6%と最も高く、次いで「1日」、「5日」の割合が15.6%となっています。

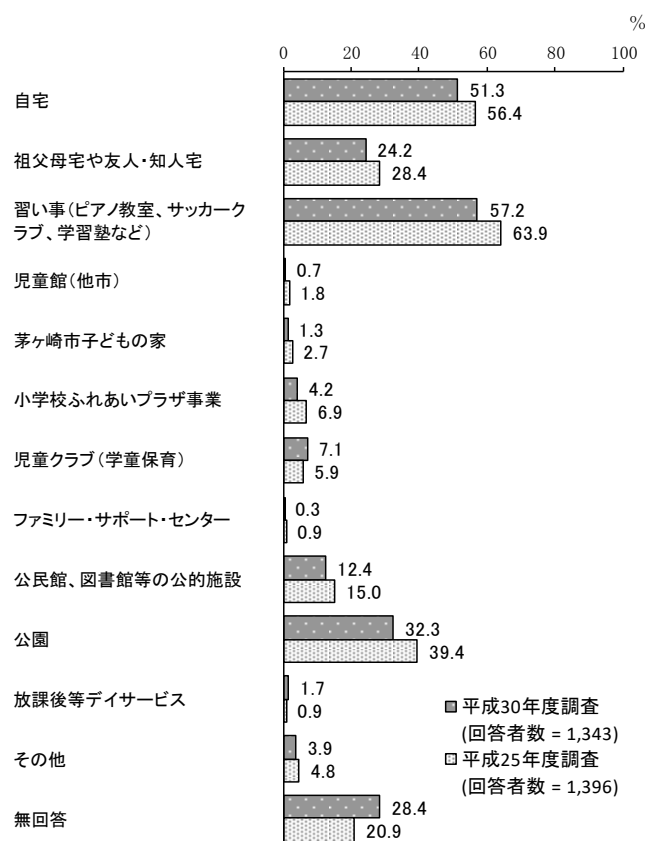
回答者数 = 45



(2) 小学校高学年（4～6年生）希望

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が57.2%と最も高く、次いで「自宅」の割合が51.3%、「公園」の割合が32.3%となっています。

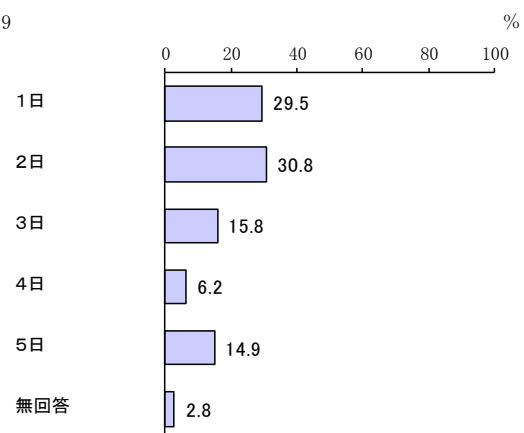
平成25年度調査と比較すると、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「公園」の割合が減少しています。



① 自宅

「2日」の割合が30.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が29.5%、「3日」の割合が15.8%となっています。

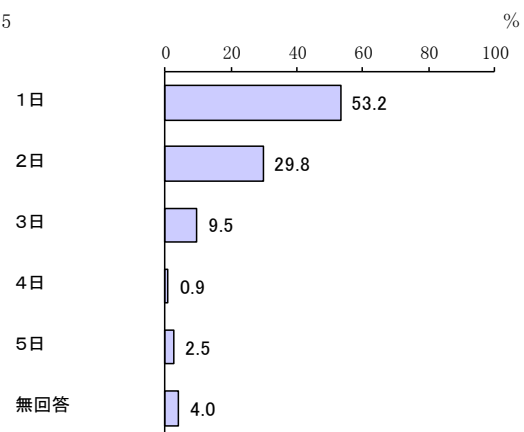
回答者数 = 689



② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が53.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が29.8%となっています。

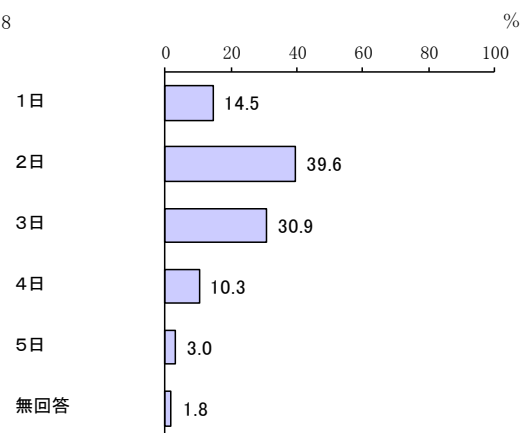
回答者数 = 325



③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が39.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が30.9%、「1日」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 768



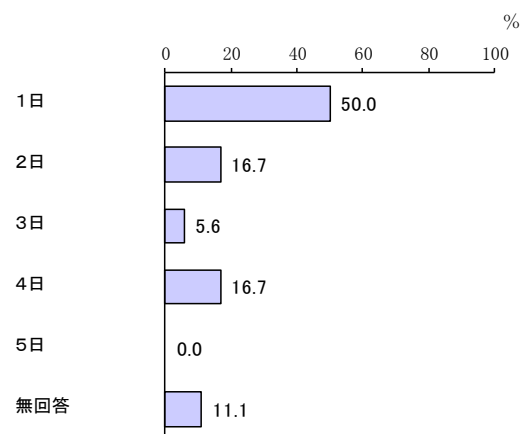
④ 児童館（他市）

「1日」が3件、「2日」が2件、「3日」、「4日」が1件となっています。

⑤ 茅ヶ崎市子どもの家

「1日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2日」、「4日」の割合が16.7%となっています。

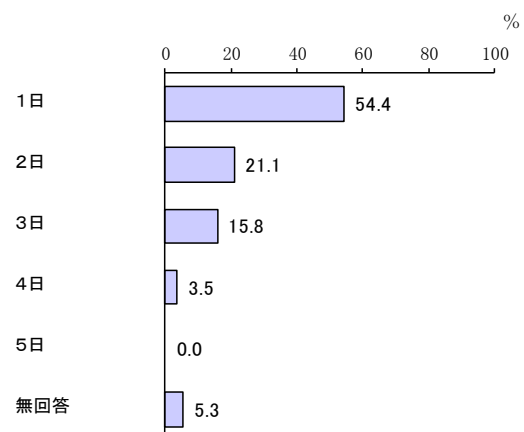
回答者数 = 18



⑥ 小学校ふれあいプラザ事業

「1日」の割合が54.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.1%、「3日」の割合が15.8%となっています。

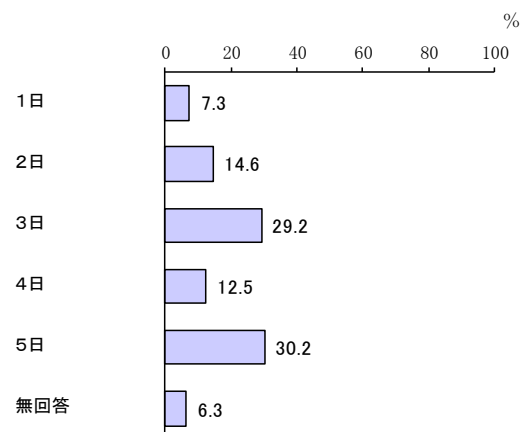
回答者数 = 57



⑦ 児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が30.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が29.2%、「2日」の割合が14.6%となっています。

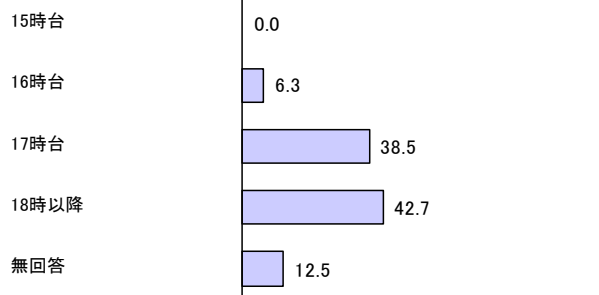
回答者数 = 96



児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

「18 時以降」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 38.5%となっています。

回答者数 = 96



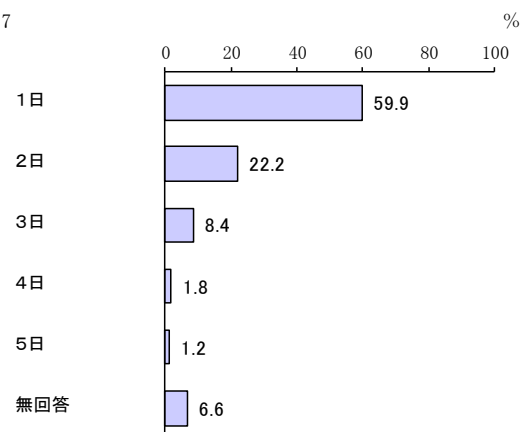
⑧ ファミリー・サポート・センター

「1 日」が 2 件、「5 日」が 1 件となっています。

⑨ 公民館、図書館等の公的施設

「1 日」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 22.2%となっています。

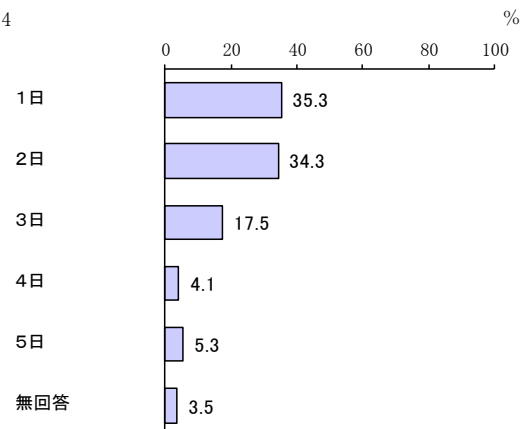
回答者数 = 167



⑩ 公園

「1 日」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 34.3%、「3 日」の割合が 17.5%となっています。

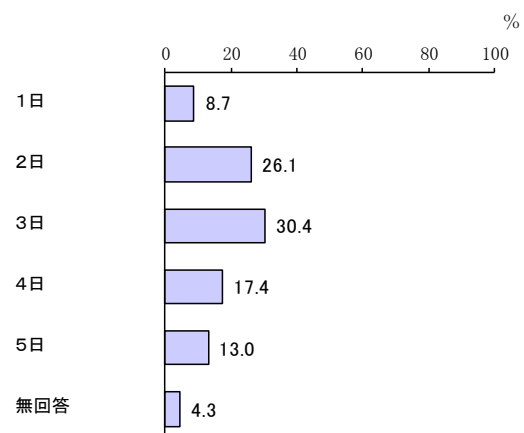
回答者数 = 434



⑪ 放課後等デイサービス

「3日」の割合が30.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.1%、「4日」の割合が17.4%となっています。

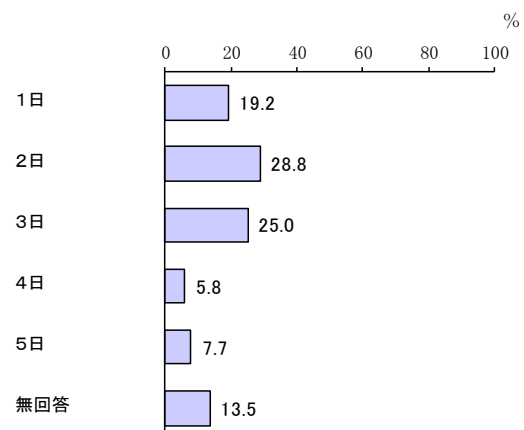
回答者数 = 23



⑫ その他

「2日」の割合が28.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が25.0%、「1日」の割合が19.2%となっています。

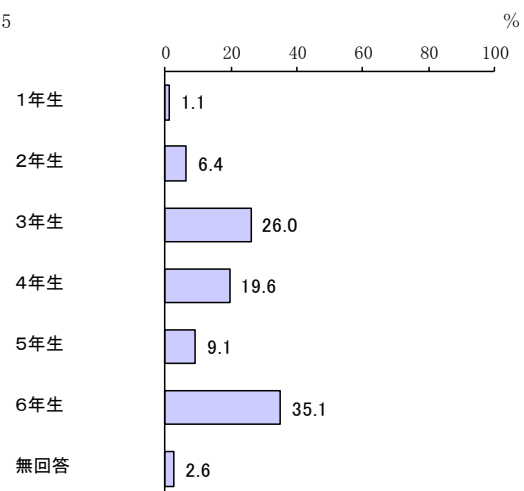
回答者数 = 52



問16-1 問16で「7. 児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。何年生まで児童クラブ（学童保育）を利用したいですか。（（ ）内に数字を記入）

「6年生」の割合が35.1%と最も高く、次いで「3年生」の割合が26.0%、「4年生」の割合が19.6%となっています。

回答者数 = 265

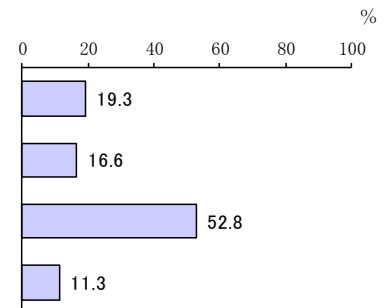


問 17 問 15 または問 16 で「7. 児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、土曜日に、児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1つだけに○）
また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「利用する必要はない」の割合が52.8%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」の割合が19.3%、「高学年（4～6年生）も利用したい」の割合が16.6%となっています。

回答者数 = 301

低学年(1～3年生)の間だけ利用したい
高学年(4～6年生)も利用したい
利用する必要はない
無回答

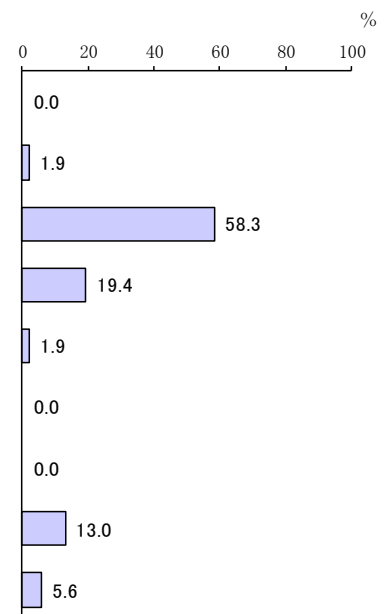


ア 開始時刻

「8時台」の割合が58.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が19.4%、「13時以降」の割合が13.0%となっています。

回答者数 = 108

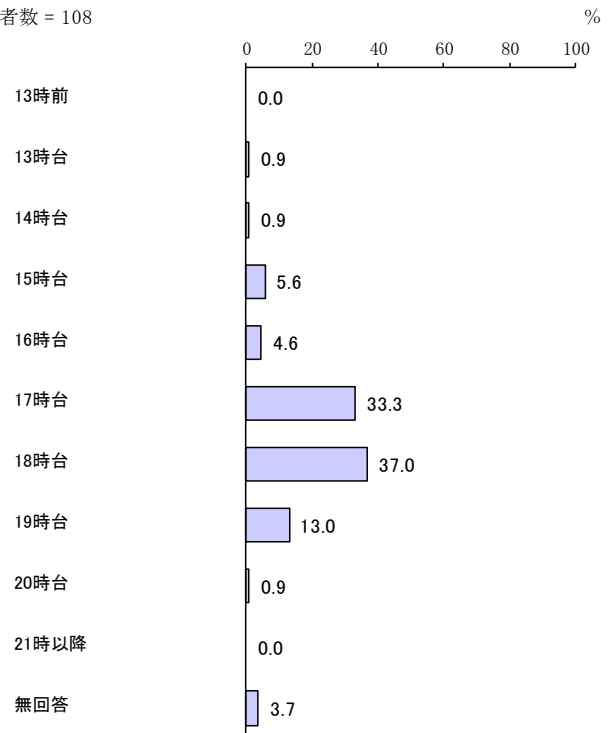
7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答



イ 終了時刻

「18 時台」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 33.3%、「19 時台」の割合が 13.0%となっています。

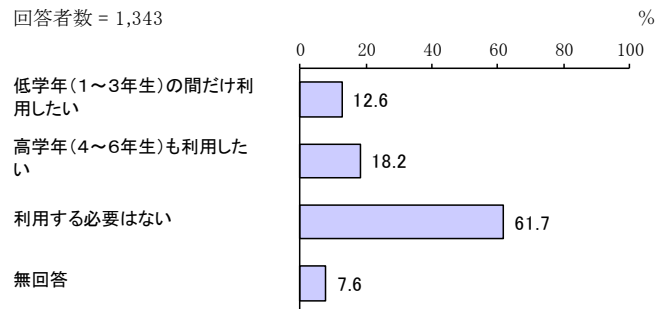
回答者数 = 108



問 18 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1つだけに○）
また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「利用する必要はない」の割合が 61.7%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）も利用したい」の割合が 18.2%、「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」の割合が 12.6%となっています。

回答者数 = 1,343



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「高学年（４～６年生）も利用したい」の割合が、パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「低学年（１～３年生）の間だけ利用したい」の割合が高くなっています。

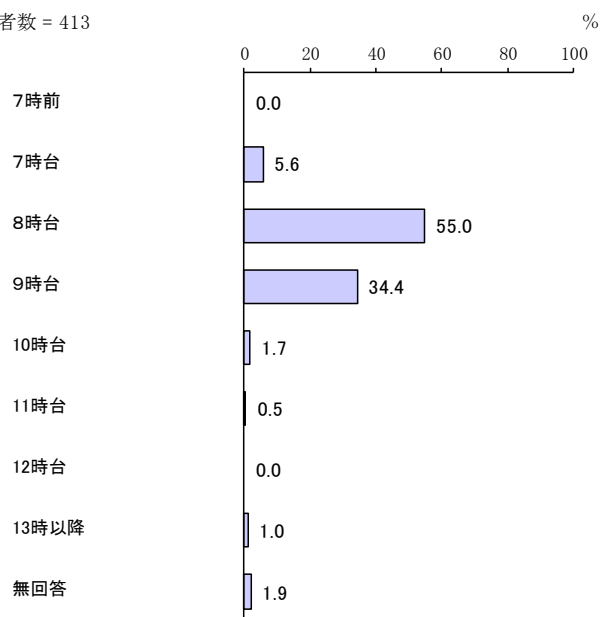
単位：％

区分	回答者数 (件)	低学年 (１～３年 生)の間 だけ利用 したい	高学年 (４～６年 生)も利 用したい	利用 する必 要はな い	無 回 答
フルタイム(１週５日程度・１日８時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	300	19.0	36.3	35.7	9.0
フルタイム(１週５日程度・１日８時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	8.3	58.3	25.0	8.3
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	608	12.3	16.1	65.1	6.4
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	40.0	10.0	50.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	339	8.8	7.7	79.1	4.4
これまで就労したことがない	47	2.1	4.3	80.9	12.8

ア 開始時刻

「8 時台」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 34.4%となっています。

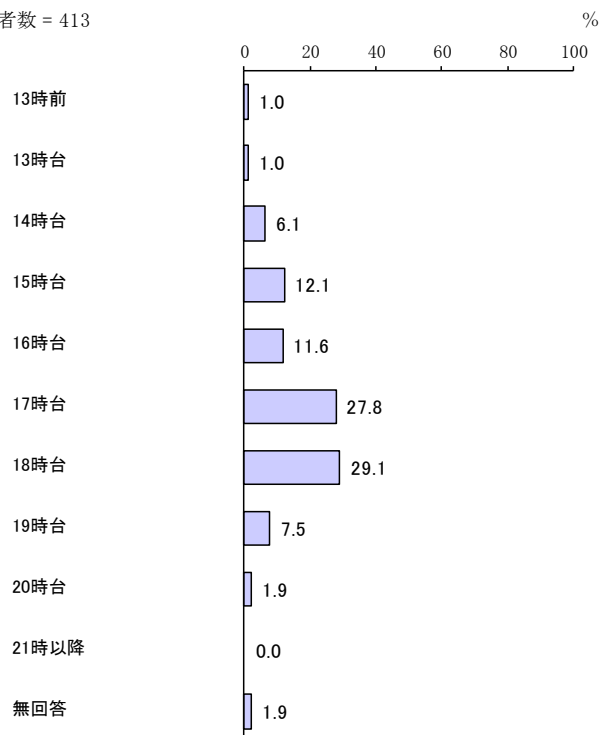
回答者数 = 413



イ 終了時刻

「18 時台」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 27.8%、「15 時台」の割合が 12.1%となっています。

回答者数 = 413

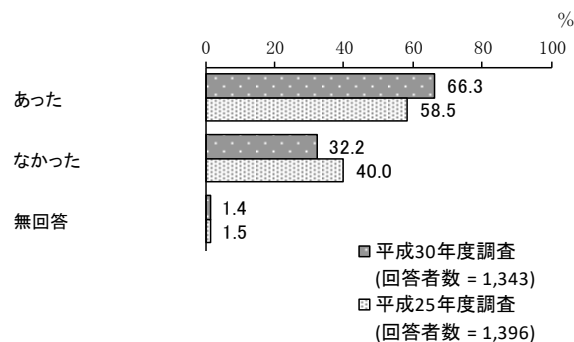


（５）宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 19 この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありますか。（１つだけに○）

「あった」の割合が 66.3%、「なかった」の割合が 32.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、7 歳（2 年生）で「あった」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
6 歳(1 年生)	231	64.9	34.6	0.4
7 歳(2 年生)	225	74.7	24.9	0.4
8 歳(3 年生)	236	68.2	31.4	0.4
9 歳(4 年生)	223	64.1	34.1	1.8
10 歳(5 年生)	201	69.2	30.8	—
11 歳(6 年生)	199	60.3	38.2	1.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、これまで就労したことがないで「あった」の割合が低くなっています。

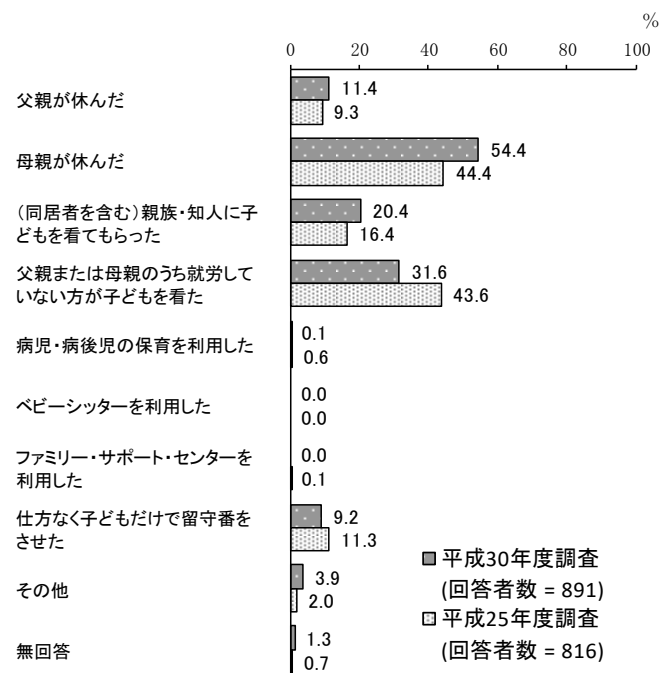
単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	300	70.3	29.0	0.7
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	66.7	33.3	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	608	66.9	32.2	0.8
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	50.0	50.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	339	65.2	34.2	0.6
これまで就労したことがない	47	59.6	40.4	—

問 19－ 1 この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

「母親が休んだ」の割合が54.4％と最も高く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」の割合が31.6％、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が20.4％となっています。

平成25年度調査と比較すると、「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、6歳（1年生）、9歳（4年生）で「母親が休んだ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもを看てもらった （同居者を含む）親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
6歳（1年生）	150	16.0	49.3	21.3	35.3	—	—	—	2.7	2.7	1.3
7歳（2年生）	168	15.5	57.1	19.6	31.0	—	—	—	4.8	3.6	1.2
8歳（3年生）	161	11.8	58.4	18.6	30.4	—	—	—	11.8	2.5	1.9
9歳（4年生）	143	7.0	49.7	23.8	32.2	0.7	—	—	12.6	7.7	1.4
10歳（5年生）	139	10.1	56.1	17.3	33.1	—	—	—	10.1	3.6	0.7
11歳（6年生）	120	6.7	55.0	21.7	29.2	—	—	—	14.2	4.2	0.8

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがないで「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもを看てもらった (同居者を含む) 親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	211	27.5	74.4	35.5	5.2	—	—	—	9.0	3.3	0.5
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	25.0	62.5	50.0	25.0	—	—	—	—	—	12.5
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	407	6.9	70.0	21.1	15.5	0.2	—	—	14.3	5.4	0.5
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5	40.0	80.0	40.0	20.0	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	221	4.5	14.0	3.6	81.4	—	—	—	2.3	1.8	2.7
これまで就労したことがない	28	3.6	10.7	3.6	82.1	—	—	—	—	—	3.6

1 年間の対処方法の日数

1 年間の対処方法としては、『8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた』で「1 日」の割合が高くなっています。

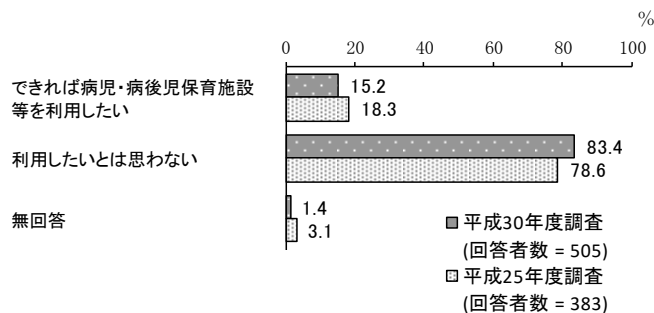
単位：％

区分	回答者数 (件)	1 日	2 ～ 3 日	4 ～ 5 日	6 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 日 以上	無 回 答
1. 父親が休んだ	102	36.3	44.1	9.8	2.0	2.0	—	5.9
2. 母親が休んだ	485	16.9	43.5	21.2	6.6	6.4	1.6	3.7
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもを 看てもらった	182	29.1	41.8	14.3	3.3	7.1	0.5	3.8
4. 父親または母親のうち就労していない 方が子どもを看た	282	16.7	28.7	21.3	8.9	13.1	2.8	8.5
5. 病児・病後児の保育を利用した	1	—	—	—	—	—	—	100.0
6. ベビーシッターを利用した	—	—	—	—	—	—	—	—
7. ファミリー・サポート・センターを利用し た	—	—	—	—	—	—	—	—
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	82	45.1	42.7	4.9	—	1.2	1.2	4.9
9. その他	35	25.7	34.3	8.6	2.9	2.9	—	25.7

問 19－2 問 19－1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われ
 ましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数（1 年間当たり）につい
 ても（ ）内に数字でご記入ください。
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利
 用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用した
 い」の割合が 15.2%、「利用したいとは思わない」
 の割合が 83.4%となっています。

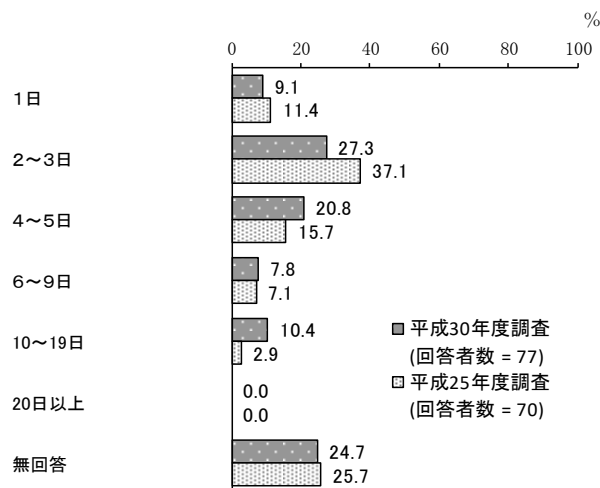
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「2～3 日」の割合が 27.3%と最も高く、次い
 で「4～5 日」の割合が 20.8%、「10～19 日」の
 割合が 10.4%となっています。

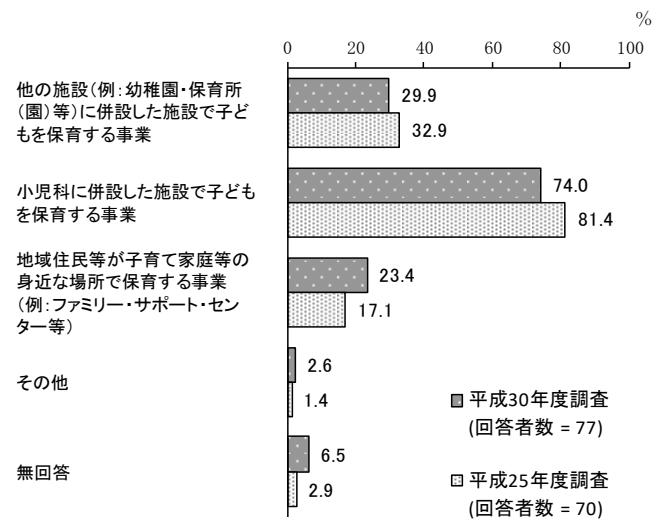
平成 25 年度調査と比較すると、「4～5 日」「10
 ～19 日」の割合が増加しています。一方、「2～
 3 日」の割合が減少しています。



問 19－3 問 19－2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 74.0%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所（園）等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 29.9%、
「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 23.4%となっています。

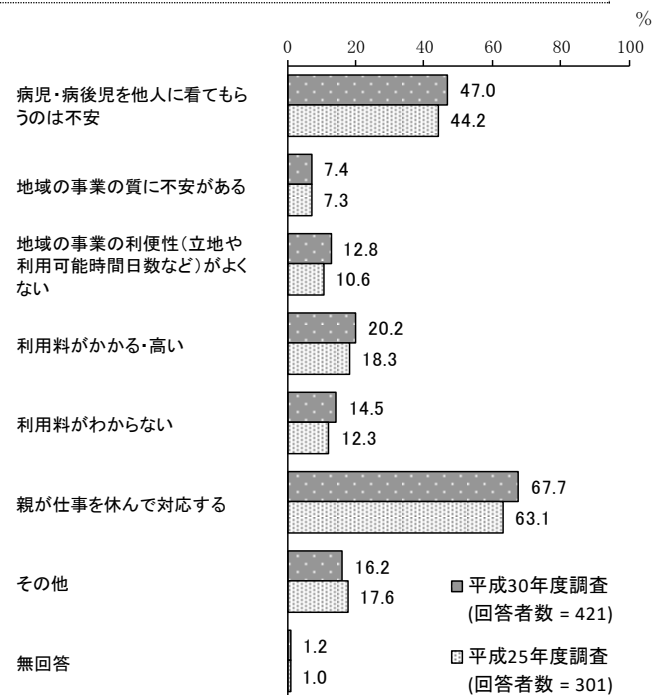
平成 25 年度調査と比較すると、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が増加しています。一方、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。



問 19－4 問 19－2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そのように思われる理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

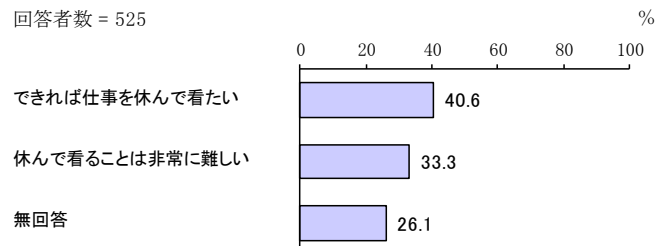
「親が仕事を休んで対応する」の割合が 67.7%
と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看て
もらうのは不安」の割合が 47.0%、「利用料がか
かる・高い」の割合が 20.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問 19－5 問 19－1で「3.」から「9.」のいずれかに回答した方にうかがいます。
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われました
か。あてはまる番号1つに○をつけ、問 19－1の「3.」から「9.」の日数
のうち、仕事を休んで看たかった日数も数字でご記入ください。
（ただし、問 19-1で「4. 父親または母親のうち就労していない方が子ど
もを看た」を選んだ方は、働いている方についてお答えください。）

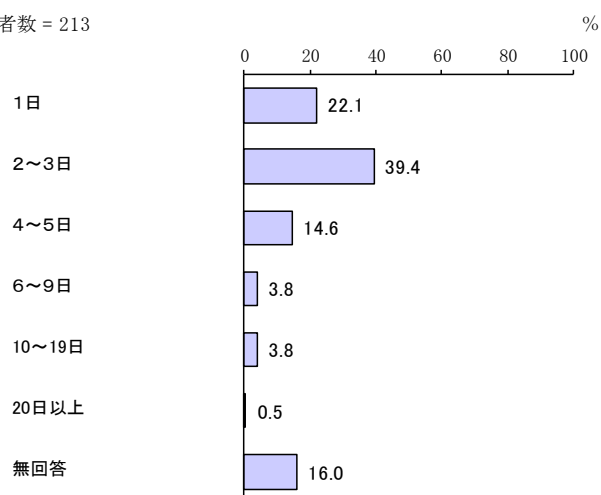
「できれば仕事を休んで看たい」の割合が
40.6%、「休んで看ることは非常に難しい」の割
合が 33.3%となっています。



できれば仕事を休んで看たい日数

「2～3日」の割合が39.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.1%、「4～5日」の割合が14.6%となっています。

回答者数 = 213



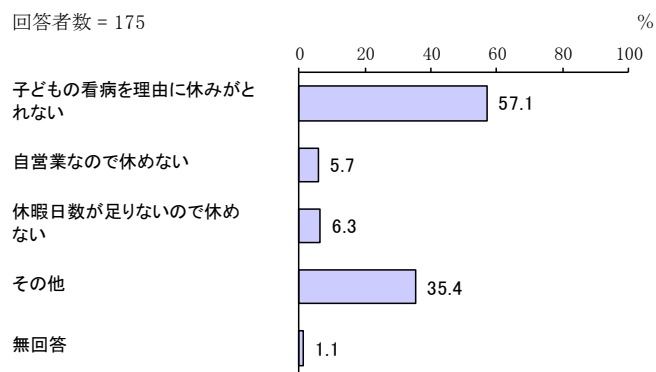
問 19－6 問 19－5で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「子どもの看病を理由に休みがとれない」の割合が57.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 175

【主なその他の意見】

- ・仕事が忙しくて休めない
- ・自分の代わりに出勤してもらう人が少なく迷惑をかけたくない
- ・職場に言いづらい
- ・日給月給なので、給料が減ってしまう
- ・現場責任者なので休みづらい

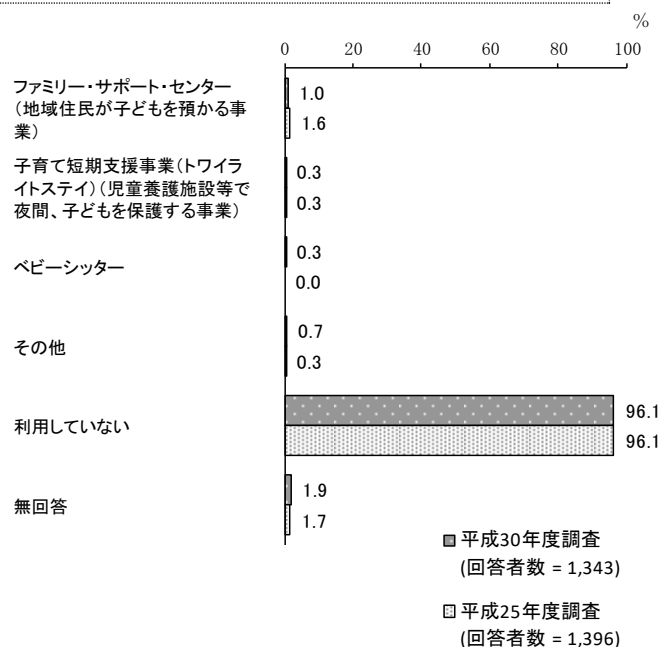


(6) 宛名のお子さんの不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が96.1%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用している事業・日数（年間）

利用している事業としては、『1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）』で「2～3日」の割合が高くなっています。

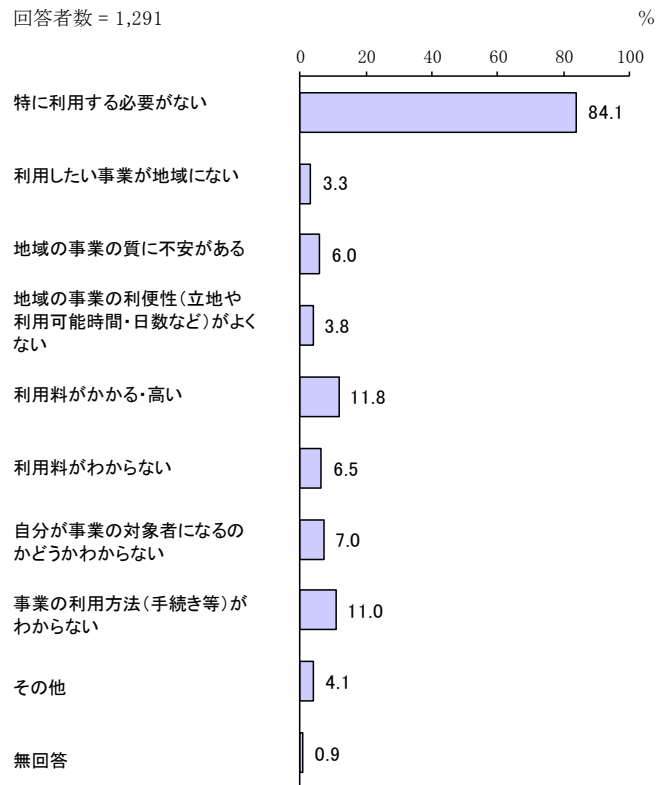
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2 ～ 3日	4 ～ 5日	6 ～ 9日	10 ～ 19日	20 日 以上	無 回 答
1. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	14	14.3	28.6	14.3	—	—	21.4	21.4
2. 子育て短期支援事業(トワイライトステイ) (児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業)	4	25.0	25.0	—	—	25.0	—	25.0
3. ベビーシッター	4	25.0	—	—	—	—	50.0	25.0
4. その他	9	—	11.1	22.2	—	11.1	33.3	22.2

問 20－1 問 20 で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「特に利用する必要がない」の割合が 84.1%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 11.8%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 11.0%となっています。

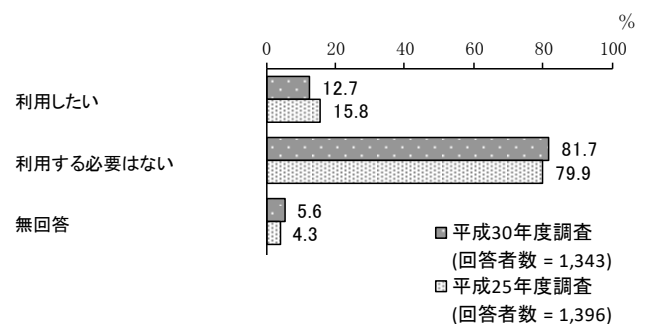
回答者数 = 1,291



問 21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 12.7%、「利用する必要はない」の割合が 81.7%となっています。

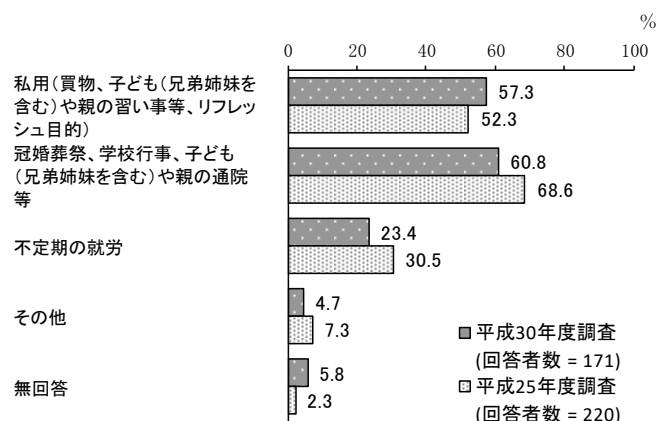
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用したい目的

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が 57.3%、「不定期の就労」の割合が 23.4%となっています。

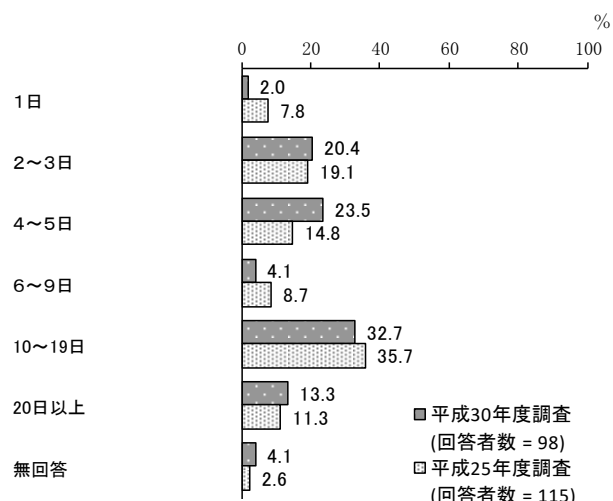
平成 25 年度調査と比較すると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」「不定期の就労」の割合が減少しています。



（ア）私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）

「10～19 日」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「4～5 日」の割合が 23.5%、「2～3 日」の割合が 20.4%となっています。

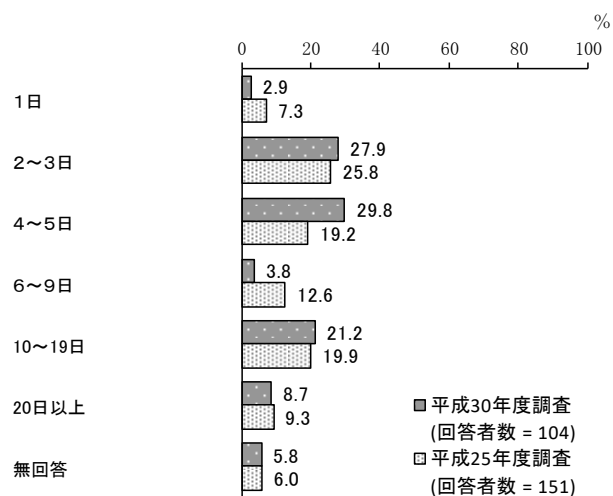
平成 25 年度調査と比較すると、「4～5 日」の割合が増加しています。一方、「1 日」の割合が減少しています。



（イ）冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「4～5 日」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「2～3 日」の割合が 27.9%、「10～19 日」の割合が 21.2%となっています。

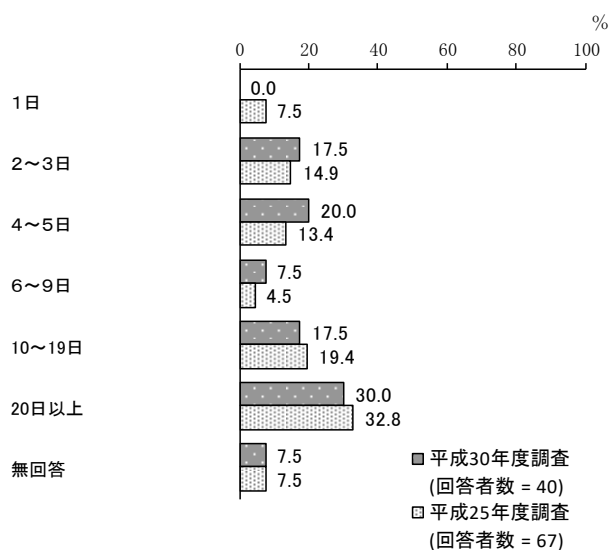
平成 25 年度調査と比較すると、「4～5 日」の割合が増加しています。一方、「6～9 日」の割合が減少しています。



(ウ) 不定期の就労

「20 日以上」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「4～5 日」の割合が 20.0%、「2～3 日」、「10～19 日」の割合が 17.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「4～5 日」の割合が増加しています。一方、「1 日」の割合が減少しています。



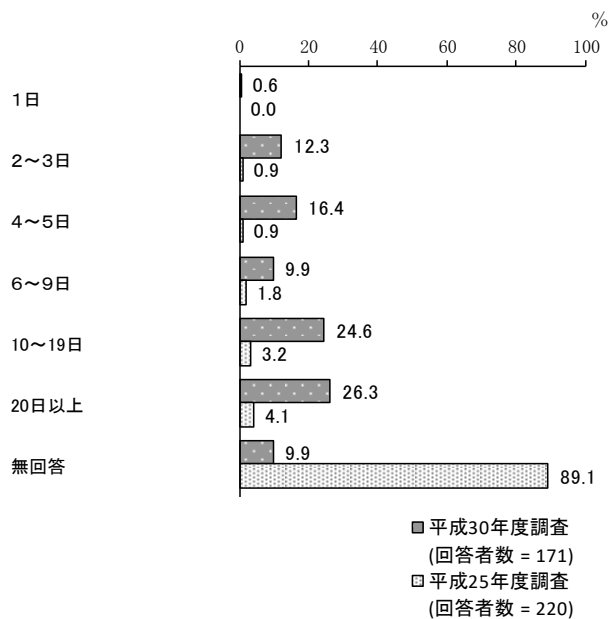
(エ) その他

「20 日以上」が 5 件、「1 日」、「2～3 日」、「4～5 日」が 1 件となっています。

(オ) 合計日数

「20 日以上」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「10～19 日」の割合が 24.6%、「4～5 日」の割合が 16.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「2～3 日」「4～5 日」「6～9 日」「10～19 日」「20 日以上」の割合が増加しています。



問 21－1 問 21 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、事業別の利用したい日数を（ ）内に数字でご記入ください。

「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」の割合が 73.7%と最も高く、次いで「子育て短期支援事業（トワイライトステイ）（児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業）」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 171

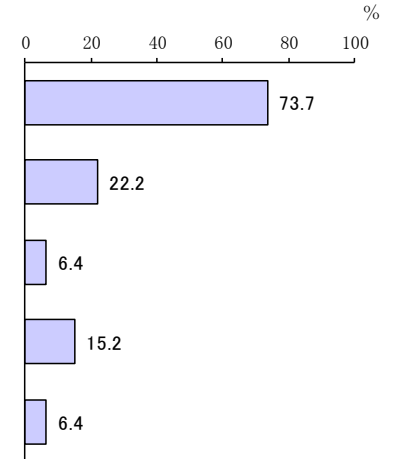
ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業）

子育て短期支援事業（トワイライトステイ）（児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業）

ベビーシッター

その他

無回答



利用している事業・日数（年間）

利用している事業としては、『2. 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）（児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業）』で「2～3日」の割合が、『3. ベビーシッター』で「20日以上」の割合が高くなっています。

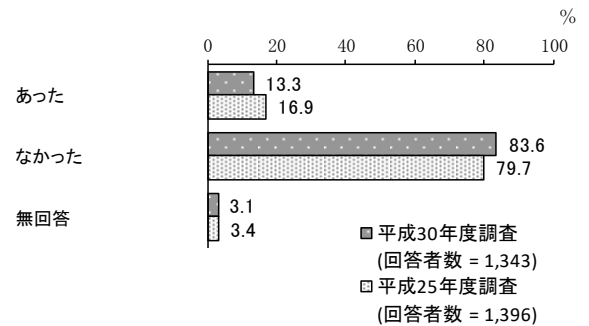
単位：％

区分	回答者数（件）	1日	2～3日	4～5日	6～9日	10～19日	20日以上	無回答
1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	126	2.4	13.5	15.1	4.8	22.2	17.5	24.6
2. 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）（児童養護施設等で夜間、子どもを保護する事業）	38	5.3	31.6	28.9	5.3	10.5	10.5	7.9
3. ベビーシッター	11	－	－	27.3	9.1	－	54.5	9.1
4. その他	26	3.8	11.5	11.5	3.8	7.7	30.8	30.8

問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が13.3%、「なかった」の割合が83.6%となっています。

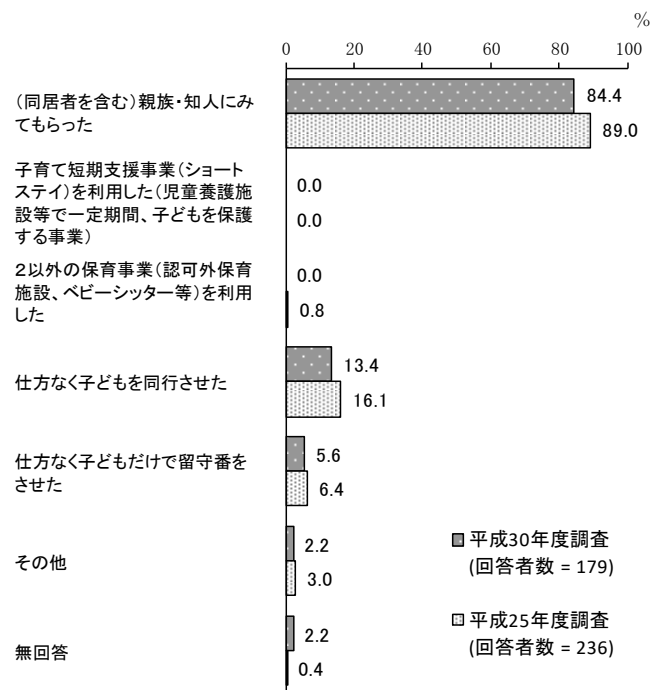
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



泊りがけで家族以外にみてもらうことがあった場合の1年間の対処方法

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が84.4%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が13.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



対処方法の日数

対処方法としては、『4 仕方なく子どもを同行させた』『5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた』で「1泊」の割合が高くなっています。

単位：％

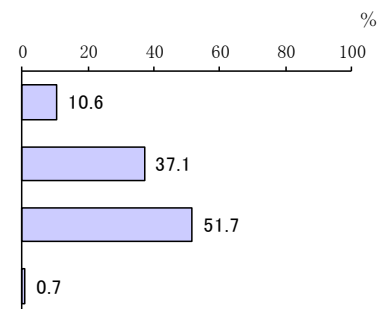
区分	回答者数 (件)	1泊	2泊 ～ 3泊	4泊 ～ 5泊	6泊 ～ 9泊	10泊 ～ 19泊	20泊 以上	無回答
1 (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	151	21.9	23.8	9.9	8.6	7.9	4.6	23.2
2 子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	-	-	-	-	-	-	-	-
3 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
4 仕方なく子どもを同行させた	24	45.8	20.8	-	8.3	-	-	25.0
5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	10	60.0	-	-	-	10.0	-	30.0
6 その他	4	-	25.0	-	-	50.0	-	25.0

問 22－1 問 22 で「1. あった 1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。
(1 つだけに○)

「特に困難ではない」の割合が 51.7% と最も高く、次いで「どちらかというと困難」の割合が 37.1%、「非常に困難」の割合が 10.6% となっています。

回答者数 = 151

非常に困難
どちらかというと困難
特に困難ではない
無回答

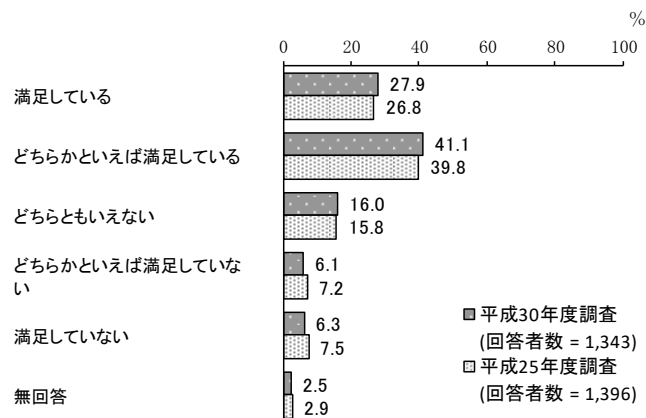


(7) 子どもの育ちをめぐる環境について

問 23 あなたは、子どもを育てている現在の生活に、満足していますか。
(1つだけに○)

「どちらかといえば満足している」の割合が41.1%と最も高く、次いで「満足している」の割合が27.9%、「どちらともいえない」の割合が16.0%となっています。

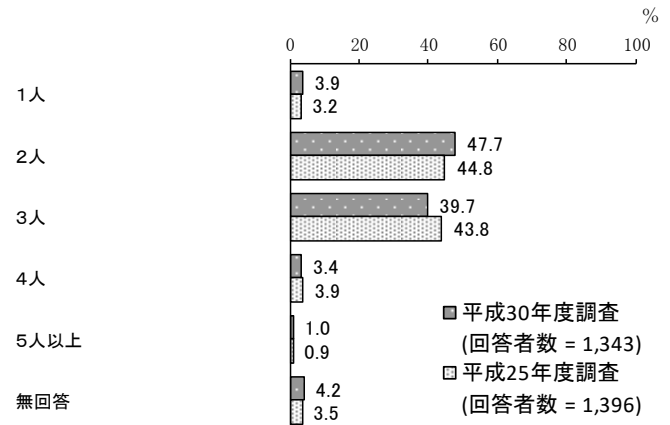
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 24 あなたにとって理想的な子どもの人数は何人ですか。また、あなたは全部で何人の子どもの持つつもりですか。「①理想的な子どもの人数」、「②持つつもりの子どもの人数」をそれぞれ数字で記入してください。

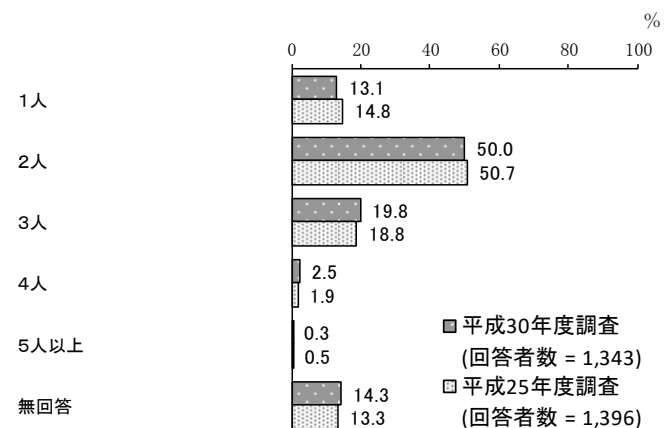
① 理想的な子どもの数

「2人」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が 39.7%となっています。
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



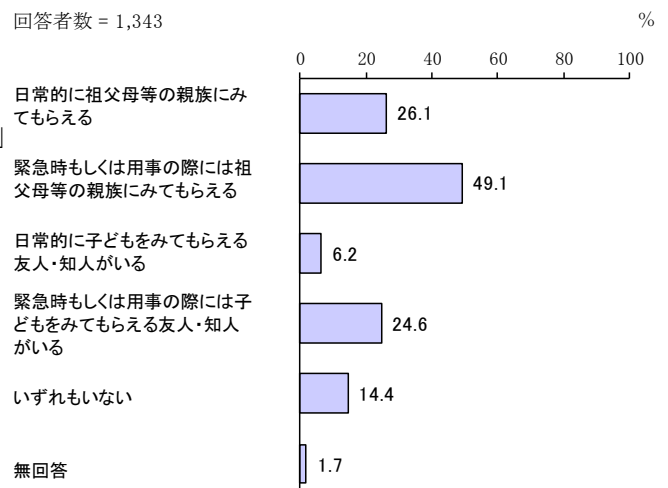
② 持つつもりの子どもの数

「2人」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「3人」の割合が 19.8%、「1人」の割合が 13.1%となっています。
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 25 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 26.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 24.6%となっています。



問 25－1 問 25 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 25.1%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 20.6%となっています。

回答者数 = 959

祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である

祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

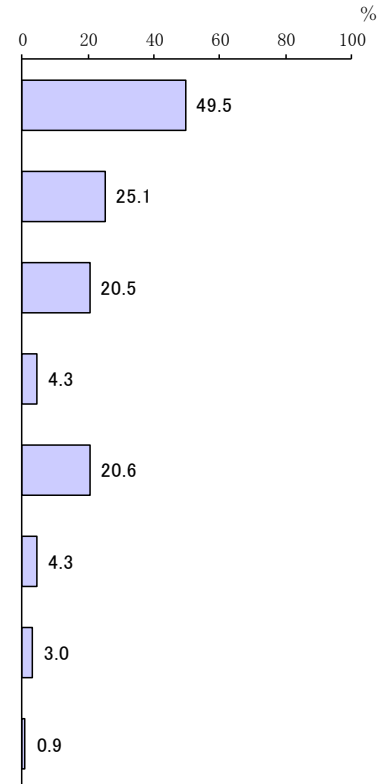
祖父母等の親族の経済的負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

無回答



問 25－2 問 25 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 37.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 23.5%となっています。

回答者数 = 392

友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

友人・知人の身体的負担が大きく心配である

友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

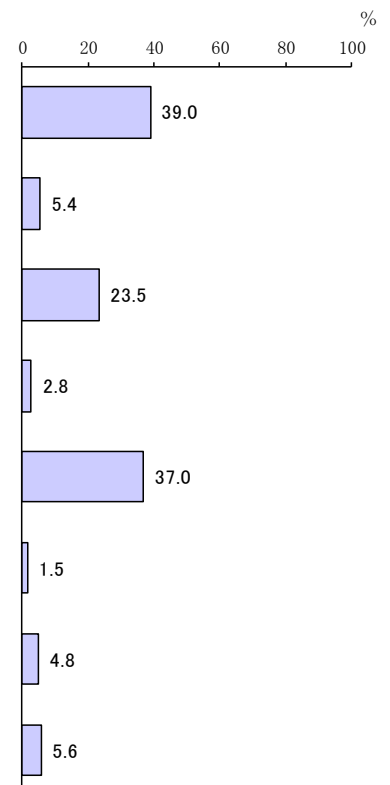
友人・知人の経済的負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

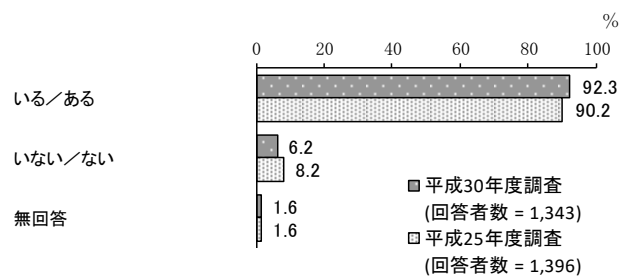
無回答



問 26 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（１つだけに○）

「いる／ある」の割合が 92.3%、「いない／ない」の割合が 6.2%となっています。

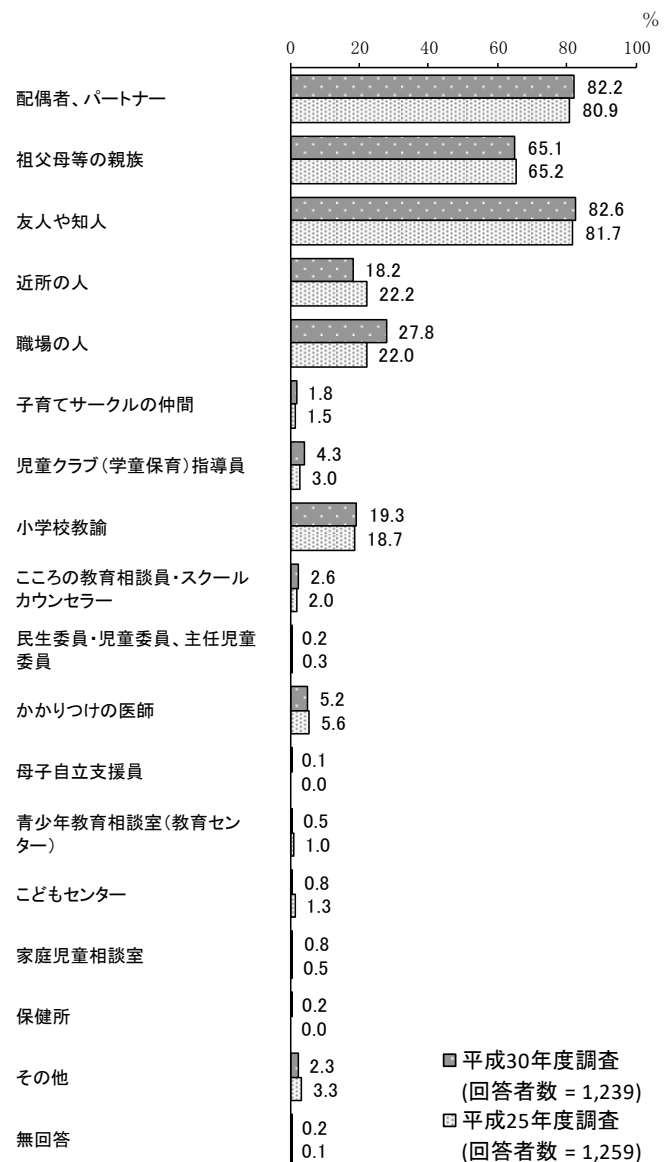
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 26－1 問 26 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「友人や知人」の割合が 82.6%と最も高く、次いで「配偶者、パートナー」の割合が 82.2%、「祖父母等の親族」の割合が 65.1%となっています。

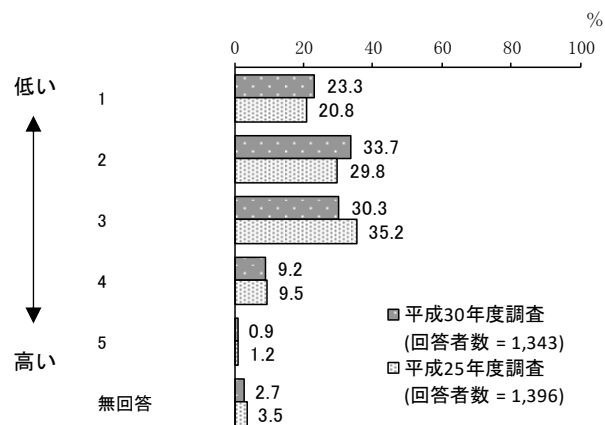
平成 25 年度調査と比較すると、「職場の人」の割合が増加しています。



問 27 茅ヶ崎市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
(1つだけに○)

「2」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「3」の割合が 30.3%、「1」の割合が 23.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 27－1 問 27 で、そのようにお答えになった理由をお書きください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は1,567件でした。回答の主な内容は、下記のとおりです。
なお、「医療費助成、医療体制の充実に関すること」が 507 件と最も多くなっています。

【小学校生活に関する要望・意見】

①児童クラブ（学童保育）に関すること	107 件
②小学校に関すること	85 件
③児童館に関すること	23 件
④その他	6 件

【子育て支援全般に関する要望・意見】

①医療費助成、医療体制の充実に関すること	507 件
②子ども自身や子どもと一緒に利用する事業の充実に関すること	34 件
③子育て情報の充実に関すること	27 件
④手当・補助制度の充実、費用負担に関すること	14 件
⑤一時預かり事業の充実に関すること	11 件
⑥障害児への支援の充実に関すること	10 件
⑦その他の子育て支援サービスに関すること	78 件

【子育て環境に関する要望・意見】

①子どもの遊び場の充実に関すること	199 件
②まちづくり、公共施設等に関すること	52 件
③その他	27 件

【教育・保育施設に対する要望・意見】

①施設整備に関すること	28 件
②その他	23 件

【その他】

①中学校の給食に関すること	189 件
②その他	147 件

問 28 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は 535 件でした。回答の主な内容は、下記のとおりです。なお、「子育て情報に関すること」が 74 件と最も多くなっています。

【小学校生活に関する要望・意見】

①小学校に関すること	56 件
②児童クラブ（学童保育）に関すること	44 件
③その他	11 件

【子育て支援全般に関する要望・意見】

①子育て情報の充実に関すること	74 件
②子ども自身や子どもと一緒に利用する事業の充実に関すること	32 件
③一時預かり事業の充実に関すること	28 件
④医療費助成、医療体制の充実について	26 件
⑤その他の子育て支援サービスに関すること	62 件

【子育て環境に関する要望・意見】

①まちづくり、公共施設等に関すること	30 件
②地域のつながり、協力等に関すること	30 件
③子どもの遊び場の充実に関すること	24 件
④その他	4 件

【子育て中の保護者の状況に関する要望・意見】

①子育てと仕事の両立に関すること	10 件
②その他	23 件

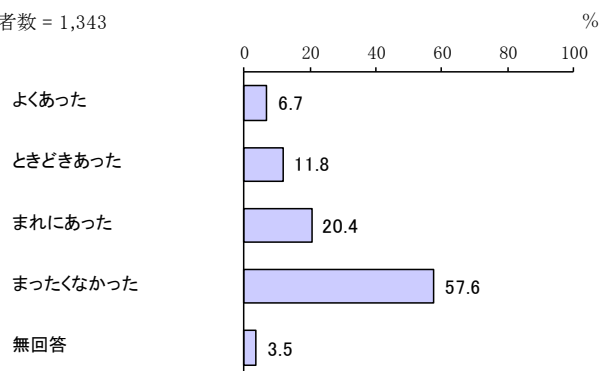
【その他】

①中学校の給食に関すること	28 件
②その他	53 件

問 29 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。（1 つだけに○）

「まったくなかった」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が 20.4%、「ときどきあった」の割合が 11.8%となっています。

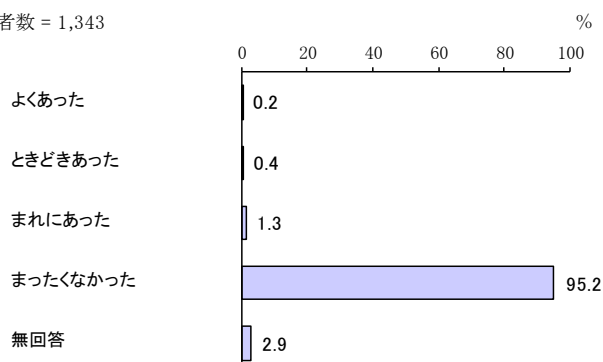
回答者数 = 1,343



問 30 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。（1 つだけに○）

「まったくなかった」の割合が 95.2%と最も高くなっています。

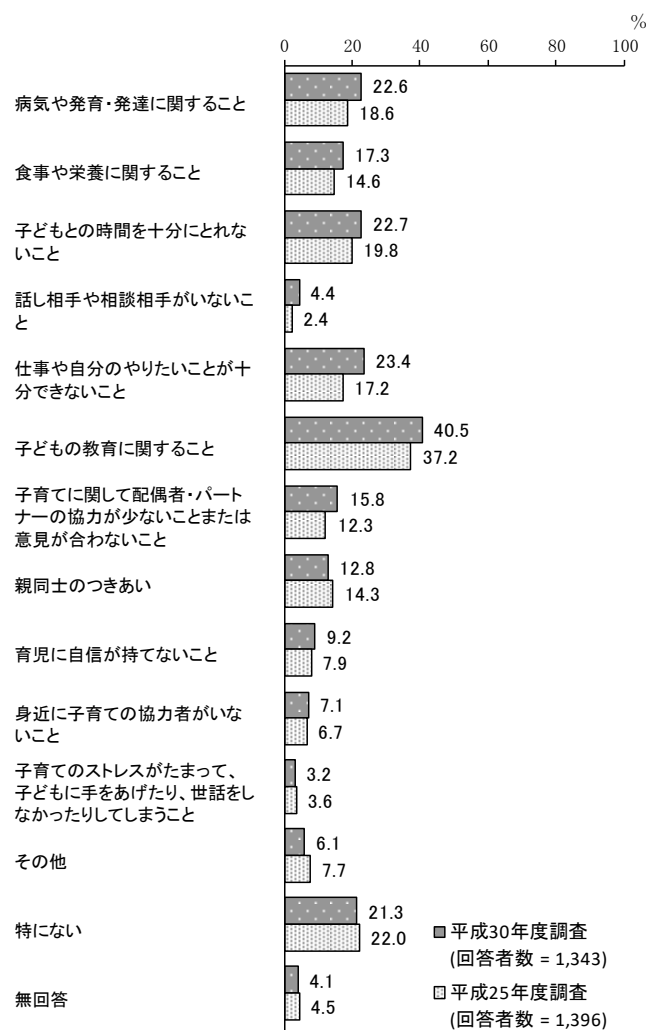
回答者数 = 1,343



問 31 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもの教育に関すること」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が 23.4%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」の割合が 22.7%となっています。

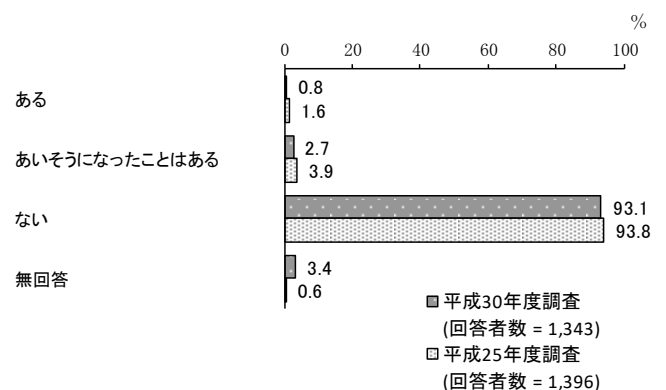
平成 25 年度調査と比較すると、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」の割合が増加しています。



問 32 宛名のお子さんが、犯罪の被害にあったことはありますか。（1つだけに○）

「ない」の割合が 93.1%と最も高くなっています。

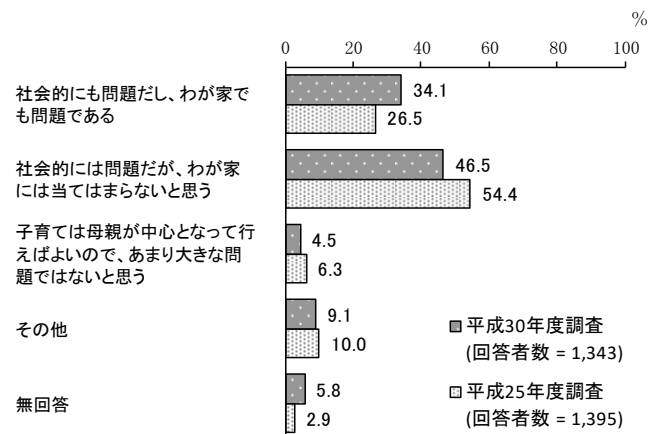
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 33 父親が、子育てにあまりかかわらない、かかわる時間がないなどと言われていますが、このことについてどう思いますか。（１つだけに○）

「社会的には問題だが、わが家には当てはまらないと思う」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「社会的にも問題だし、わが家でも問題である」の割合が 34.1%となっています。

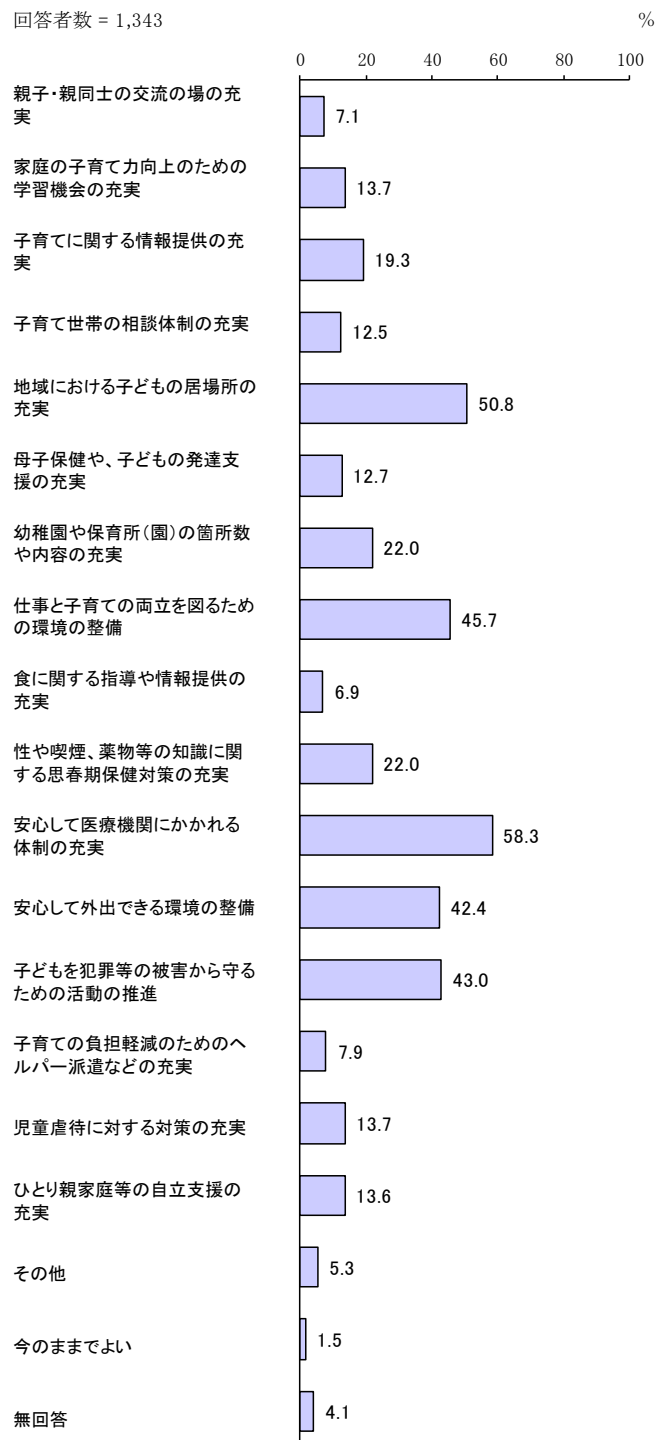
平成 25 年度調査と比較すると、「社会的にも問題だし、わが家でも問題である」の割合が増加しています。一方、「社会的には問題だが、わが家には当てはまらないと思う」の割合が減少しています。



問 34 茅ヶ崎市の子ども・子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「安心して医療機関にかかる体制の充実」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「地域における子どもの居場所の充実」の割合が 50.8%、「仕事と子育ての両立を図るための環境の整備」の割合が 45.7%となっています。

回答者数 = 1,343



問 35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は 591 件でした。回答の主な内容は、下記のとおりです。
なお、「小学校にすること」が 80 件と最も多くなっています。

【小学校生活に関する要望・意見】

①小学校にすること	80 件
②児童クラブ（学童保育）にすること	60 件
③その他	12 件

【子育て支援全般に関する要望・意見】

①医療費助成、医療体制の充実について	64 件
②障害児への支援充実にすること	19 件
③子育て情報にすること	14 件
④手当・補助制度の充実、費用負担にすること	11 件
⑤その他の子育て支援サービスにすること	26 件

【子育て環境に関する要望・意見】

①子どもの遊び場の充実にすること	54 件
②まちづくり、公共施設等にすること	55 件
③その他	10 件

【子育て中の保護者の状況に関する要望・意見】

①子育てと仕事の両立にすること	22 件
②その他	13 件

【その他】

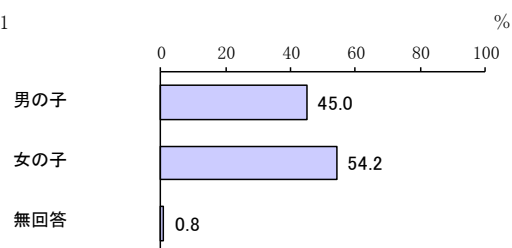
①中学校の給食にすること	78 件
②教育・保育施設にすること	25 件
③アンケートにすること	11 件
④その他	37 件

3 小学生（本人）

（１）あなたのふだんの家庭や学校での生活について

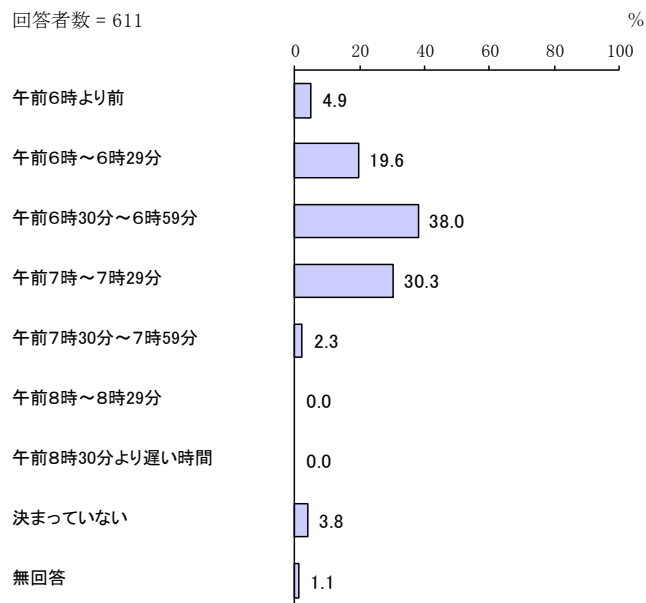
問１ あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「男の子」の割合が 45.0%、「女の子」の割合が 54.2%となっています。 回答者数 = 611



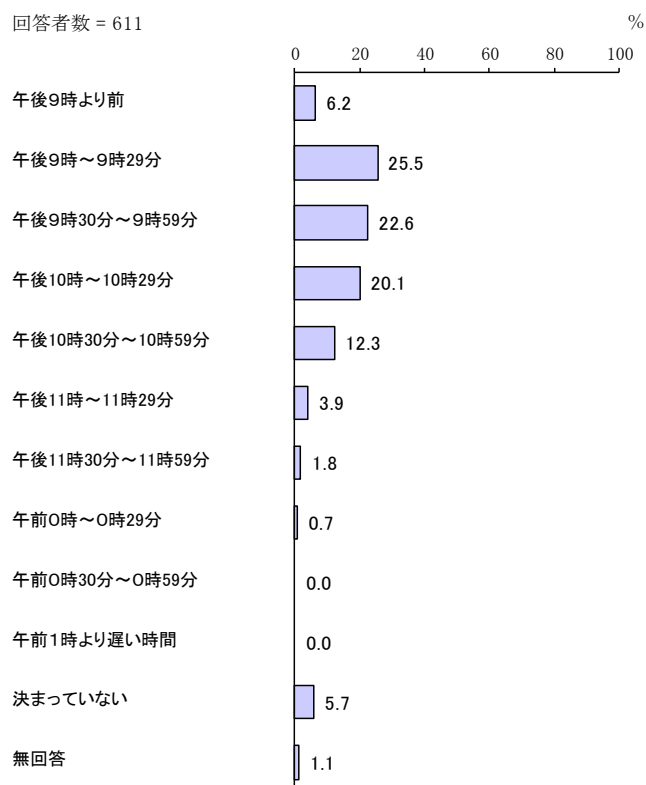
問２ あなたは学校がある日は朝何時に起きますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「午前６時３０分～６時５９分」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「午前７時～７時２９分」の割合が 30.3%、「午前６時～６時２９分」の割合が 19.6%となっています。 回答者数 = 611



問3 あなたは次の日に学校があるときは何時に寝ますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

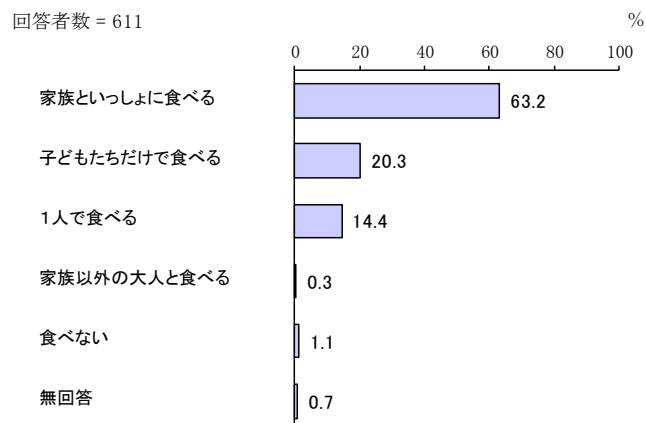
「午後9時～9時29分」の割合が25.5%と最も高く、次いで「午後9時30分～9時59分」の割合が22.6%、「午後10時～10時29分」の割合が20.1%となっています。



問4 あなたはだれといっしょによく食事をしていますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 学校のある日の朝ごはん

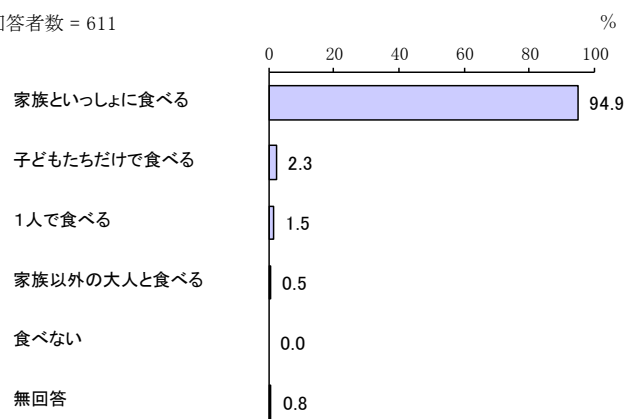
「家族といっしょに食べる」の割合が63.2%と最も高く、次いで「子どもたちだけで食べる」の割合が20.3%、「1人で食べる」の割合が14.4%となっています。



② 学校のある日の夕ごはん

「家族といっしょに食べる」の割合が 94.9%と最も高くなっています。

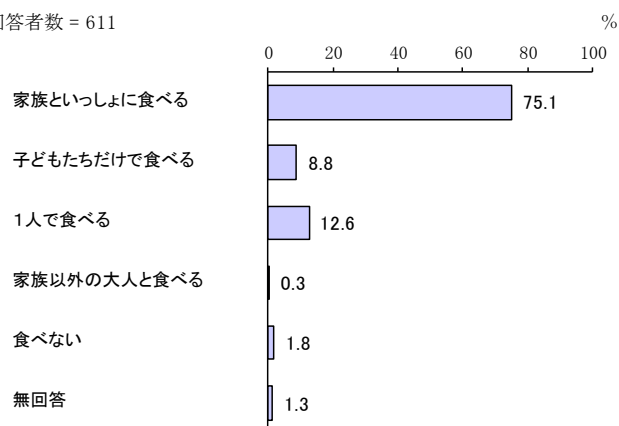
回答者数 = 611



③ 学校のない日の朝ごはん

「家族といっしょに食べる」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が 12.6%となっています。

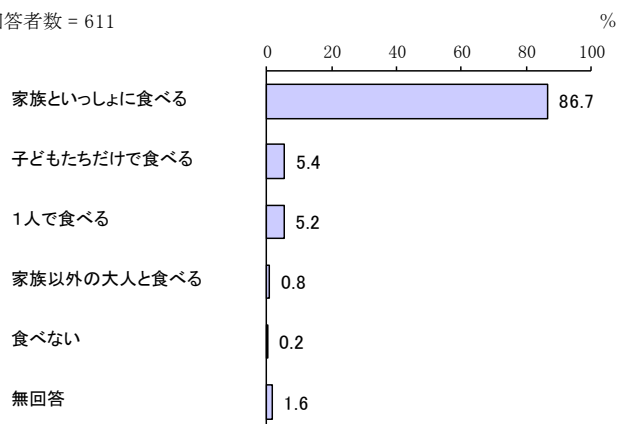
回答者数 = 611



④ 学校のない日の昼ごはん

「家族といっしょに食べる」の割合が 86.7%と最も高くなっています。

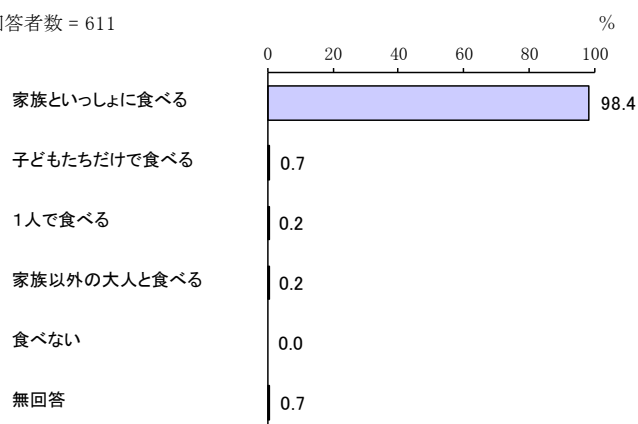
回答者数 = 611



⑤ 学校のない日の夕ごはん

「家族といっしょに食べる」の割合が 98.4%と最も高くなっています。

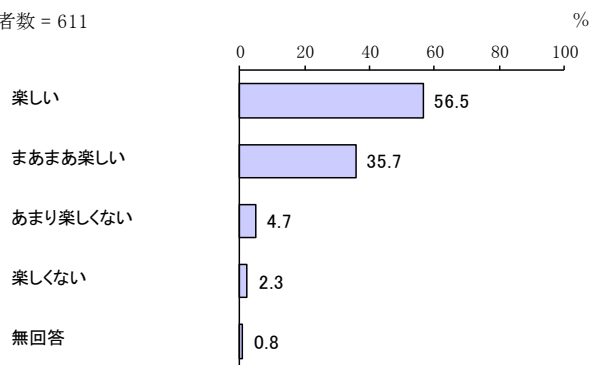
回答者数 = 611



問5 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「楽しい」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「まあまあ楽しい」の割合が 35.7%となっています。

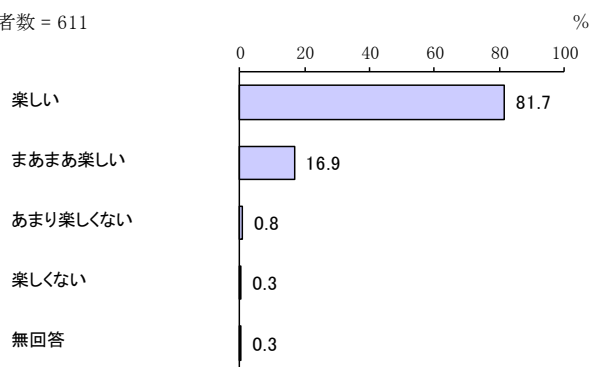
回答者数 = 611



問6 あなたは友だちといっしょにいて楽しいですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「楽しい」の割合が 81.7%と最も高く、次いで「まあまあ楽しい」の割合が 16.9%となっています。

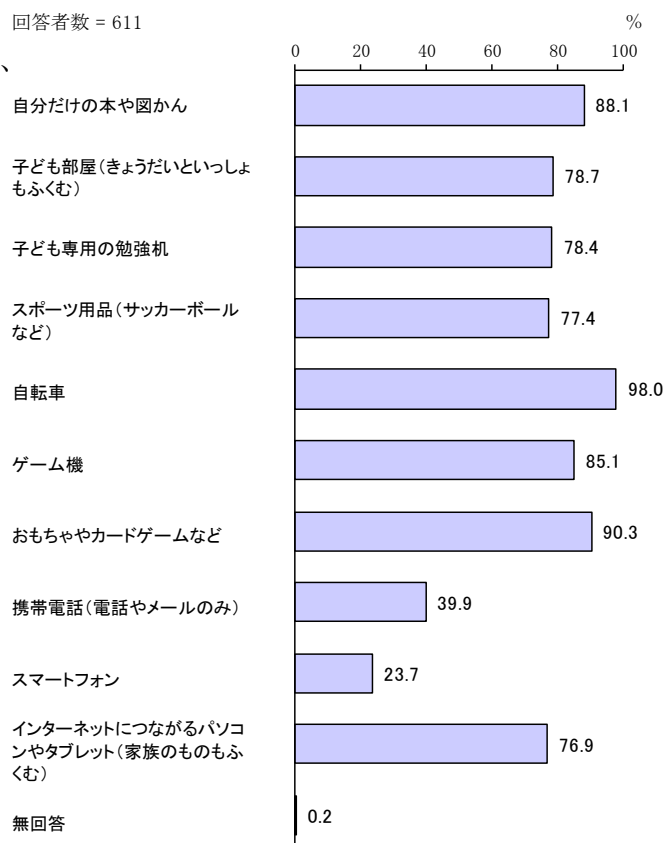
回答者数 = 611



問7 あなたが持っているものはなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「自転車」の割合が98.0%と最も高く、次いで「おもちゃやカードゲームなど」の割合が90.3%、「自分だけの本や図かん」の割合が88.1%となっています。

回答者数 = 611

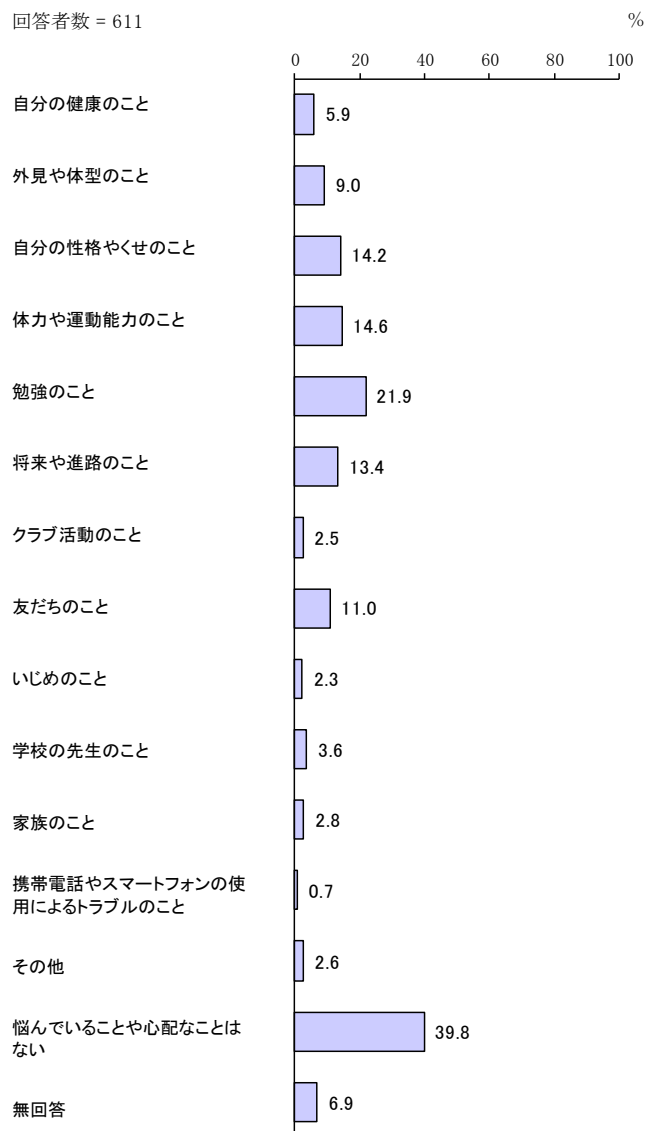


(2) あなたの考えについて

問8 あなたには、今なやんでいることや心配なこと、こまっていることがありますか。あてはまる番号3つまでに○をつけてください。

「悩んでいることや心配なことはない」の割合が39.8%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が21.9%、「体力や運動能力のこと」の割合が14.6%となっています。

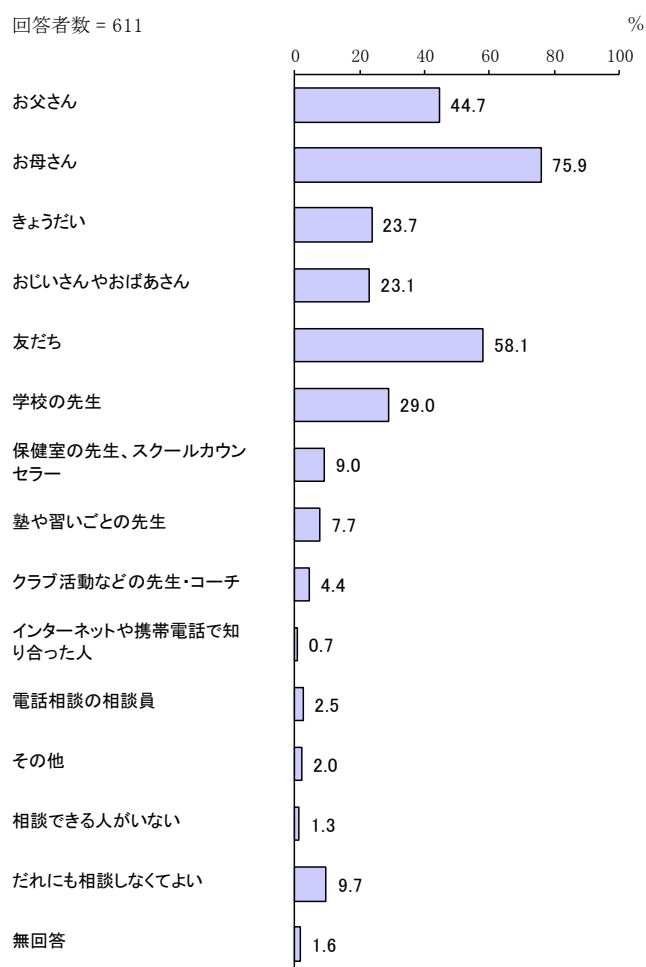
回答者数 = 611



問9 なやみや心配ごとがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「お母さん」の割合が75.9%と最も高く、次いで「友だち」の割合が58.1%、「お父さん」の割合が44.7%となっています。

回答者数 = 611



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、9歳（4年生）で「お父さん」「お母さん」の割合が高くなっています。また、年齢が上がるにつれ「お父さん」「お母さん」「学校の先生」の割合が低くなり、「だれにも相談しなくてよい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさんやおばあさん	友だち	学校の先生	保健室の先生、スクールカウンセラー	塾や習いごとの先生	クラブ活動などの先生・コーチ	インターネットや携帯電話で知り合った人	電話相談の相談員	その他	相談できる人がいない	だれにも相談しなくてよい	無回答
9歳（4年生）	208	51.0	82.2	29.8	31.3	57.2	34.1	10.6	6.7	5.8	0.5	3.4	1.9	1.4	7.2	1.0
10歳（5年生）	195	43.1	74.9	18.5	18.5	59.5	29.7	6.7	7.7	3.1	—	2.1	2.1	1.5	10.3	1.5
11歳（6年生）	189	40.7	70.9	23.3	19.0	58.2	23.3	10.6	8.5	4.8	1.6	2.1	2.1	0.5	12.2	2.1

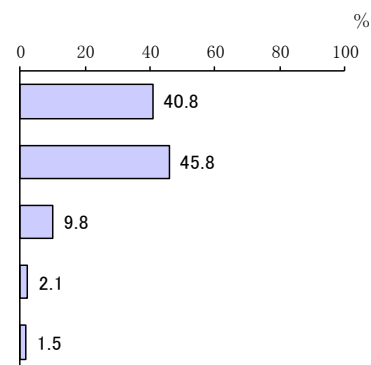
問 10 あなたは、次のことについてどう思いますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 自分にはよいところがある

「まあそう思う」の割合が45.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が40.8%となっています。

回答者数 = 611

そう思う	40.8
まあそう思う	45.8
あまりそう思わない	9.8
そう思わない	2.1
無回答	1.5

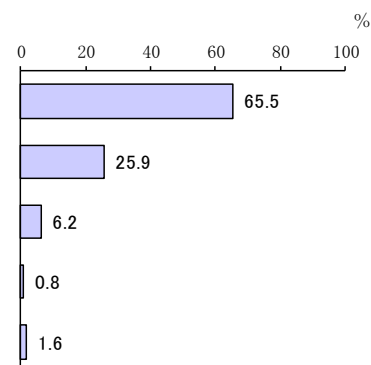


② がんばれば、よいことがある

「そう思う」の割合が65.5%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が25.9%となっています。

回答者数 = 611

そう思う	65.5
まあそう思う	25.9
あまりそう思わない	6.2
そう思わない	0.8
無回答	1.6

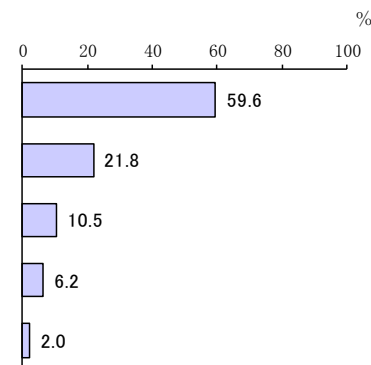


③ 自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が59.6%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が21.8%、「あまりそう思わない」の割合が10.5%となっています。

回答者数 = 611

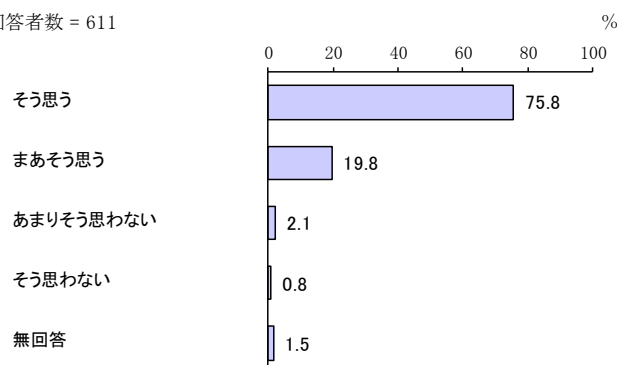
そう思う	59.6
まあそう思う	21.8
あまりそう思わない	10.5
そう思わない	6.2
無回答	2.0



④ 自分は家族に大事にされている

「そう思う」の割合が75.8%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が19.8%となっています。

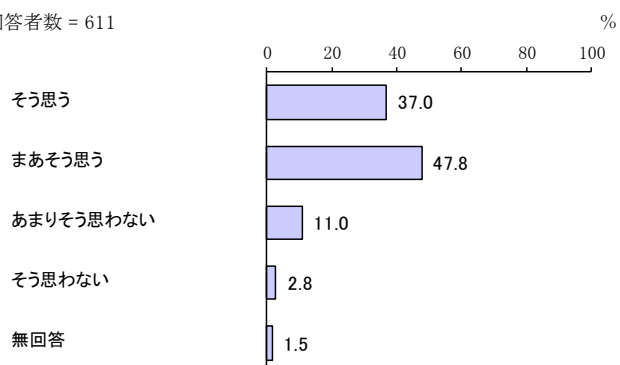
回答者数 = 611



⑤ 自分は友だちに好かれている

「まあそう思う」の割合が47.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が37.0%、「あまりそう思わない」の割合が11.0%となっています。

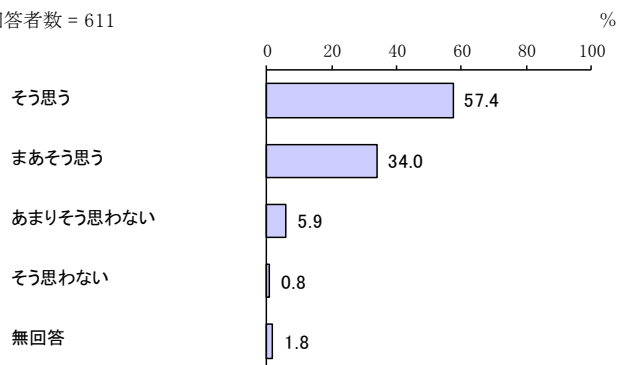
回答者数 = 611



⑥ 毎日の生活が楽しい

「そう思う」の割合が57.4%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が34.0%となっています。

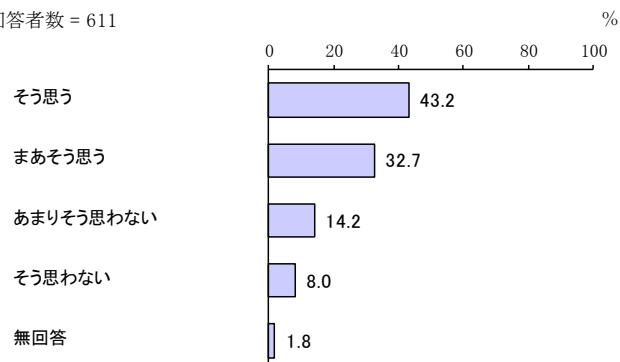
回答者数 = 611



⑦ さびしさや不安を感じることはない

「そう思う」の割合が43.2%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が32.7%、「あまりそう思わない」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 611



⑧ 自分のことが好きだ

「まあそう思う」の割合が38.0%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が34.5%、「あまりそう思わない」の割合が17.0%となっています。

回答者数 = 611

